

# 海外の宗教事情に関する 調査報告書

## 資料編 1

イギリス宗教関係法令集

平成 22 年 3 月

文 化 庁



# は し が き

本書は、文化庁がイギリス、ドイツ、フランス、イタリア、アメリカの5カ国を調査対象国として、平成16年度から4年間にわたって実施した「海外の宗教事情に関する調査」の報告書資料編である。

報告書本編（平成20年3月発行）は、大石眞京都大学公共政策大学院教授を座長とする「海外宗教事情調査研究協力者会議」において策定された調査方針・計画等を基に、宗教（団体）に関する法制度や宗教と社会との関わりを中心に調査を行った結果をまとめたものである。今回、その報告書の資料編として、本調査対象国の宗教関連法令を国別に所収することにしたものである。

本書ではイギリスの宗教関連法令を取りまとめたが、作成にあたっては、海外宗教事情調査研究協力者であった原田一明横浜国立大学教授、調査の実施に協力いただいた上田健介近畿大学准教授に、法令の収集と翻訳を担当していただいた。（肩書きは平成22年3月現在）

本書が、宗教界、宗教研究者及び関係各方面をはじめ、各国の宗教事情に関心を持つ方々の参考資料として、広く活用されることを望むものである。

最後に、本書作成にあたって多大な御協力をいただいた大石先生、並びに原田先生と上田先生、編集作業に助力を頂いた東京大学大学院生の友成有紀氏には厚く感謝する次第である。

平成22年3月

文化庁文化部長官事務課長 佐藤 透



# 海外の宗教事情に関する調査報告書

## 資料編1 イギリス宗教関係法令集

### 目次

原田一明・上田健介 訳

1. チャリティ法関係	
(1) 1993年チャリティ法〔抄〕	4
(2) 2006年チャリティ法〔抄〕	60
(3) 1996年チャリティ（登録除外）規則	104
2. 1998年人権法〔抄〕	108
3. 1988年所得税及び法人税法〔第505－507条〕	116
4. 1992年収益課税法〔第256－257条〕	138
5. 教育関係法	
(1) 1944年教育法〔抄〕	142
(2) 1988年教育改革法〔抄〕	156
(3) 1996年教育法〔抄〕	160
(4) 1998年学校基準枠組み法〔抄〕	160

## 1. チャリティ法関係

### 1. チャリティ法関係

#### (1) 1993年チャリティ法〔抄〕

#### 第1章 チャリティ委員会及びチャリティのための管財官

##### 第1条 チャリティ委員会

- (1) イングランド及びウェールズチャリティ委員会は、引き続き存続し、時限的な効力を有するその他の法律に基づく職務のほか、この法律により与えられた職務を有する。
- (2) 附則1の規定は、委員会の構成及び手続並びに委員会、その役職者及び職員に関するその他の事項に関して効力を有する。
- (3) 委員会は、(他の法律に基づく特別の権限及び義務に影響を及ぼすことなく) よりよい運営方法の進展を促し、チャリティに影響を及ぼす事項に関する情報又は助言をチャリティ管理者に与え、濫用を調査し検査することにより、チャリティ財産の効率的な運用を促進する一般的職務を有する。
- (4) 委員会の一般的目的とは、いかなるチャリティの場合であれ、(目的の変更が問題となる場合を除いて) その信託により指示された要求を満たすことにおいて、そのチャリティの事業を促進し効率的にするよう最善を尽くすように行動することとする。ただし、委員会は、自らチャリティの管理に携わる権限を有しない。
- (5) 委員会は、各年度終了後、可能な限り速やかに、その年度中の活動に関する報告を国務大臣に対し行い、国務大臣は、両議院それぞれにその報告書一部を提出しなければならない。

##### 第2条 チャリティのための管財官

- (1) この法律に定める場合においてチャリティ受託者として活動することをその職務とするチャリティの管財官(以下「管財官」という。)として知られる役職者は、引き続き存続するものとする。管財官は、

## **(1)Charities Act 1993**

### **Part I The Charity Commissioners and the Official Custodian for Charities**

#### **1 The Charity Commissioners**

- (1) There shall continue to be a body of Charity Commissioners for England and Wales, and they shall have such functions as are conferred on them by this Act in addition to any functions under any other enactment for the time being in force.
- (2) The provisions of Schedule 1 to this Act shall have effect with respect to the constitution and proceedings of the Commissioners and other matters relating to the Commissioners and their officers and employees.
- (3) The Commissioners shall (without prejudice to their specific powers and duties under other enactments) have the general function of promoting the effective use of charitable resources by encouraging the development of better methods of administration, by giving charity trustees information or advice on any matter affecting the charity and by investigating and checking abuses.
- (4) It shall be the general object of the Commissioners so to act in the case of any charity (unless it is a matter of altering its purposes) as best to promote and make effective the work of the charity in meeting the needs designated by its trusts; but the Commissioners shall not themselves have power to act in the administration of a charity.
- (5) The Commissioners shall, as soon as possible after the end of every year, make to the Secretary of State a report on their operations during that year, and he shall lay a copy of the report before each House of Parliament.

#### **2 The official custodian for charities**

- (1) There shall continue to be an officer known as the official custodian for charities (in this Act referred to as "the official

## 1. チャリティ法関係

その氏名により、職務上及び裁判上認められる公印章を使用し永続的に継続する単独法人とする。

- (2) 委員会が必要な場合に任命することができる委員会の役職者を管財官とする。
- (3) 管財官は、委員会により与えられる一般的又は特別な指示に従い、その職務を遂行し、管財官が負担した費用（チャリティ受託者として管財官に弁済されたもの又は管財官が回収したものを除く。）は、委員会が支払う。
- (4) 管財官によって、管財官に対して又は管財官の面前で行わなければならない又は行うことのできる事項は、管財官の役職が欠員の間又はその他の場合に管財官を代理するよう委員会により一般的に又は特別に授権された委員会の役職者によって、役職者に対して又は役職者の前で行うことができる。
- (5) 管財官は、財産の損失又は流用に関して、それらが管財官又は管財官を代理する者の意図的な不作為又は懈怠により引き起こされる場合を除いて、チャリティに対し受託者としての責任を負わない。ただし、統合基金は、意図的な不作為又は懈怠を理由として管財官が責任を負う金額をチャリティに弁済する責任を負う。
- (6) 管財官は、財務省の指示する計算書及び帳簿に関する書類を備え、財務省の指示する書式、方法及び時期に従って計算書を作成する。
- (7) 前項に従って作成された計算書は、会計検査院長により検査されかつ認証される。委員会が国務大臣に対し毎年度提出すべき報告書には、その年度中又はその年度をもって終了する期間について前項に従って作成された計算書並びに計算書に関する会計検査委員長の認証書及び報告書の謄本を含める。



custodian”) whose function it shall be to act as trustee for charities in the cases provided for by this Act; and the official custodian shall be by that name a corporation sole having perpetual succession and using an official seal which shall be officially and judicially noticed.

- (2) Such officer of the Commissioners as they may from time to time designate shall be the official custodian.
- (3) The official custodian shall perform his duties in accordance with such general or special directions as may be given him by the Commissioners, and his expenses (except those re-imbursed to him or recovered by him as trustee for any charity) shall be defrayed by the Commissioners.
- (4) Anything which is required to or may be done by, to or before the official custodian may be done by, to or before any officer of the Commissioners generally or specially authorised by them to act for him during a vacancy in his office or otherwise.
- (5) The official custodian shall not be liable as trustee for any charity in respect of any loss or of the mis-application of any property unless it is occasioned by or through the wilful neglect or default of the custodian or of any person acting for him; but the Consolidated Fund shall be liable to make good to a charity any sums for which the custodian may be liable by reason of any such neglect or default.
- (6) The official custodian shall keep such books of account and such records in relation thereto as may be directed by the Treasury and shall prepare accounts in such form, in such manner and at such times as may be so directed.
- (7) The accounts so prepared shall be examined and certified by the Comptroller and Auditor General, and the report to be made by the Commissioners to the Secretary of State for any year shall include a copy of the accounts so prepared for any period ending in or with the year and of the certificate and report of the Comptroller and Auditor General with respect to those accounts.

## 第2章 チャリティの登録及び名称

### 第3条 チャリティ登録簿

- (1) 委員会は、チャリティ登録簿を引き続き保持し、そのチャリティ登録簿は、適当と考える方法により保管されるものとする。
- (2) 第5項により免除されるものを除くすべてのチャリティは、登録簿に登録しなければならない。免除されたチャリティ（第5項(a)号により免除されるものを除く。）は、そのチャリティの請求に基づいて登録することができる一方、（登録時に免除されていたか否かにかかわらず）いつでも登録簿から登録を抹消することができ、チャリティからの請求があるときは、登録簿からその登録を抹消されることになる。
- (3) 登録簿には、次の事項を記載する。
  - (a) 各登録チャリティの名称
  - (b) 各登録チャリティのその他の特定事項及びそのチャリティに関するその他の情報で、委員会が適当と考えるもの
- (4) 委員会によりもはやチャリティでないと判断された団体は登録簿から抹消するものとし、抹消が信託の目的又は変更による場合には、抹消のその変更日より抹消の効力が生じるものとする。存在していない又は活動していないチャリティも、登録簿から抹消するものとする。
- (5) 次のチャリティは、登録を必要としない。
  - (a) 附則第2に掲げるチャリティ（この法律においては「免除チャリティ」という。）
  - (b) 命令又は規則により除外されているチャリティ
  - (c) 次のいずれのものも有しないチャリティで全財源からの収入が総額で年に1000ポンド以下であるもの
    - i) 永続的寄託財産
    - ii) 土地の使用又は占有ただし、登録礼拝場に関しては、チャリティは登録を要しない。

## Part II Registration and Names of Charities

### 3 The register of charities

- (1) The Commissioners shall continue to keep a register of charities, which shall be kept by them in such manner as they think fit.
- (2) There shall be entered in the register every charity not excepted by subsection (5) below; and a charity so excepted (other than one excepted by paragraph (a) of that subsection) may be entered in the register at the request of the charity, but (whether or not it was excepted at the time of registration) may at any time, and shall at the request of the charity, be removed from the register.
- (3) The register shall contain —
  - (a) the name of every registered charity; and
  - (b) such other particulars of, and such other information relating to, every such charity as the Commissioners think fit.
- (4) Any institution which no longer appears to the Commissioners to be a charity shall be removed from the register, with effect, where the removal is due to any change in its purposes or trusts, from the date of that change; and there shall also be removed from the register any charity which ceases to exist or does not operate.
- (5) The following charities are not required to be registered —
  - (a) any charity comprised in Schedule 2 to this Act (in this Act referred to as an “exempt charity”);
  - (b) any charity which is excepted by order or regulations;
  - (c) any charity which has neither —
    - i) any permanent endowment, nor
    - ii) the use or occupation of any land,and whose income from all sources does not in aggregate amount to more than £1,000 a year;and no charity is required to be registered in respect of any registered place of worship.

## 1. チャリティ法関係

- (6) チャリティの登録申請に際しては、委員会に対してそのチャリティの信託証書の謄本（信託が現存する文書に記載されていない場合には信託財産の明細書）及び国務大臣が定めた規則で規定された又は委員会が申請のため要求した文書又は情報を提供するものとする。
- (7) 次の各号のチャリティ管理者は、それぞれ次の各号に定めることを行う義務を負う。
  - (a) 登録されておらず免除もされていないチャリティの管理者は、登録のための申請をし、前項で求められる文書及び情報を提供すること
  - (b) 一定期間登録されている団体のチャリティ管理者（又は直近のチャリティ管理者）は、その団体が存在しなくなった場合又はそのチャリティの信託財産若しくは登録簿に記載されている信託財産明細書に変更が生じた場合に、委員会に通知し、信託財産の変更の明細書及び新しい信託証書若しくは信託証書変更の謄本を委員会に提出すること
- (8) 登録簿（団体が登録簿から抹消される場合の削除登録を含む）は、合理的な時間帯に常時公衆の閲覧に供するものとする。本条に基づき委員会に提出された登録チャリティの信託証書の謄本又は明細書は、登録簿に記載されている間は、国務大臣の定める規則に別段の定めがある場合を除き、委員会により保持され、合理的な時間帯に常時公衆の縦覧に供するものとする。
- (9) 登録簿に記載される情報が文書形態でない場合、前項の規定は、情報を合理的な時間帯に常時読むことができるようにして公衆の縦覧に供することを要すると解釈する。
- (10) 委員会の決定がある場合には、第8項の規定は、登録簿に記載されその決定で特定された情報には適用しない。
- (11) 何人も、前項までの規定により、別途裁判所以外が作成したチャリティの管理規則の謄本を委員会に提出し、又はその規則によって登録チャリティに関して行われた変更を委員会に通知する必要はなく、

- (6) With any application for a charity to be registered there shall be supplied to the Commissioners copies of its trusts (or, if they are not set out in any extant document, particulars of them), and such other documents or information as may be prescribed by regulations made by the Secretary of State or as the Commissioners may require for the purpose of the application.
- (7) It shall be the duty —
  - (a) of the charity trustees of any charity which is not registered nor excepted from registration to apply for it to be registered, and to supply the documents and information required by subsection (6) above; and
  - (b) of the charity trustees (or last charity trustees) of any institution which is for the time being registered to notify the Commissioners if it ceases to exist, or if there is any change in its trusts or in the particulars of it entered in the register, and to supply to the Commissioners particulars of any such change and copies of any new trusts or alterations of the trusts.
- (8) The register (including the entries cancelled when institutions are removed from the register) shall be open to public inspection at all reasonable times; and copies (or particulars) of the trusts of any registered charity as supplied to the Commissioners under this section shall, so long as it remains on the register, be kept by them and be open to public inspection at all reasonable times, except in so far as regulations made by the Secretary of State otherwise provide.
- (9) Where any information contained in the register is not in documentary form, subsection (8) above shall be construed as requiring the information to be available for public inspection in legible form at all reasonable times.
- (10) If the Commissioners so determine, subsection (8) above shall not apply to any particular information contained in the register and specified in their determination.
- (11) Nothing in the foregoing subsections shall require any person to supply the Commissioners with copies of schemes for the

## 1. チャリティ法関係

すでに委員会が所持する文書又は謄本を委員会に付託する場合には、何人もその文書の謄本をもう一部提出することを求められない。ただし、本項によって文書の謄本を委員会に提出する必要がないとされる場合でも、その文書が登録チャリティに関係するときには、その文書の謄本は、本条に基づき委員会に提出されたものとして第8項に基づき縦覧に供されるものとする。

- (12) 国務大臣は、次のいずれかの場合において適当であると考える場合には、命令で定める一定の期間、金額を変更することにより、第5項(c)号を改正することができる。
- (a) 貨幣価値の変動の結果によるとき
  - (b) 第5項(c)号により定められた除外の範囲を拡大しようとするとき
- (13) 第5項(b)号にいう命令又は規則により除外されたチャリティとは、次のいずれかのチャリティをいう。
- (a) 一定の間、永続的に又は一時的に委員会の命令により除外されたチャリティ
  - (b) 一時的に又は永続的に国務大臣の定める規則により除外された公益団体
- (14) 本条にいう「登録礼拝場」とは、1855年礼拝場登録法第9条に該当する土地又は建物(1960年チャリティ法が成立しなかったならば、その後の法律により改正された1855年礼拝場登録法第9条により、1853年チャリティ法の適用を一部免除された土地又は建物をいう。)を意味し、本項にいう「建物」には建物の一部を含む。

### 第4条 登録の効果、登録を求める請求及び登録への異議申立て

- (1) チャリティ登録簿に記載され又はかつて記載されていた団体は、登録簿の訂正以外のすべての目的につき、現にチャリティであり又はかつてチャリティであったものとみなす。

administration of a charity made otherwise than by the court, or to notify the Commissioners of any change made with respect to a registered charity by such a scheme, or require a person, if he refers the Commissioners to a document or copy already in the possession of the Commissioners, to supply a further copy of the document; but where by virtue of this subsection a copy of any document need not be supplied to the Commissioners, a copy of it, if it relates to a registered charity, shall be open to inspection under subsection (8) above as if supplied to the Commissioners under this section.

- (12) If the Secretary of State thinks it expedient to do so—
- (a) in consequence of changes in the value of money, or
  - (b) with a view to extending the scope of the exception provided for by subsection (5) (c) above, he may by order amend subsection (5) (c) by substituting a different sum for the sum for the time being specified there.
- (13) The reference in subsection (5) (b) above to a charity which is excepted by order or regulations is to a charity which—
- (a) is for the time being permanently or temporarily excepted by order of the Commissioners; or
  - (b) is of a description permanently or temporarily excepted by regulations made by the Secretary of State, and which complies with any conditions of the exception.
- (14) In this section “registered place of worship” means any land or building falling within section 9 of the [1855 c.81.] Places of Worship Registration Act 1855 (that is to say, the land and buildings which if the [1960 c.58.] Charities Act 1960 had not been passed, would by virtue of that section as amended by subsequent enactments be partially exempted from the operation of the [1853 c.137.] Charitable Trusts Act 1853), and for the purposes of this subsection “building” includes part of a building.

#### **4 Effect of, and claims and objections to, registration**

- (1) An institution shall for all purposes other than rectification of the register be conclusively presumed to be or to have been a charity at any time when it is or was on the register of charities.

## 1. チャリティ法関係

- (2) 何人であれ、団体をチャリティとして登録することにより影響を受け又は影響を受ける可能性のある者は、その団体がチャリティでないという理由により、委員会がその団体が登録簿に登録することに異議を申し立て、又はその団体を登録簿から抹消するよう委員会に申請することができる。この異議申立て又は申請を行い、請求し又は処理すべき方法に関しては、国務大臣の定める規則で規定することができる。
- (3) 団体をチャリティ登録簿に記載する若しくは記載しない又は団体を登録簿から抹消する若しくは抹消しない旨の委員会の処分に対する訴えは、法務総裁又は、現在チャリティ管理者である者若しくはチャリティ管理者であると主張する者又は前項に基づく異議申立て若しくは申請がその処分により拒否された者によって、高等法院に提起することができる。
- (4) 団体を登録簿に記載する又は団体を登録簿から抹消しない旨の委員会の処分に対する訴えが高等法院に提起された場合には、委員会の処分が有効であるか否かにつき委員会が勝訴するまで、登録簿への記載は維持するが、登録簿への記載は停止中とし、停止中であることを示す印を付すものとする。第1項の適用上は、本項により記載が停止中である団体は、登録簿に記載がないものとみなす。
- (5) 団体の登録又は登録簿からの抹消に関する問題は、それが第3項に基づく訴えにかかる判決による決定であるとしても、事情に変更が生じ、又はその判決がその後の裁判所の判決（その訴えの上訴に関するものであるか否かを問わない）と適合しないと委員会が判断した場合には、委員会が新たに審査することができ、その判決によって確定しないものとする。

### 第5条（小規模チャリティ以外の）登録チャリティの公的出版物等に記載されるチャリティの地位

- (1) 本条は、登録チャリティの前会計年度の総収入が5000ポンドを超えた場合に、その登録チャリティに適用する。



- (2) Any person who is or may be affected by the registration of an institution as a charity may, on the ground that it is not a charity, object to its being entered by the Commissioners in the register, or apply to them for it to be removed from the register; and provision may be made by regulations made by the Secretary of State as to the manner in which any such objection or application is to be made, prosecuted or dealt with.
- (3) An appeal against any decision of the Commissioners to enter or not to enter an institution in the register of charities, or to remove or not to remove an institution from the register, may be brought in the High Court by the Attorney General, or by the persons who are or claim to be the charity trustees of the institution, or by any person whose objection or application under subsection (2) above is disallowed by the decision.
- (4) If there is an appeal to the High Court against any decision of the Commissioners to enter an institution in the register, or not to remove an institution from the register, then until the Commissioners are satisfied whether the decision of the Commissioners is or is not to stand, the entry in the register shall be maintained, but shall be in suspense and marked to indicate that it is in suspense; and for the purposes of subsection (1) above an institution shall be deemed not to be on the register during any period when the entry relating to it is in suspense under this subsection.
- (5) Any question affecting the registration or removal from the register of an institution may, notwithstanding that it has been determined by a decision on appeal under subsection (3) above, be considered afresh by the Commissioners and shall not be concluded by that decision, if it appears to the Commissioners that there has been a change of circumstances or that the decision is inconsistent with a later judicial decision, whether given on such an appeal or not.

## **5 Status of registered charity (other than small charity) to appear on official publications etc**

- (1) This section applies to a registered charity if its gross income in its last financial year exceeded £5,000.

## 1. チャリティ法関係

- (2) 本条が登録チャリティに適用される場合、次の文書において、その団体が登録チャリティであるという事実を判読可能な字体で英語により明記しなければならない。
  - (a) チャリティによって又はチャリティに代わって頒布される、チャリティのために金銭その他の財産を寄付募集するすべての通知、広告その他の文書
  - (b) チャリティを代表して署名されることを予定したすべての為替手形、約束手形、裏書、小切手その他の金銭又は物品に係る支払引渡指図書
  - (c) チャリティが引き渡すすべての証書並びにすべての送り状、領収書及び信用状
- (3) 前項 (a) 号は、寄付募集が明示されたか又は黙示的か、金銭その他の財産が対価として支払われるか否かを証するものである。
- (4) 本条が適用される登録チャリティの場合において、第2項 (a) 号又は (c) 号に該当する文書で、同項により求められているチャリティが登録チャリティであるという事実が記載されていない文書を発行した又は発行を承認した者は、罪を犯したものとし、陪審によらない裁判による有罪判決により標準等級第3級以下の罰金に処する。
- (5) 前項にいう登録チャリティの場合において、第2項 (b) 号に該当する文書で、同項により求められているチャリティが登録チャリティであるという事実が記載されていない文書に署名した者は、罪を犯したものとし、陪審によらない裁判による有罪判決により標準等級第3級以下の罰金に処する。
- (6) 所轄の大臣は、命令により第1項を改正し、命令で定める当分の間、第1項に定める金額をそれとは異なる別の金額に変更することができる。

- (2) Where this section applies to a registered charity, the fact that it is a registered charity shall be stated in English in legible characters —
  - (a) in all notices, advertisements and other documents issued by or on behalf of the charity and soliciting money or other property for the benefit of the charity;
  - (b) in all bills of exchange, promissory notes, endorsements, cheques and orders for money or goods purporting to be signed on behalf of the charity; and
  - (c) in all bills rendered by it and in all its invoices, receipts and letters of credit.
- (3) Subsection (2) (a) above has effect whether the solicitation is express or implied, and whether the money or other property is to be given for any consideration or not.
- (4) If, in the case of a registered charity to which this section applies, any person issues or authorises the issue of any document falling within paragraph (a) or (c) of subsection (2) above in which the fact that the charity is a registered charity is not stated as required by that subsection, he shall be guilty of an offence and liable on summary conviction to a fine not exceeding level 3 on the standard scale.
- (5) If, in the case of any such registered charity, any person signs any document falling within paragraph (b) of subsection (2) above in which the fact that the charity is a registered charity is not stated as required by that subsection, he shall be guilty of an offence and liable on summary conviction to a fine not exceeding level 3 on the standard scale.
- (6) The Secretary of State may by order amend subsection (1) above by substituting a different sum for the sum for the time being specified there.

1. チャリティ法関係

**チャリティの名称**

第6条 チャリティの名称変更を要求するチャリティ委員会の権限  
〔省略〕

第7条 チャリティが法人である場合の第6条に基づく指導の効力  
〔省略〕

## Charity names

6 Power of Commissioners to require charity's name to be changed

[ ... ]

7 Effect of direction under s. 6 where charity is a company

[ ... ]

### 第3章 委員会の情報収集権限

#### 第8条 調査開始にかかる一般的権限

- (1) 委員会は、時期に適したときに、チャリティ又は特定のチャリティ若しくは特定の種類のチャリティに関して、全般的に又は特定目的のために、調査を開始することができる。ただし、この調査は、免除チャリティには及ばない。
- (2) 委員会は、調査を自ら実施し、又は調査を実施し委員会に報告する者を任命することができる。
- (3) 委員会又は委員会により調査のために任命された者は、調査のために、本条の規定に従うことを条件として、調査対象者に対して次の各号に掲げる事項を行うよう指示することができる。
  - (a) 調査の対象とされる事項が、それに関する情報をその者が有し若しくは無理なく入手することができる事項である場合には、その事項に関して書面で報告書及び説明書を提供し又はその事項につきその者に対して行われた質問若しくは調査に対して書面で回答し、並びにその報告書、説明書及び回答書を法定の宣言により確認すること
  - (b) 調査の対象となる事項に関係する、その者が保管し又は管理する文書の謄本を提供して、法定の宣言により確認すること
  - (c) 指定された期日及び場所に出頭して証言し又は前号にいう文書を提出すること
- (4) 調査実施者は、調査のために、宣誓をさせて証言を行わせることができ、尋問されている者に対して、証言を行う目的で宣誓を行うこと又はその代わりに尋問されている事項が真実である旨の宣言書を作成しそれに署名することを求めることができる。
- (5) 委員会は、ある者が本条に基づく調査のために証言を行い又は文書を提出するために出頭したことについて、必要な費用をその者に対して支払うことができ、何人も、その費用が支払われず又は提供されない場合には、第3項(c)号に基づく指示に従って、自己の住所地

## Part III Commissioners' Information Powers

### 8 General power to institute inquiries

- (1) The Commissioners may from time to time institute inquiries with regard to charities or a particular charity or class of charities, either generally or for particular purposes, but no such inquiry shall extend to any exempt charity.
- (2) The Commissioners may either conduct such an inquiry themselves or appoint a person to conduct it and make a report to them.
- (3) For the purposes of any such inquiry the Commissioners, or a person appointed by them to conduct it, may direct any person (subject to the provisions of this section) —
  - (a) to furnish accounts and statements in writing with respect to any matter in question at the inquiry, being a matter on which he has or can reasonably obtain information, or to return answers in writing to any questions or inquiries addressed to him on any such matter, and to verify any such accounts, statements or answers by statutory declaration;
  - (b) to furnish copies of documents in his custody or under his control which relate to any matter in question at the inquiry, and to verify any such copies by statutory declaration;
  - (c) to attend at a specified time and place and give evidence or produce any such documents.
- (4) For the purposes of any such inquiry evidence may be taken on oath, and the person conducting the inquiry may for that purpose administer oaths, or may instead of administering an oath require the person examined to make and subscribe a declaration of the truth of the matters about which he is examined.
- (5) The Commissioners may pay to any person the necessary expenses of his attendance to give evidence or produce documents for the purpose of an inquiry under this section, and a person shall not be required in obedience to a direction under paragraph (c) of subsection (3) above to go more than ten miles from his place of residence unless those expenses are paid or tendered to him.

## 1. チャリティ法関係

より10マイルを超えた距離にある場所に行くことを求められない。

- (6) 委員会は、本条に基づき調査が行われたとき、次に掲げるいずれかを行うことができる。
  - (a) 調査を実施した者の報告書又は調査結果に関する委員会が適当と考えるその他の説明書を印刷させ出版させること
  - (b) 講ずべき措置に関して委員会に意見を表明することを希望する者の注目を惹くと委員会が判断するその他の方法で、報告書又は説明書を出版すること
- (7) カウンティ又はカウンティ自治区の参事会、ロンドン市共同評議会及びロンドン区参事会は、その参事会の地域内の地方チャリティに対する本条に基づく調査に関する委員会の支出を分担することができる。

### 第9条 文書の請求及び捜査の記録にかかる権限

- (1) 委員会は、次に掲げることを命令により行うことができる。
  - (a) いずれかの者に対し、その保有する、チャリティに関係しかつ自己の職務又は管財官の職務の遂行に関係する情報を、委員会に提供するよう求めること
  - (b) チャリティに関係し、かつ自己の職務又は管財官の職務の遂行に関係する文書を保管し又は管理する者に対し、次のいずれかに該当することを求めること
    - i) 文書の謄本又は抜粋を委員会に提供すること
    - ii) (文書が裁判所又は中央若しくは地方当局の記録その他の文書の一部を構成する場合を除いて) 文書それ自体を委員会に調査のために送付すること
- (2) 委員会の役職者は、委員会により認められた場合は、無償で、委員会又は管財人の職務の遂行に関連する目的のために、裁判所又は公的登記所若しくは公文書館にある記録その他の文書を調査しその謄本又は抜粋を作成する権限を有する。
- (3) 委員会は、第1項に基づき無償で委員会に提供された謄本又は抜粋を



- (6) Where an inquiry has been held under this section, the Commissioners may either —
- (a) cause the report of the person conducting the inquiry, or such other statement of the results of the inquiry as they think fit, to be printed and published, or
  - (b) publish any such report or statement in some other way which is calculated in their opinion to bring it to the attention of persons who may wish to make representations to them about the action to be taken.
- (7) The council of a county or district, the Common Council of the City of London and the council of a London borough may contribute to the expenses of the Commissioners in connection with inquiries under this section into local charities in the council's area.

## 9 Power to call for documents and search records

- (1) The Commissioners may by order —
- (a) require any person to furnish them with any information in his possession which relates to any charity and is relevant to the discharge of their functions or of the functions of the official custodian;
  - (b) require any person who has in his custody or under his control any document which relates to any charity and is relevant to the discharge of their functions or of the functions of the official custodian —
    - i) to furnish them with a copy of or extract from the document, or
    - ii) (unless the document forms part of the records or other documents of a court or of a public or local authority) to transmit the document itself to them for their inspection.
- (2) Any officer of the Commissioners, if so authorised by them, shall be entitled without payment to inspect and take copies of or extracts from the records or other documents of any court, or of any public registry or office of records, for any purpose connected with the discharge of the functions of the Commissioners or of the official custodian.
- (3) The Commissioners shall be entitled without payment to keep any

## 1. チャリティ法関係

保管する権限を有する。委員会による調査のため第1項に基づき送付された文書が1又は2以上のチャリティのみに関係し、かつその文書の保管につき受託者としての又はその他の権限を有する者によって保有されていない場合には、委員会は、その文書を保管し又はチャリティ管理者若しくは権限を有するその他の者に引き渡すことができる。

- (4) 免除チャリティにのみ関係する文書の保管を適正に行っている者は、委員会に対して、その文書を送付し又はその謄本若しくは抜粋を提供することを、第1項に基づいて要求されない。
- (5) 第2項により与えられた権限には、可読な書式以外の方法で記録された情報に関して、調査のため又はその謄本若しくは抜粋を作成するために、その情報を可読な書式で提供するように要求する権限を含むものとする。

### 第10条 委員会に対する及び委員会による情報開示

- (1) 本条が適用される団体又は個人は、第2項及びその他の法律により又はその他の法律に基づき課された明確な制限に服することを条件として、チャリティ委員会の職務執行を可能とし又は補佐するために開示を行うときは、委員会に対して法律に基づき又は法律の適用上受領した情報を開示することができる。
- (2) 前項の規定は、関税及び消費税庁又は内国歳入庁に関しては適用されない。ただし、これらの機関（以下「関連機関」という。）のいずれも、チャリティ委員会に次の情報を開示することができる。
  - (a) 公益目的で設立されたものと関連機関が扱う団体の名称及び住所
  - (b) ある団体が公益目的で設立されたものと扱うべきか否かを決定するにあたり、援助を与える又は援助を獲得するために関連機関が開示を行う場合において、その団体の目的又は団体が設立される若しくは規制される根拠となった信託に関する情報

copy or extract furnished to them under subsection (1) above; and where a document transmitted to them under that subsection for their inspection relates only to one or more charities and is not held by any person entitled as trustee or otherwise to the custody of it, the Commissioners may keep it or may deliver it to the charity trustees or to any other person who may be so entitled.

- (4) No person properly having the custody of documents relating only to an exempt charity shall be required under subsection (1) above to transmit to the Commissioners any of those documents, or to furnish any copy of or extract from any of them.
- (5) The rights conferred by subsection (2) above shall, in relation to information recorded otherwise than in legible form, include the right to require the information to be made available in legible form for inspection or for a copy or extract to be made of or from it.

#### 10 Disclosure of information to and by Commissioners

- (1) Subject to subsection (2) below and to any express restriction imposed by or under any other enactment, a body or person to whom this section applies may disclose to the Charity Commissioners any information received by that body or person under or for the purposes of any enactment, where the disclosure is made by the body or person for the purpose of enabling or assisting the Commissioners to discharge any of their functions.
- (2) Subsection (1) above shall not have effect in relation to the Commissioners of Customs and Excise or the Commissioners of Inland Revenue; but either of those bodies of Commissioners (“the relevant body”) may disclose to the Charity Commissioners the following information—
  - (a) the name and address of any institution which has for any purpose been treated by the relevant body as established for charitable purposes;
  - (b) information as to the purposes of an institution and the trusts under which it is established or regulated, where the disclosure is made by the relevant body in order to give or obtain assistance in determining whether the institution ought for any purpose to be treated as established for charitable

## 1. チャリティ法関係

- (c) いかなる目的であれ、チャリティとして適当な目的のために設立されたとして扱うことのできた団体で、次に掲げる団体のいずれかに該当すると関連機関に判断される団体に関する情報
  - i) 公益性のない行為を行い又は行ってきた団体
  - ii) 公益性のない目的に財産を運用し又は運用してきた団体

### (3) 〔省略〕

- (4) 委員会は、第5項に従うことを条件として、次の各号に掲げる目的のために開示を行うときは、委員会が法律に基づき又は法律の適用上受領した情報を、本条が適用される団体又は個人に対して開示することができる。
  - (a) 委員会の職務の遂行に係る目的
  - (b) 機関若しくは人の職務の遂行を可能にし、又は補佐する目的

- (5) 第1項及び第2項に基づきチャリティ委員会に開示された情報が、委員会による情報開示に関する明示の制限に従って開示されたものである場合は、第4項に基づいた委員会の開示権限は、情報に関して、この制限に従うことを条件として、行使することができる。

- (6) 本条は、次に掲げる機関及び人に適用される。
  - (a) 政府省庁（北アイルランド庁も含む。）
  - (b) 地方機関
  - (c) 警官
  - (d) 公的な性質の職務を遂行するその他の機関又は人（何らかの種類  
の活動に関係して規制権限を行使する機関又は人を含む。）

### (7) 〔省略〕

### (8) 〔省略〕

- purposes; and
- (c) information with respect to an institution which has for any purpose been treated as so established but which appears to the relevant body —
    - i) to be, or to have been, carrying on activities which are not charitable, or
    - ii) to be, or to have been, applying any of its funds for purposes which are not charitable.
- (3) [ ... ]
- (4) Subject to subsection (5) below, the Charity Commissioners may disclose to a body or person to whom this section applies any information received by them under or for the purposes of any enactment, where the disclosure is made by the Commissioners —
- (a) for any purpose connected with the discharge of their functions, and
  - (b) for the purpose of enabling or assisting that body or person to discharge any of its or his functions.
- (5) Where any information disclosed to the Charity Commissioners under subsection (1) or (2) above is so disclosed subject to any express restriction on the disclosure of the information by the Commissioners, the Commissioners' power of disclosure under subsection (4) above shall, in relation to the information, be exercisable by them subject to any such restriction.
- (6) This section applies to the following bodies and persons —
- (a) any government department (including a Northern Ireland department);
  - (b) any local authority;
  - (c) any constable; and
  - (d) any other body or person discharging functions of a public nature (including a body or person discharging regulatory functions in relation to any description of activities).
- (7) [ ... ]
- (8) [ ... ]

## 1. チャリティ法関係

- (9) 本条で「法令」とは、下位立法に含まれる制定法を含む。

### 第11条 委員会への虚偽の又は誤解を招く情報提供等

- (1) 故意又は過失により委員会に重要な事項に関して虚偽の又は誤解を招く情報を提供した者は、その情報が次の各号のいずれかに該当するときは、罪を犯したものとする。
- (a) この法律により又はこの法律に基づいて課された要件に従ったと主張して提供された情報
  - (b) 前号に定める方法以外の方法によるが、情報を提供した者が、その情報が委員会によりこの法律に基づき職務を遂行するために使われることを意図し、又はそのことを知ることが合理的に期待できる状況で提供された情報
- (2) この法律により又はこの法律に基づいて、チャリティ委員会に提出するよう要求された又は要求される可能性のある文書を故意に変更し、秘密にし、隠匿し又は破棄した者は、罪を犯したものとする。
- (3) 本条に基づく罪で有罪となった者は、次の各号のいずれかの刑に処せられる。
- (a) 略式裁判による有罪判決に基づく法定限度以下の罰金
  - (b) 正式起訴による有罪判決に基づく2年以下の拘禁若しくは罰金又はそれらの併科
- (4) 本条にいう委員会には、第8条に基づく調査を行う者も含むものとする。

### 第12条 データ保護

[省略]

- (9) In this section “enactment” includes an enactment comprised in subordinate legislation (within the meaning of the [1978 c. 30.] Interpretation Act 1978).

## 11 Supply of false or misleading information to Commissioners, etc

- (1) Any person who knowingly or recklessly provides the Commissioners with information which is false or misleading in a material particular shall be guilty of an offence if the information —
- (a) is provided in purported compliance with a requirement imposed by or under this Act; or
  - (b) is provided otherwise than as mentioned in paragraph (a) above but in circumstances in which the person providing the information intends, or could reasonably be expected to know, that it would be used by the Commissioners for the purpose of discharging their functions under this Act.
- (2) Any person who wilfully alters, suppresses, conceals or destroys any document which he is or is liable to be required, by or under this Act, to produce to the Commissioners shall be guilty of an offence.
- (3) Any person guilty of an offence under this section shall be liable —
- (a) on summary conviction, to a fine not exceeding the statutory maximum;
  - (b) on conviction on indictment, to imprisonment for a term not exceeding two years or to a fine, or both.
- (4) In this section references to the Commissioners include references to any person conducting an inquiry under section 8 above.

## 12 Data protection

[ ... ]

## 第4章 財産へのシ・プレ原則の適用並びに裁判所及び委員会によるチャリティの補助及び監督

### 裁判所の権限の拡大及び特許状の変更

#### 第13条 財産へのシ・プレ原則適用の場合

[省略]

#### 第14条 莫大な贈与者又は権利を放棄する贈与者の贈与についてのシ・プレ原則の適用

[省略]

#### 第15条 特許状により規律されるチャリティ又は法律により若しくは法律に基づくチャリティ

[省略]

#### 第16条 一定の目的のための高等法院との競合的管轄権

- (1) 委員会は、この法律の定めに従うことを条件として、命令により、次の目的のためにチャリティの訴訟において高等法院が行使することのできるものと同一の管轄権及び権限を行使することができる。
  - (a) チャリティの管理規則の制定
  - (b) チャリティ管理者若しくはチャリティ受託者の任命、解任若しくは罷免又は役職者若しくは職員の罷免
  - (c) 財産の帰属若しくは譲渡又はいずれかの者への財産の移転若しくは支払いを請求若しくは履行するための命令又は授權
- (2) 裁判所は、チャリティの管理規則を定めるよう指示する場合には、裁判所が与えることが適当と考える指示に従って委員会が規則を作成し又は決定するよう、命令により委員会に事件を付託することができ、裁判所の命令では、この規則が前項に基づいて作成されたものとみなし、裁判所の追加の命令なしに委員会の命令によって効力を生ずることを規定することができる。
- (3) 委員会は、本条に基づいて、チャリティ若しくはチャリティ受託者



## **Part IV Application of Property Cy-pres and Assistance and Supervision of Charities by Court and Commissioners**

### **Extended powers of court and variation of charters**

#### **13 Occasions for applying property cy-pres**

[ ... ]

#### **14 Application cy-pres of gifts of donors unknown or disclaiming**

[ ... ]

#### **15 Charities governed by charter, or by or under statute**

[ ... ]

#### **16 Concurrent jurisdiction with High Court for certain purposes**

- (1) Subject to the provisions of this Act, the Commissioners may by order exercise the same jurisdiction and powers as are exercisable by the High Court in charity proceedings for the following purposes—
  - (a) establishing a scheme for the administration of a charity;
  - (b) appointing, discharging or removing a charity trustee or trustee for a charity, or removing an officer or employee;
  - (c) vesting or transferring property, or requiring or entitling any person to call for or make any transfer of property or any payment.
- (2) Where the court directs a scheme for the administration of a charity to be established, the court may by order refer the matter to the Commissioners for them to prepare or settle a scheme in accordance with such directions (if any) as the court sees fit to give, and any such order may provide for the scheme to be put into effect by order of the Commissioners as if prepared under subsection (1) above and without any further order of the court.
- (3) The Commissioners shall not have jurisdiction under this section to try or determine the title at law or in equity to any property as between a charity or trustee for a charity and a person holding or claiming the property or an interest in it adversely to the charity, or to try or determine any question as to the existence or extent of any charge or trust.

## 1. チャリティ法関係

とチャリティにとって不利に財産若しくは財産上の利益を保持し若しくは請求する者との間の、コモンロー上若しくはエクイティ上の権原を審理及び決定し、又は負担若しくは信託の存在若しくは範囲に関する問題を審理及び決定する管轄権を有しない。

- (4) 委員会は、次の各項に従うことを条件として、次の各号のいずれかに該当するときを除き、チャリティに関して本条に基づく管轄権を行使しない。
- (a) チャリティの申請があるとき
  - (b) 第2項に基づく裁判所の命令があるとき
  - (c) 免除チャリティ以外のチャリティの場合で、法務総裁の申請があるとき
- (5) 委員会は、免除チャリティ以外のチャリティで、その総財源からの収入が年に総計500ポンドを超えないものにつき、次の各号のいずれかに該当する者の申請があるときに本条に基づく管轄権を行使することができる。
- (a) 1人又は2人以上のチャリティ管理者
  - (b) チャリティに利害関係のある者
  - (c) 地方チャリティの場合にはそのチャリティのある地域における2人以上の住民
- (6) 委員会は、免除チャリティ以外のチャリティにつき、チャリティ管理者がチャリティのために規則の制定を求める申請をすべきであるにもかかわらず不当にこれを拒み又は怠っていると委員会が判断し、委員会がチャリティ管理者に対して委員会に意見を表明する機会を与えているときは、規則の制定を求める申請がチャリティに行われたものとみなして手続を進めることができる。ただし、委員会は、設立の日から40年が経過しているときを除いて、本項によって行為を行う場合には、チャリティの目的を変更する権限を有しない。

- (4) Subject to the following subsections, the Commissioners shall not exercise their jurisdiction under this section as respects any charity, except—
- (a) on the application of the charity; or
  - (b) on an order of the court under subsection (2) above; or
  - (c) in the case of a charity other than an exempt charity, on the application of the Attorney General.
- (5) In the case of a charity which is not an exempt charity and whose income from all sources does not in aggregate exceed £ 500 a year, the Commissioners may exercise their jurisdiction under this section on the application—
- (a) of any one or more of the charity trustees; or
  - (b) of any person interested in the charity; or
  - (c) of any two or more inhabitants of the area of the charity if it is a local charity.
- (6) Where in the case of a charity, other than an exempt charity, the Commissioners are satisfied that the charity trustees ought in the interests of the charity to apply for a scheme, but have unreasonably refused or neglected to do so and the Commissioners have given the charity trustees an opportunity to make representations to them, the Commissioners may proceed as if an application for a scheme had been made by the charity but the Commissioners shall not have power in a case where they act by virtue of this subsection to alter the purposes of a charity, unless forty years have elapsed from the date of its foundation.

## 1. チャリティ法関係

- (7) 委員会は、前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれにも該当するときは、チャリティにより申請が行われたとみなして手続を進めることができる。
  - (a) チャリティが、チャリティ管理者の欠員又は受託者の不在若しくは無能力のためにチャリティ委員会に規則の制定を申請することができないとき
  - (b) 事情に応じ委員会が適切であると考える人数のチャリティ管理者により申請が行われたとき
- (8) 委員会は、チャリティ管理者又はチャリティ受託者をその地位から解任するために、本条に基づく管轄権を行使することができる。
- (9) 委員会は、裁判所の命令に基づくときを除いて、本条に基づく管轄権を行使する前に、連合王国内に所在を確認することができない若しくは住所不明である者又は管轄権行使を求める真性の当事者若しくは関係者である者以外の各チャリティ管理者に、管轄権を行使しようとしていることを通知しなければならない。この通知は、郵送によって行うことができ、郵送で行うときは、連合王国において知られている受領者の最後の住所宛に送付することができる。
- (10) 委員会は、争訟的性格又は事件に関係する法若しくは事実の特別な問題その他の理由により、裁判所によって判定されるのがより適当と考える（裁判所の命令によって委員会に付託されていない）事件に、本条に基づく管轄権を行使してはならない。
- (11) 本条に基づく委員会の命令に対する訴えは、法務総裁が高等法院に提起することができる。
- (12) 本条に基づく委員会の命令に対する訴えは、チャリティ、チャリティ管理者又は命令により役職若しくは職から罷免された者（ただし、チャリティ管理者の同意により又はチャリティに特別監査官がいる場合はその同意により罷免された場合を除く）が、命令が公布された翌日から3ヶ月以内に高等法院に提起することができる。

- (7) Where —
- (a) a charity cannot apply to the Commissioners for a scheme by reason of any vacancy among the charity trustees or the absence or incapacity of any of them, but
  - (b) such an application is made by such number of the charity trustees as the Commissioners consider appropriate in the circumstances of the case,
- the Commissioners may nevertheless proceed as if the application were an application made by the charity.
- (8) The Commissioners may on the application of any charity trustee or trustee for a charity exercise their jurisdiction under this section for the purpose of discharging him from his trusteeship.
- (9) Before exercising any jurisdiction under this section otherwise than on an order of the court, the Commissioners shall give notice of their intention to do so to each of the charity trustees, except any that cannot be found or has no known address in the United Kingdom or who is party or privy to an application for the exercise of the jurisdiction; and any such notice may be given by post, and, if given by post, may be addressed to the recipient's last known address in the United Kingdom.
- (10) The Commissioners shall not exercise their jurisdiction under this section in any case (not referred to them by order of the court) which, by reason of its contentious character, or of any special question of law or of fact which it may involve, or for other reasons, the Commissioners may consider more fit to be adjudicated on by the court.
- (11) An appeal against any order of the Commissioners under this section may be brought in the High Court by the Attorney General.
- (12) An appeal against any order of the Commissioners under this section may also, at any time within the three months beginning with the day following that on which the order is published, be brought in the High Court by the charity or any of the charity trustees, or by any person removed from any office or employment by the order (unless he is removed with the concurrence of the

## 1. チャリティ法関係

- (13) 前項に基づく訴えは、訴えに適した事件である旨の委員会の認証又は大法官府に所属する高等法院裁判官の許可がある場合を除いて、提起することができない。
- (14) 本条に基づく委員会の命令でチャリティの管理規則を定める場合には、チャリティに利害関係を有する者は、チャリティ管理者と同じく第12項に基づく訴えの権利を有し、いかなる地域であれ地方チャリティの場合には、その地域の2人以上の住民及びその地域若しくはその一部を含む村又は（ウエールズにおける）コミュニティの参事会も同様とする。
- (15) [省略]

### 第17条 規則の作成又はチャリティとして適当な目的の財産の充当変更の追加権限

[省略]

### 第18条 チャリティ保護のための行為の権限

- (1) 委員会は、第8条に基づきチャリティに関して調査を開始した後はいつでも、次の各号のいずれかに該当する場合であると判断した場合には、職権で次の i) から vii) までに掲げる事項の1又は2以上を行うことができる。
- (a) チャリティの管理において、違反行為又は運営の誤りがあったとき
- (b) チャリティの財産を保護し又はチャリティの財産若しくはチャリティのものとなる財産をチャリティのために適切に運用することを確保するために行動することが必要であり又は望ましいとき
- i) 命令により、当該チャリティの受託者、チャリティ管理者、チャリティの役職者、代理人又は職員を（本条に基づくかその他によるかを問わず）その罷免のための審査が終わるまで、その役職又は職の執行を停止させること
- ii) 命令により、チャリティの適切な管理のために必要であると委員会が考える数のチャリティ管理者を任命すること

charity trustees or with the approval of the special visitor, if any, of the charity).

- (13) No appeal shall be brought under subsection (12) above except with a certificate of the Commissioners that it is a proper case for an appeal or with the leave of one of the judges of the High Court attached to the Chancery Division.
- (14) Where an order of the Commissioners under this section establishes a scheme for the administration of a charity, any person interested in the charity shall have the like right of appeal under subsection (12) above as a charity trustee, and so also, in the case of a charity which is a local charity in any area, shall any two or more inhabitants of the area and the council of any parish or (in Wales) any community comprising the area or any part of it.

(15) [ ... ]

#### **17 Further powers to make schemes or alter application of charitable property**

[ ... ]

#### **18 Power to act for protection of charities**

- (1) Where, at any time after they have instituted an inquiry under section 8 above with respect to any charity, the Commissioners are satisfied —
- (a) that there is or has been any misconduct or mismanagement in the administration of the charity; or
  - (b) that it is necessary or desirable to act for the purpose of protecting the property of the charity or securing a proper application for the purposes of the charity of that property or of property coming to the charity, the Commissioners may of their own motion do one or more of the following things —
    - i) by order suspend any trustee, charity trustee, officer, agent or employee of the charity from the exercise of his office or employment pending consideration being given to his removal (whether under this section or otherwise);
    - ii) by order appoint such number of additional charity trustees as they consider necessary for the proper administration of

## 1. チャリティ法関係

- iii) 命令により、チャリティによって保持され若しくはチャリティのために信託された財産を管財官に帰属させ、財産が帰属している者に対し管財官にその財産を譲渡するように求め、又は財産を管財官に譲渡するための人を任命すること
  - iv) チャリティ又はチャリティを代理して財産を保持する者に対して、委員会の同意なくその財産を処分しないよう命令すること
  - v) チャリティの債務者に対して、委員会の同意なくチャリティに対する債務の履行として又は履行のためにいかなる支払いも行わないよう命令すること
  - vi) 命令により、(チャリティの信託上の規定にかかわらず) 委員会の同意なくチャリティの管理上結ばれる取引又は行われる支払いの性質又は金額を制限すること
  - vii) 命令により、チャリティの財産及び業務に関して、受益者及び運営者を(第19条に従って)任命すること
- (2) 委員会は、チャリティに関して第8条に基づく調査を開始した後はいつでも次の各号のいずれにも該当する場合であると認めた場合には、職権で次の i) 若しくは ii) 又はその双方を行うことができる。
- (a) チャリティの管理において違反行為又は運営の誤りがあり又はあったとき
  - (b) チャリティの財産を保護し又はチャリティの財産若しくはチャリティのものになる財産をチャリティのために適切に運用することを確保するために活動することが必要であり又は望ましいとき
    - i) 命令により、違反行為若しくは運営の誤りについて責任を有し若しくは当事者であり、又は自己の行為によってそれらに関与し若しくはそれらを助長した受託者、チャリティ管理者、役職者、代理人又は職員を罷免すること
    - ii) 命令により、チャリティの管理のための規則を作成すること
- (3) 前2項にいう違反行為又は運営の誤りには、(チャリティの信託上の規定にかかわらず) チャリティとして適当な目的のために運用され若しくは運用可能であり、又はそれらの見込みのある財産に対して



- the charity;
- iii) by order vest any property held by or in trust for the charity in the official custodian, or require the persons in whom any such property is vested to transfer it to him, or appoint any person to transfer any such property to him;
  - iv) order any person who holds any property on behalf of the charity, or of any trustee for it, not to part with the property without the approval of the Commissioners;
  - v) order any debtor of the charity not to make any payment in or towards the discharge of his liability to the charity without the approval of the Commissioners;
  - vi) by order restrict (notwithstanding anything in the trusts of the charity) the transactions which may be entered into, or the nature or amount of the payments which may be made, in the administration of the charity without the approval of the Commissioners;
  - vii) by order appoint (in accordance with section 19 below) a receiver and manager in respect of the property and affairs of the charity.
- (2) Where, at any time after they have instituted an inquiry under section 8 above with respect to any charity, the Commissioners are satisfied —
- (a) that there is or has been any misconduct or mismanagement in the administration of the charity; and
  - (b) that it is necessary or desirable to act for the purpose of protecting the property of the charity or securing a proper application for the purposes of the charity of that property or of property coming to the charity, the Commissioners may of their own motion do either or both of the following things —
    - i) by order remove any trustee, charity trustee, officer, agent or employee of the charity who has been responsible for or privy to the misconduct or mismanagement or has by his conduct contributed to it or facilitated it;
    - ii) by order establish a scheme for the administration of the charity.
- (3) The references in subsection (1) or (2) above to misconduct or mismanagement shall (notwithstanding anything in the trusts of

## 1. チャリティ法関係

過大な額の、チャリティの業務に従事する者への報酬若しくは謝礼を伴う雇用又はその他の目的のための雇用を含む。

- (4) 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、職権により発する命令により、チャリティ管理者を罷免することができる。
- (a) 過去5年間に管理者が次のいずれかに該当するとき
    - i) 以前に破産宣告を受け、又はその財産が差押えを受けたことがあるとき
    - ii) 以前に債権者と和解若しくは示談をし又は債権者のために信託証書を与えたことに関して処罰されたことがあるとき
  - (b) 管理者が清算法人であるとき
  - (c) 管理者が1983年精神衛生法にいう精神障害を理由に行為無能力であるとき
  - (d) 管理者が活動したことがなく、活動しようとする意思若しくはしたくない意思を表明しようとしないうとき
  - (e) 管理者がイングランド及びウエールズの外にいる又は所在を確認することができない若しくは活動していない場合で、管理者の不在又は不活動によりチャリティの適切な管理が妨げられているとき
- (5) 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、職権で行う命令によってチャリティ管理者を任命することができる。
- (a) 本条に基づき又はその他により、委員会によって罷免されたチャリティ管理者に代えるとき
  - (b) チャリティ管理者がいない場合又はチャリティ管理者の欠員若しくは不在若しくは無能力のためにチャリティが任命を申請することができないとき
  - (c) 社団法人ではないチャリティ管理者が1人しかおらず、委員会がチャリティの適切な管理のために受託者の数を増やすことが必要であると判断したとき
  - (d) 委員会が、既存のチャリティ管理者の1人がチャリティ管理者を継続して務めるべきであるにもかかわらず、所在を確認することができず、活動しておらず又はイングランド及びウエールズの外にいるために、チャリティの適正な管理のためにチャリティ

the charity) extend to the employment for the remuneration or reward of persons acting in the affairs of the charity, or for other administrative purposes, of sums which are excessive in relation to the property which is or is likely to be applied or applicable for the purposes of the charity.

- (4) The Commissioners may also remove a charity trustee by order made of their own motion —
- (a) where, within the last five years, the trustee —
    - i) having previously been adjudged bankrupt or had his estate sequestrated, has been discharged, or
    - ii) having previously made a composition or arrangement with, or granted a trust deed for, his creditors, has been discharged in respect of it;
  - (b) where the trustee is a corporation in liquidation;
  - (c) where the trustee is incapable of acting by reason of mental disorder within the meaning of the [1983 c. 20.] Mental Health Act 1983;
  - (d) where the trustee has not acted, and will not declare his willingness or unwillingness to act;
  - (e) where the trustee is outside England and Wales or cannot be found or does not act, and his absence or failure to act impedes the proper administration of the charity.
- (5) The Commissioners may by order made of their own motion appoint a person to be a charity trustee —
- (a) in place of a charity trustee removed by them under this section or otherwise;
  - (b) where there are no charity trustees, or where by reason of vacancies in their number or the absence or incapacity of any of their number the charity cannot apply for the appointment;
  - (c) where there is a single charity trustee, not being a corporation aggregate, and the Commissioners are of opinion that it is necessary to increase the number for the proper administration of the charity;
  - (d) where the Commissioners are of opinion that it is necessary for the proper administration of the charity to have an additional charity trustee because one of the existing charity trustees who ought nevertheless to remain a charity trustee either cannot be found or does not act or is outside England

## 1. チャリティ法関係

管理者の増員が必要であると判断したとき

- (6) 本条に基づき、職権でチャリティ管理者を罷免し又は任命する委員会の権限には、第16条に基づく委員会によるチャリティ管理者の罷免又は任命の際に発することができるチャリティ管理者への財産の帰属又は譲渡に関する命令を発する権限が含まれる。
- (7) 本条に基づき、チャリティ管理者若しくはチャリティ受益者を解任し若しくは任命するための又は財産を剥奪し若しくは移転するための命令は、第16条に基づき発せられる命令と同様の効果を有する。
- (8) 第9項に従うことを条件として、第16条第11項から第13項までの規定は、第16条に基づく命令に適用されるのと同様に、本条に基づく命令にも適用する。
- (9) 第16条第13項にいう認証又は許可を得る要件は、次の各号の訴訟には適用しない。
  - (a) チャリティの財産及び業務に関する受益者及び運営者を任命する第1項vii)に基づく命令に対するチャリティ又はチャリティ管理者が提起する訴訟
  - (b) 第2項 i) 又は第4項 (a) 号に基づく命令により役職又は職から外された者が提起する訴訟
- (10) 第16条第14項は、同項に基づく命令に適用されるのと同様に、本条に基づくチャリティの管理規則を定める命令に対し適用する。
- (11) 第1項 i) に基づく命令を発する委員会の権限は、12ヶ月を超える期間、役職又は職の執行を停止するために行使してはならない。ただし(第89条第1項の通則に影響を及ぼすことなく)この命令により、停職期間に関し、その命令から発生する事項、特に停職命令を受けた者の名において法的文書を執行し又はその他その者に代わって行為することのある者に可能とすることを定め、チャリティ管理者の場合について、この命令により、行為能力のある人数の減少を考慮するためにチャリティ管理者の手続きを規律する規則を調整する

and Wales.

- (6) The powers of the Commissioners under this section to remove or appoint charity trustees of their own motion shall include power to make any such order with respect to the vesting in or transfer to the charity trustees of any property as the Commissioners could make on the removal or appointment of a charity trustee by them under section 16 above.
- (7) Any order under this section for the removal or appointment of a charity trustee or trustee for a charity, or for the vesting or transfer of any property, shall be of the like effect as an order made under section 16 above.
- (8) Subject to subsection (9) below, subsections (11) to (13) of section 16 above shall apply to orders under this section as they apply to orders under that section.
- (9) The requirement to obtain any such certificate or leave as is mentioned in section 16 (13) above shall not apply to —
  - (a) an appeal by a charity or any of the charity trustees of a charity against an order under subsection (1) vii) above appointing a receiver and manager in respect of the charity's property and affairs, or
  - (b) an appeal by a person against an order under subsection (2) i) or (4) (a) above removing him from his office or employment.
- (10) Subsection (14) of section 16 above shall apply to an order under this section which establishes a scheme for the administration of a charity as it applies to such an order under that section.
- (11) The power of the Commissioners to make an order under subsection (1) i) above shall not be exercisable so as to suspend any person from the exercise of his office or employment for a period of more than twelve months; but (without prejudice to the generality of section 89 (1) below), any such order made in the case of any person may make provision as respects the period of his suspension for matters arising out of it, and in particular for enabling any person to execute any instrument in his name

## 1. チャリティ法関係

ことができる。

- (12) 委員会は、第1項を除く本条に基づく管轄権を行使する前に、連合王国内に所在を確認することができず又は住所が判明しない者を除く各チャリティ管理者に、管轄権を行使する意思を通知しなければならない。この通知は、郵送によって行うことができ、郵送で行う場合には、連合王国の直近に届出された住所宛に送付することができる。
- (13) 委員会は、第1項 i) 又は iii) から vi) までのいずれかに基づき発した命令を、適当と考える間隔において見直さなければならない。委員会は、見直しの際に命令の全部又は一部取消しが適当であると判断した場合には、(留保又はその他の移行規定に従うか否かにかかわらず) 命令を取り消さなければならない。
- (14) 第1項 iv)、v) 又は vi) に基づく命令に違反した者は、陪審によらない裁判による有罪判決により、標準第5等級以下の罰金に処する。
- (15) 前項の規定は、(前項に基づく違反に関する訴訟がチャリティ管理者又はチャリティ受託者に対して提起されるか否かにかかわらず) 第1項 iv) 又は vi) に基づく命令の違反に関してチャリティ管理者又はチャリティ受託者に対して信託違反を理由として訴訟を提起することを排除しない。
- (16) 本条は、免除チャリティには適用しない。

### 第19条 チャリティのために任命された受益者及び運営者に関する補足条項

[省略]

or otherwise act for him and, in the case of a charity trustee, for adjusting any rules governing the proceedings of the charity trustees to take account of the reduction in the number capable of acting.

- (12) Before exercising any jurisdiction under this section otherwise than by virtue of subsection (1) above, the Commissioners shall give notice of their intention to do so to each of the charity trustees, except any that cannot be found or has no known address in the United Kingdom; and any such notice may be given by post and, if given by post, may be addressed to the recipient's last known address in the United Kingdom.
- (13) The Commissioners shall, at such intervals as they think fit, review any order made by them under paragraph i), or any of paragraphs iii) to vii), of subsection (1) above; and, if on any such review it appears to them that it would be appropriate to discharge the order in whole or in part, they shall so discharge it (whether subject to any savings or other transitional provisions or not).
- (14) If any person contravenes an order under subsection (1) iv), v) or vi) above, he shall be guilty of an offence and liable on summary conviction to a fine not exceeding level 5 on the standard scale.
- (15) Subsection (14) above shall not be taken to preclude the bringing of proceedings for breach of trust against any charity trustee or trustee for a charity in respect of a contravention of an order under subsection (1) iv) or vi) above (whether proceedings in respect of the contravention are brought against him under subsection (14) above or not).
- (16) This section shall not apply to an exempt charity.

## 19 Supplementary provisions relating to receiver and manager appointed for a charity

[ ... ]

**第20条 第16条から第18条までの訴訟のための公開**

- (1) 委員会は、公告の日から1ヶ月以上の期間内に委員会に対して意見を提出することを募る提案の公告が命令の1ヶ月以上前から行われな  
ない場合には、この法律に基づいて、チャリティの管理規則を定める  
命令を発し又は規則を発行させる命令を求めて当該規則を裁判所若  
しくは国務大臣に提出してはならず、村又は（ウエールズにおける）  
コミュニティにある、教会チャリティを除く地方チャリティにかか  
る規則の場合には、規則の草案は村参事会又はコミュニティ参事会、  
参事会のない村では村会議長に伝えなければならない。
- (2) 委員会は、前項により、規則を定める命令について必要とされるも  
のと同様の公告を1ヶ月以上前から行わない場合には、この法律に基  
づいて、（管財官以外の）チャリティ管理者又はチャリティ受託者を  
任命し、解任し又は罷免する命令を発してはならない。ただし、本  
項は、次の各号のいずれかに該当する命令には適用しない。
  - (a) 第18条第1項 ii) に基づく命令
  - (b) 委員会が受託者を解任し又は罷免する提案を公告することが必  
要なく、かつ、それが受託者の利益にならないと判断する場合に、  
受託者を解任し又は罷免する命令
- (3) 委員会は、この法律に基づいて、チャリティ管理者若しくはチャリ  
ティ受託者又は公益団体の役職者、代理人若しくは職員を、本人の  
同意を得ずに解任する命令を発する前に、連合王国内で本人の所在  
を確認することができず、又は本人の住所が知られていない場合を  
除き、通知で指定された期間内に委員会に対して意見を表明するよ  
う募る提案を本人に対して1ヶ月以上前に通知しなければならない。
- (4) 第1項から第3項までによって要求される提案の通知が行われた場合  
には、委員会は、通知で指定された期間内に委員会に対して表明さ  
れた意見を考慮しなければならないが、委員会は、修正をせず又は  
委員会にとって望ましいと思われる修正を付して、（再通知なしに）  
提案にかかる手続を進めることができる。



## 20 Publicity for proceedings under ss. 16 to 18

- (1) The Commissioners shall not make any order under this Act to establish a scheme for the administration of a charity, or submit such a scheme to the court or the Secretary of State for an order giving it effect, unless not less than one month previously there has been given public notice of their proposals, inviting representations to be made to them within a time specified in the notice, being not less than one month from the date of such notice, and, in the case of a scheme relating to a local charity, other than on ecclesiastical charity, in a parish or (in Wales) a community, a draft of the scheme has been communicated to the parish or community council or, in the case of a parish not having a council, to the chairman of the parish meeting.
- (2) The Commissioners shall not make any order under this Act to appoint, discharge or remove a charity trustee or trustee for a charity (other than the official custodian), unless not less than one month previously there has been given the like public notice as is required by subsection (1) above for an order establishing a scheme but this subsection shall not apply in the case of—
  - (a) an order under section 18 (1) ii) above; or
  - (b) an order discharging or removing a trustee if the Commissioners are of opinion that it is unnecessary and not in his interest to give publicity to the proposal to discharge or remove him.
- (3) Before the Commissioners make an order under this Act to remove without his consent a charity trustee or trustee for a charity, or an officer, agent or employee of a charity, the Commissioners shall, unless he cannot be found or has no known address in the United Kingdom, give him not less than one month's notice of their proposal, inviting representations to be made to them within a time specified in the notice.
- (4) Where notice is given of any proposals as required by subsections (1) to (3) above, the Commissioners shall take into consideration any representations made to them about the proposals within the time specified in the notice, and may (without further notice) proceed with the proposals either without modification or with such modifications as appear to them to be desirable.

## 1. チャリティ法関係

- (5) 委員会が第16条第12項に基づく訴えの対象となる命令を発する場合には、この命令を公告するか又は同項に基づきこの命令に対する訴えの原告適格あるすべての者に対して通知するかいずれか委員会が適当と認める方法によって、この命令を公表しなければならない。
- (6) 委員会がこの法律に基づいてチャリティの管理規則を定める命令を発する場合には、この命令の写しは、命令が公告されてから1ヶ月以上の間の常識的な時間帯にいつでも委員会の事務所及び地方チャリティの場合はチャリティの地域内の便利な場所において、公衆の閲覧に供しなければならない。
- (7) 本条に基づく提案又は命令の通知には、委員会が十分かつ適当と認める提案若しくは命令の詳細又はそれらに関する情報の入手のための指示を含めなければならない、公告は、委員会が十分かつ適当と認める方法で行わなければならない。
- (8) 本条に基づいて行われる、公告を除くいかなる通知も、郵送により行うことができ、郵送で行う場合には、連合王国の直近に届出された受領者の住所宛に送付することができる。

- (5) Where the Commissioners make an order which is subject to appeal under subsection (12) of section 16 above the order shall be published either by giving public notice of it or by giving notice of it to all persons entitled to appeal against it under that subsection, as the Commissioners think fit.
- (6) Where the Commissioners make an order under this Act to establish a scheme for the administration of a charity, a copy of the order shall, for not less than one month after the order is published, be available for public inspection at all reasonable times at the Commissioners' office and also at some convenient place in the area of the charity, if it is a local charity.
- (7) Any notice to be given under this section of any proposals or order shall give such particulars of the proposals or order, or such directions for obtaining information about them, as the Commissioners think sufficient and appropriate, and any public notice shall be given in such manner as they think sufficient and appropriate.
- (8) Any notice to be given under this section, other than a public notice, may be given by post and, if given by post, may be addressed to the recipient's last known address in the United Kingdom.

## 1. チャリティ法関係

### 附則第1

#### チャリティ委員会の組織など

##### 第1条

- (1) 1名のチャリティ委員長と2名のチャリティ委員を置く。
- (2) 少なくとも2名のチャリティ委員は、1990年法廷及び法律サービス法 [1990年法律第41号] 第71条にいう一般的資格を7年間有している者でなければならない。
- (3) チャリティ委員長及びその他のチャリティ委員は、国務大臣により任命されるものとし、すべての目的において国王の公務員に雇用されているものとみなされる。
- (4) 各委員には、国務大臣が財務省の同意を得て定める俸給及び手当を支給することができる。
- (5) 国務大臣は、3名を超える委員が必要であると判断した場合にはいつでも、財務省の同意を得て2名を超えない委員を追加して任命することができる。

##### 第2条

- (1) チャリティ委員長は、人数及び勤務条件について財務省の同意を得て、委員会及び管財官の職務の適切な遂行に必要と考える補佐委員その他の職員及び雇人を任命することができる。
- (2) 前項に基づき任命された職員及び雇人には、財務省が定める俸給又は報酬を支給することができる。

##### 第3条

- (1) チャリティ委員会は、文書の証明のために公印を使用することができ、公印は公的に及び司法上届出されたものとする。
- (2) 1882年文書証明法 [1882年法律第9号] により改正された1868年文

## Schedule 1 Constitution etc. of Charity Commissioners

### 1

- (1) There shall be a Chief Charity Commissioner and two other commissioners.
- (2) Two at least of the commissioners shall be persons who have a seven year general qualification within the meaning of section 71 of the [1990 c. 41.] Courts and Legal Services Act 1990.
- (3) The chief commissioner and the other commissioners shall be appointed by the Secretary of State, and shall be deemed for all purposes to be employed in the civil service of the Crown.
- (4) There may be paid to each of the commissioners such salary and allowances as the Secretary of State may with the approval of the Treasury determine.
- (5) If at any time it appears to the Secretary of State that there should be more than three commissioners, he may with the approval of the Treasury appoint not more than two additional commissioners.

### 2

- (1) The chief commissioner may, with the approval of the Treasury as to number and conditions of service, appoint such assistant commissioners and other officers and such employees as he thinks necessary for the proper discharge of the functions of the Commissioners and of the official custodian.
- (2) There may be paid to officers and employees so appointed such salaries or remuneration as the Treasury may determine.

### 3

- (1) The Commissioners may use an official seal for the authentication of documents, and their seal shall be officially and judicially noticed.
- (2) The [1868 c. 37.] Documentary Evidence Act 1868, as amended

## 1. チャリティ法関係

書証明法 [1868年法律第37号] は、1868年法附則において、チャリティ委員会が第1段に含まれ、チャリティ委員会の代わりに行為する権限を与えられた委員、補佐委員、職員は第2段に含まれるものとして適用されるものとする。

- (3) チャリティ委員会は、その手続きを規律する権限を有するものとし、その規則及び委員長の指示に服して、委員又は補佐委員は委員会のために及び委員会の名で行為することができる。
- (4) チャリティ委員会が合議体として行為する場合には、次のとおりとする。
  - (a) 在職する委員が4名以下のときには、定足数は2名とする（そのうち少なくとも1名は第1条第2項にいう資格を有する者でなければならない）
  - (b) 在職する委員が5名のときには、定足数は3名とする（そのうち少なくとも1名は第1条第2項にいう資格を有する者でなければならない）可否同数の場合には、委員長又は委員長が欠席のときには議長を勤める委員が第二票又は決定票を有するものとする。
- (5) チャリティ委員会は、欠員がある場合であっても、活動する権限を有する。
- (6) 委員または補佐委員が第3項に従い委員会のために及び委員会の名で行為する権限は、この法律の第8条、第18条、第19条及び第63条に基づく委員会の作用（第80条第1項が準用する第8条、第18条、第19条に基づく作用を含む。）に関して行使することができることをここに宣言する。

### 第4条

法的手続は、イングランド及びウエールズチャリティ委員会の名でチャリティ委員会によって又はチャリティ委員会に対して行使ことができ、委員である者の変更によって無効にならず又は影響を受けないものとする。

by the [1882 c. 9.] Documentary Evidence Act 1882, shall have effect as if in the Schedule to the Act of 1868 the Commissioners were included in the first column and any commissioner or assistant commissioner and any officer authorised to act on behalf of the Commissioners were mentioned in the second column.

- (3) The Commissioners shall have power to regulate their own procedure and, subject to any such regulations and to any directions of the chief commissioner, any one commissioner or any assistant commissioner may act for and in the name of the Commissioners.
- (4) Where the Commissioners act as a board, then —
  - (a) if not more than four commissioners hold office for the time being, the quorum shall be two commissioners (of whom at least one must be a person having a qualification such as is mentioned in paragraph 1 (2) above); and
  - (b) if five commissioners so hold office, the quorum shall be three commissioners (of whom at least one must be a person having such a qualification);And in the case of an equality of votes the chief commissioner or in his absence the commissioner presiding shall have a second or casting vote.
- (5) The Commissioners shall have power to act notwithstanding any vacancy in their number.
- (6) It is hereby declared that the power of a commissioner or assistant commissioner to act for and in the name of the Commissioners in accordance with sub-paragraph (3) above may, in particular, be exercised in relation to functions of the Commissioners under sections 8, 18, 19 and 63 of this Act, including functions under sections 8,18 and 19 as applied by section 80 (1).

#### 4

Legal proceedings may be instituted by or against the Commissioners by the name of the Charity Commissioners for England and Wales, and shall not abate or be affected by any change in the persons who are the commissioners.

## 1. チャリティ法関係

### 附則第2

#### 免除チャリティ

次の団体は、チャリティである限り、この法律にいう免除チャリティとする。

- (a) 1960年チャリティ法 [1960年法律第58号] が成立していなかったならば、1853年から1939年までの諸チャリティ法に基づくチャリティ委員会又は教育大臣の権限及び管轄（委員会又は大臣がこれらの法律の全部又は一部をチャリティに適用する権限を除く。）から、これらの法律に含まれていない制定法（1855年礼拝所登録法 [1855年法律第81号] 第9条を除く。）によって、免除されていた団体
- (b) オックスフォード、ケンブリッジ、ロンドン、ダーハム及びニューカッスルの諸大学、オックスフォード、ケンブリッジ、ロンドン、ダーハム及びニューカッスルの諸大学におけるカレッジ及び学寮、ロンドン大学におけるクイーンメリー及びウエストフィールドカレッジ並びにウィンチェスター及びイトンのカレッジ
- (c) 女王陛下が枢密院令によってこの法律との関係で免除チャリティであると宣言する、あらゆる大学、大学のカレッジ又は大学もしくは大学のカレッジに付属する施設
- (d) 補助金により維持されている学校
- (e) ナショナル・カリキュラム・カウンシル
- (f) ウェールズ・カリキュラム・カウンシル
- (g) 学校試験評価委員会
- (h) 高等教育法人
- (i) （1988年教育改革法 [1988年法律第40号] 第129条5項にいう）高等教育法人の後継会社で、当該会社が活動する組織が、当分の間、そ



## Schedule 2 Exempt Charities

The following institutions, so far as they are charities, are exempt charities within the meaning of this Act, that is to say —

- (a) any institution which, if the [1960 c. 58.] Charities Act 1960 had not been passed, would be exempted from the powers and jurisdiction, under the Charitable Trusts Acts 1853 to 1939, of the Commissioners or Minister of Education (apart from any power of the Commissioners or Minister to apply those Acts in whole or in part to charities otherwise exempt) by the terms of any enactment not contained in those Acts other than section 9 of the [1855 c. 81.] Places of Worship Registration Act 1855;
- (b) the universities of Oxford, Cambridge, London, Durham and Newcastle, the colleges and halls in the universities of Oxford, Cambridge, Durham and Newcastle, Queen Mary and Westfield College in the University of London and the colleges of Winchester and Eton;
- (c) any university, university college, or institution connected with a university or university college, which Her Majesty declares by Order in Council to be an exempt charity for the purposes of this Act;
- (d) a grant-maintained school;
- (e) the National Curriculum Council;
- (f) the Curriculum Council for Wales;
- (g) the School Examinations and Assessment Council;
- (h) a higher education corporation;
- (i) a successor company to a higher education corporation (within the meaning of section 129 (5) of the [1988 c. 40.] Education Reform Act 1988) at a time when an institution conducted by the company is for the time being designated under that section;

## 1. チャリティ法関係

の条項によって指定されたときのもの

- (j) 継続教育法人
- (k) ヴィクトリア・アルバート美術館の受託者評議会
- (l) 科学博物館の受託者評議会
- (m) 造兵廠の受託者評議会
- (n) 王立植物園・キューの受託者評議会
- (o) マージサイドの国立美術館及びギャラリーの受託者評議会
- (p) 大英博物館の受託者評議会及び国立歴史博物館の受託者評議会
- (q) ナショナル・ギャラリーの受託者評議会
- (r) テイト・ギャラリーの受託者評議会
- (s) ナショナル・ポートレート・ギャラリーの受託者評議会
- (t) ウォーラス・コレクションの受託者評議会
- (u) 帝国戦争博物館の受託者評議会
- (v) 国立海事博物館の受託者評議会
- (w) かつ前号までに挙げられた団体の一般的な目的又はこれらの団体の若しくはこれらの団体に関係する特別な目的のために設立され、これらの団体により又は団体が代わって管理している団体
- (x) 教会委員会及び教会委員会が管理する団体

- (j) a further education corporation;
- (k) the Board of Trustees of the Victoria and Albert Museum;
- (l) the Board of Trustees of the Science Museum;
- (m) the Board of Trustees of the Armouries;
- (n) the Board of Trustees of the Royal Botanic Gardens, Kew;
- (o) the Board of Trustees of the National Museums and Galleries on Merseyside;
- (p) the trustees of the British Museum and the trustees of the Natural History Museum;
- (q) the Board of Trustees of the National Gallery;
- (r) the Board of Trustees of the Tate Gallery;
- (s) the Board of Trustees of the National Portrait Gallery;
- (t) the Board of Trustees of the Wallace Collection;
- (u) the Trustees of the Imperial War Museum;
- (v) the Trustees of the National Maritime Museum;
- (w) any institution which is administered by or on behalf of an institution included above and is established for the general purposes of, or for any special purpose of or in connection with, the last-mentioned institution;
- (x) the Church Commissioners and any institution which is administered by them;

1. チャリティ法関係

- (y) 1965年産業共済組合法 [1965年法律第12号] にいう登録組合及び  
1974年共済組合法 [1974年法律第46号] にいう登録組合又はその支  
部
- (z) ロンドン美術館の館長評議会
- (za) 国立図書館の評議会

**附則第3～第8**

[省略]

- (y) any registered society within the meaning of the [1965 c. 12.] Industrial and Provident Societies Act 1965 and any registered society or branch within the meaning of the [1974 c. 46.] Friendly Societies Act 1974;
- (z) the Board of Governors of the Museum of London;
- (za) the British Library Board.

### Schedule 3 – 8

[ ... ]

## 1. チャリティ法関係

### (2) 2006年チャリティ法〔抄〕

#### 第1部 「チャリティ」及び「チャリティ目的」の意味

##### 第1条 「チャリティ」の意味

- (1) イングランドおよびウエールズ法において、「チャリティ」とは、次の団体をいう。
  - (a) もっぱらチャリティ目的で設立された団体
  - (b) チャリティに関する管轄権の行使において高等法院の統制に服するに至った団体
- (2) 前項にいう「チャリティ」の定義は、別の制定法によって、この用語の別の定義が適用される場合には、その制定法の目的では適用しない。
- (3) いかなる制定法または文書であれ、それが1601年チャリティユース法または同法の前文の意味におけるチャリティを指す場合には、第1項で定義したチャリティを意味すると解釈するものとする。

##### 第2条 「チャリティ目的」の意味

- (1) イングランドおよびウエールズ法において、チャリティ目的とは、次の要件を充たすものをいう。
  - (a) その目的が第2項に含まれること
  - (b) その目的が公益目的（第3条を参照）であること
- (2) 目的が次の目的のいずれかに含まれる場合に、本項に該当するものとする。
  - (a) 貧困の予防および救済
  - (b) 教育の促進
  - (c) 宗教の促進
  - (d) 健康の促進および生命の救助
  - (e) 市民または共同体の発展の促進
  - (f) 芸術、文化、遺産または科学の促進
  - (g) アマチュアスポーツの促進
  - (h) 人権、紛争の解決もしくは和解の促進または宗教、人種協和、

## (2) Charities Act 2006

### Part 1 Meaning of “charity” and “charitable purpose”

#### 1 Meaning of “charity”

- (1) For the purposes of the law of England and Wales, “charity” means an institution which
  - (a) is established for charitable purposes only, and
  - (b) falls to be subject to the control of the High Court in the exercise of its jurisdiction with respect to charities.
- (2) The definition of “charity” in subsection (1) does not apply for the purposes of an enactment if a different definition of that term applies for those purposes by virtue of that or any other enactment.
- (3) A reference in any enactment or document to a charity within the meaning of the Charitable Uses Act 1601 (c. 4) or the preamble to it is to be construed as a reference to a charity as defined by subsection (1).

#### 2 Meaning of “charitable purpose”

- (1) For the purposes of the law of England and Wales, a charitable purpose is a purpose which —
  - (a) falls within subsection (2), and
  - (b) is for the public benefit (see section 3).
- (2) A purpose falls within this subsection if it falls within any of the following descriptions of purposes —
  - (a) the prevention or relief of poverty;
  - (b) the advancement of education;
  - (c) the advancement of religion;
  - (d) the advancement of health or the saving of lives;
  - (e) the advancement of citizenship or community development;
  - (f) the advancement of the arts, culture, heritage or science;
  - (g) the advancement of amateur sport;
  - (h) the advancement of human rights, conflict resolution or reconciliation or the promotion of religious or racial harmony or equality and diversity;

## 1. チャリティ法関係

もしくは平等および多様性の奨励

- (i) 環境の保護または改善の促進
  - (j) 若齢、老齢、病気、障害、経済的困難または他の不利益を理由とする困窮者の救済
  - (k) 動物保護の促進
  - (l) 軍隊の効率性の奨励または警察、消防および救助サービスまたは救急サービスの効率性の奨励
  - (m) 第4項に掲げるその他の目的
- (3) 第2項にいう次の語は、それぞれ次の意味をいう。
- (a) (c)号にいう「宗教」とは、次のものを含む
    - i) 一神または多神に対する信仰にかかわる宗教
    - ii) 神に対する信仰にかかわらない宗教
  - (b) (d)号にいう「健康の促進」とは、不健康、疾患または苦痛の予防または救済を含む
  - (c) (e)号は、次のものを含む
    - i) 地方または都市の再生
    - ii) 市民責任、ボランティア活動、ボランティアセクターまたはチャリティの効果性もしくは効率性の奨励
  - (d) (g)号にいう「スポーツ」とは、肉体的または精神的な技能または努力にかかわることによって健康を増進するスポーツまたはゲームをいう
  - (e) (j)号は、そこで挙げられる人々に対して設備またはケアを提供することによって与えられる救済を含む
  - (f) (l)号にいう「消防および救助サービス」とは、2004年消防および救助サービス法第2部に基づいて消防および救助署によって提供されるサービスを意味する
- (4) 第2項(m)号に基づき本項で掲げる目的とは、次のものをいう。
- (a) いかなる目的であれ、第2項(a)号から(l)号までに掲げられていないが、現行のチャリティ法に基づいてまたは1958年レクリエーションチャリティ法第1条によってチャリティ目的であると認められた目的
  - (b) いかなる目的であれ、第2項(a)号から(l)号または本項(a)号



- (i) the advancement of environmental protection or improvement;
  - (j) the relief of those in need by reason of youth, age, ill-health, disability, financial hardship or other disadvantage;
  - (k) the advancement of animal welfare;
  - (l) the promotion of the efficiency of the armed forces of the Crown, or of the efficiency of the police, fire and rescue services or ambulance services;
  - (m) any other purposes within subsection (4).
- (3) In subsection (2) —
- (a) in paragraph (c) “religion” includes —
    - i) a religion which involves belief in more than one god, and
    - ii) a religion which does not involve belief in a god;
  - (b) in paragraph (d) “the advancement of health” includes the prevention or relief of sickness, disease or human suffering;
  - (c) paragraph (e) includes —
    - i) rural or urban regeneration, and
    - ii) the promotion of civic responsibility, volunteering, the voluntary sector of the effectiveness or efficiency of charities;
  - (d) in paragraph (g) “sport” means sports or games which promote health by involving physical or mental skill or exertion;
  - (e) paragraph (j) includes relief given by the provision of accommodation or care to the persons mentioned in that paragraph; and
  - (f) in paragraph (l) “fire and rescue service” means services provided by fire and rescue authorities under Part 2 of the Fire and Rescue Services Act 2004 (c.21).
- (4) The purposes within this subsection (see subsection (2)(m)) are —
- (a) any purposes not within paragraphs (a) to (l) of subsection (2) but recognized as charitable purposes under existing charity law or by virtue of section 1 of the Recreational Charities Act 1958 (c.17);
  - (b) any purposes that may reasonably be regarded as analogous to, or within the spirit of any purposes falling within any of those paragraphs or paragraph (a) above; and

## 1. チャリティ法関係

のいずれかの目的に相当するか、またはこれらの目的の精神に合致すると合理的に考えられる目的

(c) チャリティ法に基づいて第2項 (b) 号または本項 (b) 号に該当すると考えられる目的に相当するか、またはこれらの目的の精神に合致すると合理的に考えられる目的

- (5) 第2項の (a) 号から (l) 号まで、または第3項で用いられている用語がチャリティ法において特定の意味を有するときには、その用語はその条項において同じ意味を有するものとする。
- (6) いかなる制定法または文書であれ (いかなる用語であっても)、次の語に言及があるときは、第1項に適合するものとして解釈するものとする。
- (a) チャリティ目的
- (b) チャリティ法に基づいてチャリティである目的を有する団体
- (7) 第6項は、次のように適用する。
- (a) この法律が可決される前後にかかわらず、可決されまたは成立した制定法または文書には、これを適用する
- (b) ただし、文脈が異なる解釈を要求するときには、これを適用しない
- (8) 本条において、「チャリティ法」とは、イングランドおよびウエールズにおけるチャリティに関係する法律を意味し、「現行のチャリティ法」とは、本条が発効する日より前に効力を有しているチャリティ法を意味する。

### 第3条 「公益」テスト

- (1) 本条は、第2条第2項に含まれる目的がチャリティ目的といえるためには、その目的は公益目的でなければならないという、第2条第1項 (b) 号における要件に関して適用する。
- (2) いかなる目的との関係であれ、前項の要件が充たされているかを決定する際には、特定の記述された目的が公益であると推定してはな

- (c) any purposes that may reasonably be regarded as analogous to, or within the spirit of, any purposes which have been recognized under charity law as falling within paragraph (b) above or this paragraph.
- (5) Where any of the terms used in any of paragraphs (a) to (1) of subsection (2), or in subsection (3), has a particular meaning under charity law, the term is to be taken as having the same meaning where it appears in that provision.
- (6) Any reference in any enactment or document (in whatever terms) —
  - (a) to charitable purposes, or
  - (b) to institutions having purposes that are charitable under charity law, is to be construed in accordance with subsection (1).
- (7) Subsection (6) —
  - (a) applies whether the enactment or document was passed or made before or after the passing of this Act, but
  - (b) does not apply where the context otherwise requires.
- (8) In this section —
  - “charity law” means the law relating to charities in England and Wales; and
  - “existing charity law” means charity law as in force immediately before the day on which this section comes into force.

### 3 The “public benefit” test

- (1) This section applies in connection with the requirement in section 2 (1) (b) that a purpose falling within section 2 (2) must be for the public benefit if it is to be a charitable purpose.
- (2) In determining whether that requirement is satisfied in relation to any such purpose, it is not to be presumed that a purpose of a particular description is for the public benefit.

## 1. チャリティ法関係

らない。

- (3) 第1部において公益という場合は、この用語がイングランドおよびウエールズにおけるチャリティに関する法律において理解されている公益をいうものとする。
- (4) 第3項は第2項に服する。

### 第4条 公益要件の運用に関する通達

- (1) イングランドおよびウエールズチャリティ委員会（第6条参照）は、公益の目的に基づいて、通達を出さなければならない。
- (2) 前項にいう目的とは、前条第1項（本法第7条によって挿入される、1993年チャリティ法第1B条第3項および第4項を参照）にいう要件の運用に対する意識および理解を促進することである。
- (3) 委員会は、時宜に応じて、本条に基づき発せられる通達を改定することができる。
- (4) 委員会は、次のいずれかの時点で、適切であると判断する方法で公開またはその他の諮問を受けなければならない。
  - (a) 本条に基づく通達を発する前
  - (b) 通達を改定する前（ただし、委員会が不必要であると判断する場合を除く）
- (5) 委員会は、本条に基づき発せられまたは改定される通達を、委員会が適切であると判断する方法によって公示しなければならない。
- (6) チャリティの受託者は、通達にかかわる権限を行使するときには、当該通達を尊重しなければならない。

- (3) In this Part any reference to the public benefit is a reference to the public benefit as that term is understood for the purposes of the law relating to charities in England and Wales.
- (4) Subsection (3) applies subject to subsection (2).

#### **4 Guidance as to operation of public benefit requirement**

- (1) The Charity Commission for England and Wales (see section 6 of this Act) must issue guidance in pursuance of its public benefit objective.
- (2) That objective is to promote awareness and understanding of the operation of the requirement mentioned in section 3 (1) (see section 1B (3) and (4) of the Charities Act 1993 (c. 10), as inserted by section 7 of this Act).
- (3) The Commission may from time to time revise any guidance issued under this section.
- (4) The Commission must carry out such public and other consultation as it considers appropriate —
  - (a) before issuing any guidance under this section, or
  - (b) (unless it considers that it is unnecessary to do so) before revising any such guidance.
- (5) The Commission must publish any guidance issued or revised under this section in such manner as it considers appropriate.
- (6) The charity trustees of a charity must have regard to any such guidance when exercising any powers or duties to which the guidance is relevant.

## 1. チャリティ法関係

### 第5条 レクリエーションチャリティ、スポーツクラブ等の特則

- (1) 1958年レクリエーションチャリティ法は、本条第2項および第3項に適合するかたちで改正する。
- (2) 第1条（ある種のレクリエーションおよび同種の目的はチャリティ目的とみなす）第2項は、次のように改正する。
  - 「(2) 第1項における、便益が社会福祉の利益となるよう提供されるという要件は、基本的な条件が充足されていなければ充たすことができない。
    - (2A) 基本的な条件とは、次のものをいう。
      - (a) 便益が、当該便益が主に対象としている者の生活条件を改善する目的で提供されていること
      - (b) 次のいずれかの場合を充たしていること
        - i) これらの者が、若齢、老齢、疾患もしくは障害、貧困またはその他の社会的経済的状況を理由として当該便益を必要としていること
        - ii) 公衆または公衆の男性もしくは女性が当該便益を利用できること」
- (3) 第2条（鉱山労働者の福祉信託）は削除する。
- (4) チャリティ目的で設立された登録スポーツクラブは、かかる目的で設立されたものと取り扱わないこととし、したがってチャリティとはなりえないこととする。
- (5) 第4項にいう「登録スポーツクラブ」とは、2002年財政法第18条（コミュニティアマチュアスポーツクラブの救済）に基づいて一定期間登録されたクラブを意味する。

## 5 Special provisions about recreational charities, sports clubs etc.

- (1) The Recreational Charities Act 1958 (c. 17) is amended in accordance with subsections (2) and (3).
- (2) In section 1 (certain recreational and similar purposes deemed to be charitable) four subsection (2) substitute —
  - “(2) The requirement in subsection (1) that the facilities are provided in the interests of social welfare cannot be satisfied if the basic conditions are not met.
  - (2A) The basic conditions are —
    - (a) that the facilities are provided with the object of improving the conditions of life for the persons for whom the facilities are primarily intended; and
    - (b) that either —
      - i) those persons have need of the facilities by reason of their youth, age, infirmity or disability, poverty, or social and economic circumstances, or
      - ii) the facilities are to be available to members of the public at large or to male, or to female, members of the public at large.”
- (3) Section 2 (miners' welfare trusts) is omitted.
- (4) A registered sports club established for charitable purposes is to be treated as not being so established, and accordingly cannot be a charity.
- (5) In subsection (4) a “registered sports club” means a club for the time being registered under Schedule 18 to the Finance Act 2002 (c. 23) (relief for community amateur sports club).

## 1. チャリティ法関係

### 第2部 チャリティの規制

#### 第1章 チャリティ委員会

##### チャリティ委員会の設立

###### 第6条 チャリティ委員会

- (1) 1993年法第1条の後に、次の条項を挿入する。

###### 〔第1A条 チャリティ委員会

- (1) イングランドおよびウエールズチャリティ委員会（以下「委員会」という。）と呼ばれる法人を設立する。
  - (2) ウエールズにおいては、この委員会は、「Comisiwn Elusennau Cymru a Lloegr」と呼ぶこととする。
  - (3) 委員会の権限は国王に代わり行使することとする。
  - (4) 権限の行使においては、委員会は、いかなる大臣または省庁の指揮または統制にも服しないこととする。
  - (5) 前条は、次のものに影響を与えない。
    - (a) いかなる制定法であれ、それによりまたはそれに基づいて定められた規定
    - (b) 財務省により委員会の歳出に対して行使されるあらゆる行政的統制
  - (6) 本法第1A条の規定は、委員会との関係で効力を有するものとする。」
- (2) 附則1（附則1Aを1993年法に挿入する。）は、効力を発する。
  - (3) イングランドおよびウエールズチャリティ委員の職は、廃止する。
  - (4) イングランドおよびウエールズチャリティ委員の権限およびその財



## Part 2 Regulation of charities

### The Charity Commission

#### Establishment of Charity Commission

##### 6 The Charity Commission

(1) After section 1 of the 1993 Act insert —

##### “1A The Charity Commission

(1) There shall be a body corporate to be known as the Charity Commission for England and Wales (in this Act referred to as “the Commission”).

(2) In Welsh the Commission shall be known as “Comisiwn Elusennau Cymru a Lloegr”.

(3) The functions of the Commission shall be performed on behalf of the Crown.

(4) In the exercise of its functions the Commission shall not be subject to the direction or control of any Minister of the Crown or other government department.

(5) But subsection (4) above does not affect —

(a) any provision made by or under any enactment;

(b) any administrative controls exercised over the Commission’s expenditure by Treasury.

(6) The provisions of Schedule 1A to this Act shall have effect with respect to the Commission.”

(2) Schedule 1 (which inserts the new Schedule 1A into the 1993 Act) has effect.

(3) The office of Charity Commissioner for England and Wales is abolished.

(4) The functions of the Charity Commissioners for England and Wales and their property, rights and liabilities are by virtue of this

## 1. チャリティ法関係

産、権利義務は、本条により、イングランドおよびウエールズチャリティ委員会へ移転する。

- (5) 制定法または文書は、前項により発生する移転の目的との関係でまたはその結果として必要な限りで、イングランドおよびウエールズチャリティ委員をいうときにはイングランドおよびウエールズチャリティ委員会をいうものとして、効力を有する。
- (6) 1993年法第1条および附則1は、効力を停止する。
- (7) 附則2（イングランドおよびウエールズチャリティ委員会の設立に関連する補足的条項を含む。）は効力を発する。

## 委員会の目的および一般的権限など

### 第7条 委員会の目的、一般的権限および義務

1993年法第1A条（前条により挿入される。）の後に、次の条項を挿入する。

#### 〔第1B条 委員会の目的〕

- (1) 委員会は、第2項に掲げる目的を有する。
- (2) 目的は、次のものをいう。
  1. 公衆の信頼の目的
  2. 公益の目的
  3. 法令順守の目的
  4. チャリティ資源の目的
  5. 説明責任の目的
- (3) 前項の目的は、次のように定義する。
  1. 公衆の信頼の目的とは、チャリティに対する公衆の信用および信頼を増進することをいう。
  2. 公益の目的とは、公益要件の運用の周知および理解を促進することをいう。
  3. 法令順守の目的とは、チャリティの運営の統制および管理を行

subsection transferred to the Charity Commission for England and Wales.

- (5) Any enactment or document has effect, so far as necessary for the purposes of or in consequence of the transfer effected by subsection (4), as if any reference to the Charity Commissioners for England and Wales were a reference to the Charity Commission for England and Wales.
- (6) Section 1 of, and Schedule 1 to, the 1993 Act cease to have effect.
- (7) Schedule 2 (which contains supplementary provision relating to the establishment of the Charity Commission for England and Wales) has effect.

## **Commission's objectives, general functions etc.**

### **7 The Commission's objectives, general functions and duties**

After section 1A of the 1993 Act (inserted by section 6 above)  
insert —

#### **“1B The Commission's objectives**

- (1) The Commission has the objectives set out in subsection (2).
- (2) The objectives are —
  1. The public confidence objective.
  2. The public benefit objective.
  3. The compliance objective.
  4. The charitable resources objective.
  5. The accountability objective.
- (3) Those objectives are defined as follows —
  1. The public confidence objective is to increase public trust and confidence in charities.
  2. The public benefit objective is to promote awareness and understanding of the operation of the public benefit requirement.
  3. The compliance objective is to promote compliance by charity trustees with their legal obligations in exercising control and

## 1. チャリティ法関係

う際に法的義務を負うチャリティ受託者による法令順守を促進することをいう。

4. チャリティ資源の目的とは、チャリティ資源の効率的使用を促進することをいう。
  5. 説明責任の目的とは、寄付者、受益者および一般公衆に対するチャリティの説明責任を強化することをいう。
- (4) 本条において、「公益要件」とは、第2条第2項に含まれる目的がチャリティ目的といえるためには、その目的は公益目的でなければならないという、2006年チャリティ法第2条第1項(b)の要件を意味するものとする。

### 第1C条 委員会の一般的権限

- (1) 委員会は、第2項に掲げられる一般的権限を有する。
- (2) 一般的権限とは、次のものをいう。
  1. 団体がチャリティであるか否かの決定
  2. チャリティの良き運営の助長および促進
  3. チャリティの運営における明白な過誤の特定および調査ならびにチャリティにおける過誤に関連する矯正的または予防的な活動
  4. 公的なチャリティ寄付募集に関して、公的な寄付募集証明書を発効するか否かおよび発効させるか否かの決定
  5. いかなるものであれ委員会の権限の遂行または委員会の目的の達成に関わる情報の収集、分析および伝播
  6. いかなるものであれ委員会の権限または委員会の目的の達成に関わる事項についての、大臣への情報もしくは助言の提供または提案
- (3) 委員会の一般的権限の第5号は、第3項に基づくチャリティの登録が正確かつ最新のものであることの保持を(他の事項とともに)含むものとする。
- (4) 委員会の一般的権限の第6号は、実際に行うことが合理的に可能である限りで、委員会の権限に関する事項についての情報提供または

management of the administration of their charities.

4. The charitable resources objective is to promote the effective use of charitable resources.
  5. The accountability objective is to enhance the accountability of charities to donors, beneficiaries and the general public.
- (4) In this section “the public benefit requirement” means the requirement in section 2 (1) (b) of the Charities Act 2006 that a purpose falling within section 2 (2) of that Act must be for the public benefit if it is to be a charitable purpose.

### **1C The Commission’s general functions**

- (1) The commission has the general functions set out in subsection (2).
- (2) The general functions are —
  1. Determining whether institutions are or are not charities.
  2. Encouraging and facilitating the better administration of charities.
  3. Identifying and investigating apparent misconduct or mismanagement in the administration of charities and taking remedial or protective action in connection with misconduct or mismanagement therein.
  4. Determining whether public collections certificates should be issued, and remain in force, in respect of public charitable collections.
  5. Obtaining, evaluating and disseminating information in connection with the performance of any of the Commission’s functions or meeting any of its objectives.
  6. Giving information or advice, or making proposals, to any Minister of the Crown on matters relating to any of the Commission’s functions or meeting any of its objectives.
- (3) The Commission’s fifth general function includes (among other things) the maintenance of an accurate and up-to-date Register of charities under section 3 below.
- (4) The Commission’s sixth general function includes (among other things) complying, so far as is reasonably practicable, with any request made by a Minister of the Crown for information or

## 1. チャリティ法関係

助言を求める大臣による要請への応答を（他の事項とともに）含むものとする。

- (5) 本条で「公的なチャリティ寄付募集」および「公的な寄付募集証明書」とは、2006年チャリティ法第3部第1章と同じ意味を有するものとする。

### 第1D条 委員会の一般的責務

- (1) 委員会は、第2項に掲げられる一般的な責務を有する。
- (2) 一般的な責務とは、次のものをいう。
1. 委員会は、その権限を行使するにあたって、実際に行うことが合理的に可能である限りで、次の方法で行動しなければならない。
    - (a) 委員会の目的に適合的である方法
    - (b) 委員会がその目的を達成する目的にとり最も適切であると考える方法
  2. 委員会は、その権限を行使するにあたって、実際に行うことが合理的に可能である限りで、次の事柄の助長に適合的である方法で行動しなければならない。
    - (a) すべての形態のチャリティ施与
    - (b) チャリティ業務への自発的参加
  3. 委員会は、その権限を行使するにあたって、もっとも効率的、効果的、経済的な方法でその資源を使用する必要を顧慮しなければならない。
  4. 委員会は、その権限を行使するにあたって、妥当である限りで、最良の規制慣行の諸原則（規制活動が比例原則に従い、説明責任を果たし、一貫しており、透明性をもち、当該活動を必要とする事案のみに対象とするべきであるとする諸原則を含む。）を顧慮しなければならない。
  5. 委員会は、その権限を行使するにあたって、適切な事案において、チャリティによるまたはチャリティに代理してのイノベーションの望ましい促進を顧慮しなければならない。
  6. 委員会は、その業務を運営するにあたって、委員会の業務に適用できると考える範囲内で、一般に受容されている良きコーポ

advice on any matter relating to any of its functions.

- (5) In this section “public charitable collection” and “public collections certificate” have the same meanings as in Chapter 1 of Part 3 of the Charities Act 2006.

#### 1D The Commission’s general duties

- (1) The commission ha the general duties set out in subsection (2).
- (2) The general duties are —
1. So far as is reasonably practicable the Commission must, in performing its functions, act in a way —
    - (a) which is compatible with its objectives, and
    - (b) which it considers most appropriate for the purpose of meeting those objectives.
  2. So far as is reasonably practicable the Commission must, in performing its functions, act in a way which is compatible with the encouragement of —
    - (a) all forms of charitable giving, and
    - (b) voluntary participation in charity work.
  3. In performing its functions the Commission must have regard to the need to use its resources in the most efficient, effective and economic way.
  4. In performing its functions the Commission must, so far as relevant, have regard to the principles of best regulatory practice (including the principles under which regulatory activities should be proportionate, accountable, consistent, transparent and targeted only at cases in which action is needed).
  5. In performing its functions the Commission must, in appropriate cases, have regard to the desirability of facilitating innovation by or on behalf of charities.
  6. In managing its affairs the Commission must have regard to such generally accepted principles of good corporate governance as it is reasonable to regard as applicable to it.

## 1. チャリティ法関係

レートガバナンスの諸原則を顧慮しなければならない。

### 第1E条 委員会の付随的権限

- (1) 委員会は、その権限または一般的責務の遂行を容易にすると思われるまたはその遂行に有益もしくは付随的であるいかなる事項であれ、これを行う権限を有する。
- (2) 前項の定めにかかわらず、この法律は委員会が次の事項を行うことは認めない。
  - (a) チャリティに関して、そのチャリティ受託者の権限に対応する権限を行使すること
  - (b) 前号とは別の方法でチャリティの運営に直接に関わること
- (3) 第2項は、第19A条および19B条（委員会が、行うべき活動またはチャリティ財産の応用に関して命令を発する権限）の運用に影響を与えない。」



**1E The Commission's incidental powers**

- (1) The Commission has power to do anything which is calculated to facilitate, or is conducive or incidental to, the performance of any of its functions or general duties.
- (2) However, nothing in this Act authorizes the Commission —
  - (a) to exercise functions corresponding to those of a charity trustee in relation to a charity, or
  - (b) otherwise to be directly involved in the administration of a charity.
- (3) Subsection (2) does not affect the operation of section 19A or 19B below (power of Commission to give directions as to action to be taken or as to application of charity property).”

## 第2章 チャリティ審判所

### 第8条 チャリティ審判所

- (1) 1993年法第2条の後に、次の条項を挿入する。

### 〔第1A部 チャリティ審判所〕

#### 第2A条 委員会の目的

- (1) チャリティ審判所（この法律では「審判所」という。）と呼ばれる審判所を設置する。
- (2) ウェールズでは、この審判所を「Tribiwnlys Elusennau」と呼ぶ。
- (3) この法律の附則1Bの条項は、審判所の組織および審判所に関係するその他の事項に関して効力を有するものとする。
- (4) この審判所は、次の事項について聴聞を行い決定を下す管轄権を有する。
- (a) 委員会の決定、命令または指令に関して、この法律の附則1Cまたはその他の制定法に従って審判所に出される訴えまたは申請
- (b) 委員会または法務長官によってこの法律の附則1Dに従って付託される事項
- (5) 前項の訴え、申請および付託される事項は、審判所において、2B条に基づき制定される規則とともに定められる附則や制定法に従って聴聞を行い決定を下すものとする。

#### 第2B条 慣行および手続き

- (1) 大法官は、次の内容を含む規則を制定する。
- (a) 審判所に訴えを提起し申請を行う諸権利の行使を規律する規則および審判所への付託に関する事項
- (b) 審判所における審理に関して従うべき慣行および手続きに関する規則

## Chapter 2 The Charity Tribunal

### 8 The Charity Tribunal

- (1) After section 2 of the 1993 Act insert —

#### “Part 1A The Charity Tribunal

##### 2A The Charity Tribunal

- (1) There shall be a tribunal to be known as the Charity Tribunal (in this Act referred to as “the Tribunal”).
- (2) In Welsh the Tribunal shall be known as “Tribiwnlys Elusennau”.
- (3) The provisions of Schedule 1B to this Act shall have effect with respect to the constitution of the Tribunal and other matter relating to it.
- (4) The Tribunal shall have jurisdiction to hear and determine —
- (a) such appeals and applications as may be made to the Tribunal in accordance with Schedule 1C to this Act, or any other enactment, in respect of decisions, orders or directions of the Commission, and
  - (b) such matters as may be referred to the Tribunal in accordance with Schedule 1D to this Act by the Commission or the Attorney General.
- (5) Such appeals, applications and matters shall be heard and determined by the Tribunal in accordance with those Schedules, or any such enactment, taken with section 2B below and rules made under that section.

##### 2B Practice and procedure

- (1) The Lord Chancellor may make rules —
- (a) regulating the exercise of rights to appeal or to apply to the Tribunal and matters relating to the making of references to it;
  - (b) about the practice and procedure to be followed in relation to proceedings before the Tribunal.

## 1. チャリティ法関係

- (2) 前項 (a) 号に基づく規則には、とくに次の条項を含めることとする。
  - (a) 審判所に訴え、申請または付託を行う前に履行すべき処置の特定（およびその処置を履行すべき期間）
  - (b) 委員会の最終の決定、指令または命令に続いて、訴えまたは申請を行うべき期間の特定
  - (c) 委員会は、委員会の最終の決定、指令または命令に続いて審判所に訴えまたは申請を行う権利があることを相手方に告知する必要があること
  - (d) 審判所への訴え、申請または付託を行うことができる事項の特定
  
- (3) 第1項 (b) 号に基づく規則には、とくに次の条項を含めることとする。
  - (a) 審判所の所長または法律専門家構成員（この法律の附則1Bの第1パラグラフ (2) (b) を参照）が予備的、中間的または付随的事項を決定すること
  - (b) 一定の状況においては、口頭での聴聞なしに決定することができる事項があること
  - (c) 審判所は、緊急の案件を迅速に処理することができること
  - (d) 文書開示に関すること
  - (e) 証拠に関すること
  - (f) 公衆の審理の傍聴の許可に関すること
  - (g) 審理における当事者の代理に関すること
  - (h) 訴え、申請または付託の取下げに関すること
  - (i) 決定の記録および公表に関すること
  - (j) 費用の裁定に関すること
  
- (4) 第1項 (a) 号または (b) 号に基づく規則は、次の者に裁量を付与することができる。
  - (a) 審判所
  - (b) 審判所の構成員
  - (c) その他の者
  
- (5) 審判所は、第6項および第7項に従ってのみ、費用の裁定を行うこと

- (2) Rules under subsection (1) (a) above may, in particular, make provision —
  - (a) specifying steps which must be taken before appeals, applications or references are made to the Tribunal (and the period within which any such steps must be taken);
  - (b) specifying the period following the Commission's final decision, direction or order within which such appeals or applications may be made;
  - (c) requiring the Commission to inform persons of their right to appeal or apply to the Tribunal following a final decision, direction or order of the Commission;
  - (d) specifying the manner in which appeals, applications or references to the Tribunal are to be made.
  
- (3) Rules under subsection (1) (b) above may, in particular, make provision —
  - (a) for the President or a legal member of the Tribunal (see paragraph 1 (2) (b) of Schedule 1B to this Act) to determine preliminary, interlocutory or ancillary matters;
  - (b) for matters to be determined without an oral hearing in specified circumstances;
  - (c) for the Tribunal to deal with urgent cases expeditiously;
  - (d) about the disclosure of documents;
  - (e) about evidence;
  - (f) about the admission of members of the public to proceedings;
  - (g) about the representation of parties to proceedings;
  - (h) about the withdrawal of appeals, applications or references;
  - (i) about the recording and promulgation of decisions;
  - (j) about the award of costs.
  
- (4) Rules under subsection (1) (a) or (b) above may confer a discretion on —
  - (a) the Tribunal,
  - (b) a member of the Tribunal, or
  - (c) any other person.
  
- (5) The Tribunal may award costs only in accordance with subsections (6) and (7) below.

## 1. チャリティ法関係

ができる。

- (6) 審判所は、審判所における審理当事者が、嫌がらせ目的で、不真面目に、または不適切に行為をしたと考えるときは、その当事者に対して、他の審理当事者に対して、審理に関しその者によって惹起された費用の全部または一部を支払うべきことを命令することができる。
- (7) 審判所は、審判所における審理の対象である委員会の決定、指令または命令が不適切であると考えるときは、委員会に対して、他の審理当事者に対して、審理に関しその者によって惹起された費用の全部または一部を支払うべきことを命令することができる。
- (8) 本条に基づいて大法官が制定する規則は、次の手続きに服するものとする。
  - (a) 規則は、委任命令の形式で定められること
  - (b) 規則は、議会のいずれかの議院の決議によって無効とされること
- (9) 第86条第3項は、本条に基づく大法官の規則に関して、それがこの法律に基づく大臣の規則および命令に関して適用されるのと同様に適用されるものとする。

### 第2C条 審判所からの上訴

- (1) 審判所における審理の当事者は、審判所の決定に対して高等法院へ上訴することができる。
- (2) 第3項の定める場合を除き、上訴は、本条に基づき、審判所の決定に対して、法律問題に関してのみ行うことができる。
- (3) 委員会または法務長官によって審判所に付託された問題の審判所の決定に対する本条に基づく上訴の場合には、高等法院は次の定めるところに従い審理を行うこととする。
  - (a) 高等法院は、審判所に付託された問題を改めて検討するものとする
  - (b) 高等法院は、審判所が利用できなかった証拠を採用することができる

- (6) If the Tribunal considers that any party to proceedings before it has acted vexatiously, frivolously or unreasonably, the Tribunal may order that party to pay to any other party to the proceedings the whole or part of the costs incurred by that other party in connection with the proceedings.
- (7) If the Tribunal considers that a decision, direction or order of the Commission which is the subject of proceedings before it was unreasonable, the Tribunal may order the Commission to pay to any other party to the proceedings the whole or part of the costs incurred by that other party in connection with the proceedings.
- (8) Rules of the Lord Chancellor under this section —
  - (a) shall be made by statutory instrument, and
  - (b) shall be subject to annulment in pursuance of a resolution of either House of Parliament.
- (9) Section 86 (3) below applies in relation to rules of the Lord Chancellor under this section as it applies in relation to regulations and orders of the Minister under this Act.

## **2C Appeal from Tribunal**

- (1) A party to proceedings before the Tribunal may appeal to the High Court against a decision of the Tribunal.
- (2) Subject to subsection (3) below, an appeal may be brought under this section against a decision of the Tribunal only on a point of law.
- (3) In the case of an appeal under this section against a decision of the Tribunal which determines a question referred to it by the Commission or the Attorney General, the High Court —
  - (a) shall consider afresh the question referred to the Tribunal, and
  - (b) may take into account evidence which was not available to the Tribunal.

## 1. チャリティ法関係

できる。

- (4) 本条に基づく上訴は、次に定める許可があった場合にのみ行うことができる。
  - (a) 審判所
  - (b) 審判所が許可を拒否したときには、高等法院
- (5) 第1項に定める目的のために、次のことを定める。
  - (a) 委員会および法務長官は、審判所におけるすべての審理に対する当事者として取り扱うこととする
  - (b) 第2B条第1項に基づく規則は、その他に誰が審判所における審理に対する当事者である（または当事者でない）かについての定めを含めることができる

### 第2D条 法務長官による関与

- (1) 本条は、次の審理に対して適用される。ただし、法務長官が当事者でないものに限る。
  - (a) 審判所における審理
  - (b) 審判所からの上訴
- (2) 審判所、または審判所からの上訴の場合には裁判所は、審理のいかなる時点においても、すべての審理において必要な書類を法務長官へ送付すべきことを指令する。
- (3) 前項における指令は、次のかたちで、審判所または裁判所により行うことができる。
  - (a) 審判所または裁判所みずからの意向に基づいて
  - (b) 審理当事者の申請に基づいて
- (4) 法務長官は、次のことを行う権限を有する。
  - (a) 法務長官が必要または適切であると考えする方法で審理に関与すること
  - (b) 審判所または裁判所が十分に議論をすることが必要であると考える審理に関して審判所または裁判所において問題を論じること



- (4) An appeal under this section may be brought only with the permission of —
  - (a) the Tribunal, or
  - (b) if the Tribunal refuses permission, the High Court.
  
- (5) For the purposes of subsection (1) above —
  - (a) the Commission and the Attorney General are to be treated as parties to all proceedings before the Tribunal, and
  - (b) rules under section 2B (1) above may include provision as to who else is to be treated as being (or not being) a party to proceedings before the Tribunal.

## **2D Intervention by Attorney General**

- (1) This section applies to any proceedings —
  - (a) before the Tribunal, or
  - (b) on an appeal from the Tribunal,  
to which the Attorney General is not a party.
  
- (2) The Tribunal or, in the case of an appeal from the Tribunal, the court may at any stage of the proceedings direct that all the necessary papers in the proceedings be sent to the Attorney General.
  
- (3) A direction under subsection (2) may be made by the Tribunal or court —
  - (a) of its own motion, or
  - (b) on the application of any party to the proceedings.
  
- (4) The Attorney General may —
  - (a) intervene in the proceedings in such manner as he thinks necessary or expedient, and
  - (b) argue before the Tribunal or court any question in relation to the proceedings which the Tribunal or court considers it necessary to have fully argued.

## 1. チャリティ法関係

- (5) 前項は、審判所または裁判所が第2項に基づく指令を出したか否かにかかわらず、適用する。」
  
- (2) 附則3(1993年法律に附則1Bを挿入した)は引き続き効力を有するものとする。
  
- (3) 附則4(1993年法律に附則1Cおよび附則1Dを挿入した)は引き続き効力を有するものとする。

- (5) Subsection (4) applies whether or not the Tribunal or court has given a direction under subsection (2).”
  
- (2) Schedule 3 (which inserts the new Schedule 1B into the 1993 Act) has effect.
  
- (3) Schedule 4 (which inserts the new Schedules 1C and 1D into the 1993 Act) has effect.

### 第3章 チャリティ登録

#### 総 則

##### 第9条 チャリティ登録簿

1993年法律第3条を、次のように改正する。

##### 〔第3条 チャリティ登録簿〕

- (1) チャリティ登録簿を継続し、登録簿は委員会によって保管するものとする。
- (2) 登録簿は、委員会が適切であると考える方法によって保管するものとする。
- (3) 登録簿には、次の事項を掲載するものとする。
  - (a) 第3A条(登録)に従い登録されたあらゆるチャリティの名称
  - (b) 委員会が適切であると考えるあらゆるチャリティのその他の特別な事項およびその他の情報
- (4) 委員会は、登録簿から次の事項を削除するものとする。
  - (a) 委員会がもはやチャリティではないと考える団体
  - (b) 消滅または活動を停止しているチャリティ
- (5) 前項(a)号に基づく団体の削除がその信託文書の変更によるときには、その削除は変更のあった日から効力を有するものとする。
- (6) 第3A条第6項(任意的な登録)に基づき一定期間登録されているチャリティは、そのチャリティが要求するときには、登録簿から削除するものとする。
- (7) 登録簿(団体が登録簿から削除される時点で取り消される記載も含む。)は、すべての合理的な時間帯において公衆の検査に対し開かれるものとする。

## Chapter 3 Registration of Charities

### General

#### 9 Registration of charities

For section 3 of the 1993 Act substitute —

#### “3 Register of charities

- (1) There shall continue to be a register of charities, which shall be kept by the Commission.
- (2) The register shall be kept by the Commission in such manner as it thinks fit.
- (3) The register shall contain —
  - (a) the name of every charity registered in accordance with section 3A below (registration), and
  - (b) such other particulars of, and such other information relating to, every such charity as the Commission thinks fit.
- (4) The Commission shall remove from the register —
  - (a) any institution which it no longer considers is a charity, and
  - (b) any charity which has ceased to exist or does not operate.
- (5) If the removal of an institution under subsection (4) (a) above is due to any change in its trusts, the removal shall take effect from the date of that change.
- (6) A charity which is for the time being registered under section 3A (6) below (voluntary registration) shall be removed from the register if it so requests.
- (7) The register (including the entries cancelled when institutions are removed from the register) shall be open to public inspection at all reasonable times.

## 1. チャリティ法関係

- (8) 登録簿に含まれている情報が文書の形態をとっていない場合には、前項は、当該情報が判読可能な形態ですべての合理的な時間帯において公衆の検査のために利用ができることを義務づけるものとして解釈するものとする。
- (9) 委員会が決定するときには、第7項は当該決定の中で特定された、登録簿に記載されている特定の情報には適用しないものとする。
- (10) 第3B条（登録のための申請等）に基づき委員会に提出された、登録チャリティの信託文書の謄本（または明細書）は、当該チャリティが登録簿に掲載されている限り、次のとおり取り扱うものとする。
  - (a) 委員会によって保管すること
  - (b) 合理的な時間帯において公衆の検査に対し開かれるものとする  
こと

### 第3A条 チャリティの登録

- (1) すべてのチャリティは、第2項が適用されるものを除いて、チャリティ登録簿に登録しなければならない。
- (2) 次のものは、登録を要しない。
  - (a) 免除チャリティ（この法律の附則2を参照）。
  - (b) 次の要件を一定期間充たし、総収入が10万ポンドを超えないチャリティ
    - i) 永続的にまたは一時的に、委員会の命令によって除外されていること
    - ii) 除外の要件を充たしていること
  - (c) 次の要件を一定期間充たし、総収入が10万ポンドを超えないチャリティ
    - i) 永続的にまたは一時的に、国務大臣の定める規則によって除外されているか除外すると書かれていること
    - ii) 除外の要件を充たしていること
  - (d) 総収入が5000ポンドを超えないチャリティ

- (8) Where any information contained in the register is not in documentary form, subsection (7) above shall be construed as requiring the information to be available for public inspection in legible form at all reasonable times.
- (9) If the Commission so determines, subsection (7) shall not apply to any particular information contained in the register that is specified in the determination.
- (10) Copies (or particulars) of the trusts of any registered charity as supplied to the Commission under section 3B below (applications for registration etc.) shall, so long as the charity remains on the register —
  - (a) be kept by the Commission, and
  - (b) be open to public inspection at all reasonable times.

### **3A Registration of charities**

- (1) Every charity must be registered in the register of charities subsection (2) below applies to it.
- (2) The following are not required to be registered —
  - (a) any exempt charity (see Schedule 2 to this Act);
  - (b) any charity which for the time being —
    - i) is permanently or temporarily excepted by order of the Commission, and
    - ii) complies with any conditions of the exception, and whose gross income does not exceed £100,000;
  - (c) any charity which for the time being —
    - i) is, or is of a description, permanently or temporarily excepted by regulations made by the Secretary of State, and
    - ii) complies with any conditions of the exception, and whose gross income does not exceed £100,000; and
  - (d) any charity whose gross income does not exceed £5,000.

## 1. チャリティ法関係

- (3) 前項 (b) 号の適用に関して、次のことを定める。
- (a) この法律の（制定当初の）第3条第5項 (b) 号に基づいて定められた命令または定められたとみなされた命令で、指定された日の直前に効力を有しているものは、その日の後にも、前項 (b) 号に基づき定められた（およびそれに従って変更または無効とされた）ものとみなす
  - (b) 前項 (b) 号に基づき、指定された日の直前に除外されていなかったチャリティを指定された日以後除外する命令を発することはできない
- (4) 第2項 (c) 号の適用に関して、次のことを定める。
- (a) この法律の（制定当初の）第3条第5項 (b) 号に基づいて定められた規則または定められたとみなされた規則で、指定された日の直前に効力を有しているものは、その日の後にも、第2項 (c) 号に基づき定められた（およびそれに従って変更または無効とされた）ものとみなす
  - (b) 以前に特定されていた団体すべてを第2項 (c) 号に基づき（当該条項に触れられている除外の要件および会計上の上限を遵守することを条件に）除外することを確保するために必要な規則を、第2項 (c) 号に基づき定めるものとする
  - (c) 前号の規則を除いて、第2項 (c) 号に基づき、指定された日の直前に除外すると書かれていなかったチャリティを指定された日以後除外する命令を発することはできない
- (5) 前項 (b) 号にいう「以前に特定されていた団体」とは、次のものをいう。
- (a) 指定された日の直前まで効力を有していたこの法律の第3条第5B条 (a) 号または (b) 号（一定の教育団体）に含まれる団体
  - (b) 2006年チャリティ法第11条によってまたは第11条に基づき定められる命令によって免除チャリティとなることを停止する団体
- (6) 次のチャリティは、当該チャリティが要求する場合には、チャリティ登録簿に登録しなければならない。
- (a) 第2項 (b) 号または (c) 号に含まれるチャリティ
  - (b) 第2項 (d) 号に含まれるチャリティ



- (3) For the purposes of subsection (2) (b) above —
- (a) any order made or having effect as if made under section 3 (5) (b) of this Act (as originally enacted) and in force immediately before the appointed day has effect as from that day as if made under subsection (2) (b) (and may be varied or revoked accordingly); and
  - (b) no order may be made under subsection (2) (b) so as to except on or after the appointed day any charity that was not excepted immediately before that day.
- (4) For the purposes of subsection (2) (c) above —
- (a) any regulations made or having effect as if made under section 3 (5) (b) of this Act (as originally enacted) and in force immediately before the appointed day have effect as from that day as if made under subsection (2) (c) (and may be varied or revoked accordingly);
  - (b) such regulations shall be made under subsection (2) (c) as are necessary to secure that all of the formerly specified institutions are excepted under that provision (subject to compliance with any conditions of the exception and the financial limit mentioned in that provision); but
  - (c) otherwise no regulations may be made under subsection (2) (c) so as to except on or after the appointed day any description of charities that was not excepted immediately before that day.
- (5) In subsection (4) (b) above “formerly specified institutions” means —
- (a) any institution falling within section 3 (5B) (a) or (b) of this Act as in force immediately before the appointed day (certain educational institutions); or
  - (b) any institution ceasing to be an exempt charity by virtue of section 11 of the Charities Act 2006 or any order made under that section.
- (6) A charity within —
- (a) subsection (2) (b) or (c) above, or
  - (b) subsection (2) (d) above, must, if it so requests, be registered in the register of charities.

## 1. チャリティ法関係

- (7) 大臣は、次の項を、命令によって、一定期間特定された額を別の額で置き換えることで改正することができる。
- (a) 第2項 (b) 号および (c) 号
  - (b) 第2項 (d) 号
- (8) 大臣は、次の事項を定めるためにのみ、前項に基づく命令を定めることができる。ただし、大臣は、2006年チャリティ法第73条（2006年チャリティ法の運用に関する報告書）に基づく報告書の謄本が第73条に従って議会に提出されない限り、前項 (a) 号に基づき、命令を定めることはできないものとする。
- (a) 大臣が、第2項 (b) 号および (c) 号が定める除外の範囲を縮減する見込みから適当であると考える場合に、第2項 (b) 号および (c) 号を改正すること
  - (b) 大臣が、バリュー・フォー・マネーにおける変更の結果としてまたは第2項 (d) 号が定める除外の範囲を拡張する見込みから適当であると考える場合に、第2項 (d) 号を改正すること
- (9) 本条において、「指定された日」とは、2006年チャリティ法第9条（チャリティの登録）との関係で、2006年チャリティ法第79条に基づく命令によって第1項から第5項までが効力を有する日をいう。
- (10) 本条において、チャリティの「総収入」とは、次のように解釈するものとする。
- (a) 直前の会計年度における当該チャリティの総収入
  - (b) 委員会が定める場合には、その定める特定の当該チャリティの会計年度において、委員会がチャリティの総収入の推計額であると算出する額
- (11) 本条の次の項は、大臣が命令で当該各項のために指定する日に効力を失うものとする。
- (a) 第2項 (b) 号および (c) 号
  - (b) 第3項から第5項
  - (c) 第6項 (a) 号、第7項 (a) 号、第8項 (a) 号および第9項

- (7) The Minister may by order amend —
- (a) subsection (2) (b) and (c) above, or
  - (b) subsection (2) (d) above,
- by substituting a different sum for the sum for the time being specified there.
- (8) The Minister may only make an order under subsection (7) above —
- (a) so far as it amends subsection (2) (b) and (c), if he considers it expedient to so with a view to reducing the scope of the exception provided by those provisions;
  - (b) so far as it amends subsection (2) (d), if he considers it expedient to do so in consequence of changes in the value of money or with a view to extending the scope of the exception provided by that provision, and no order may be made by him under subsection (7) (a) unless a copy of a report under section 73 of the Charities Act 2006 (report on operation of that Act) has been laid before Parliament in accordance with that section.
- (9) In this section “the appointed day” means the day on which subsections (1) to (5) above come into force by virtue of an order under section 79 of the Charities Act 2006 relating to section 9 of that Act (registration of charities).
- (10) In this section any reference to a charity’s “gross income” shall be construed, in relation to a particular time —
- (a) as a reference to the charity’s gross income in its financial year immediately preceding that time, or
  - (b) if the Commission so determines, as a reference to the amount which the Commission estimates to be the likely amount of the charity’s gross income in such financial year of the charity as is specified in the determination.
- (11) The following provisions of this section —
- (a) subsection (2) (b) and (c),
  - (b) subsections (3) to (5), and
  - (c) subsections (6) (a), (7) (a), (8) (a) and (9),
- Shall cease to have effect on such day as the Minister may by order appoint for the purposes of this subsection.

## 1. チャリティ法関係

### 第3B条 登録に関係する受託者の義務

- (1) 第3A条第1項に基づき登録することを義務づけられるチャリティが登録されていない場合には、次の事項をチャリティ受託者の義務とする。
  - (a) 当該チャリティが登録されるよう、委員会に申請すること
  - (b) 委員会に必要な文書および情報を提供すること
- (2) 「必要な文書および情報」とは、次のものをいう。
  - (a) チャリティの信託文書の謄本または（その信託文書が現存している文書の中に存在していない場合には）その明細書
  - (b) 大臣が定める規則により定められたその他の文書または情報
  - (c) 委員会が申請目的で要求するその他の文書または情報
- (3) 団体が一定期間登録されている場合には、次の事項をチャリティ受託者（または最後のチャリティ受託者）の義務とする。
  - (a) 当該団体が存続を停止した場合または当該団体の信託文書または登録簿に含まれているその明細書に変更がある場合には、委員会に通知すること
  - (b) (適切なかぎりで) 前号の変更にかかる明細書および新たな信託文書または修正後の信託文書の謄本を委員会に提出すること
- (4) [ただし、] 前項は、次の事項を行うことを義務づけるものではない。
  - (a) 裁判所以外によって作られた、チャリティの運営計画書の謄本を委員会に提出すること
  - (b) 登録チャリティに関し前号の計画書によってなされた変更を委員会に知らせること
  - (c) 委員会がすでに保有している文書または謄本を付託される場合に、さらに当該文書の謄本を提出すること
- (5) 登録チャリティに関する文書の謄本は、次の場合には、本条に基づき委員会に提出されたものと同様に、第3条第10項に基づく検査に対し開かれるものとする。
  - (a) 当該文書の謄本が、前項の結果、委員会への提出を義務づけられていないものであるが、

### 3B Duties of trustees in connection with registration

- (1) Where a charity required to be registered by virtue of section 3A (1) above is not registered, it is the duty of the charity trustees —
  - (a) to apply to the Commission for the charity to be registered, and
  - (b) to supply the Commission with the required documents and information.
  
- (2) The “required documents and information” are —
  - (a) copies of the charity’s trusts or (if they are not set out in any extant document) particulars of them,
  - (b) such other documents or information as may be prescribed by regulations made by the Minister, and
  - (c) such other documents or information as the Commission may require for the purposes of the application.
  
- (3) Where an institution is for the time being registered, it is the duty of the charity trustees (or the last charity trustees) —
  - (a) to notify the Commission if the institution ceases to exist, or if there is any change in its trusts or in the particulars of it entered in the register, and
  - (b) (so far as appropriate), to supply the Commission with particulars of any such change and copies of any new trusts or alterations of the trusts.
  
- (4) Nothing in subsection (3) above requires a person —
  - (a) to supply the Commission with copies of schemes for the administration of a charity made otherwise than by the court,
  - (b) to notify the Commission of any change made with respect to a registered charity by such a scheme, or
  - (c) if he refers the Commission to a document or copy already in the possession of the Commission, to supply a further copy of the document.
  
- (5) Where a copy of a document relating to a registered charity —
  - (a) is not required to be supplied to the Commission as the result of subsection (4) above, but

## 1. チャリティ法関係

(b) 委員会の保有するところとなっていること」

### 第10条 小規模チャリティの登録範囲における暫定的な変更

- (1) 大臣は、指定された日より前であればいつでも、次の事項を定めるために命令で1993年法律第3条（チャリティ登録簿）を改正することができる。
  - (a) 第3条第5項(c)号（小規模チャリティの登録範囲）を、総収入が命令で定める額を超えていないチャリティに関する規定で置き換えること
  - (b) 前号の規定のために「総収入」を定めること
- (2) 第1項によっては、1993年法律第3条第12項に基づき第3条第5項(c)で特定される会計上の上限を増額する従来の権限は影響を受けない。
- (3) 本条は指定された日に効力を失う。
- (4) 本条において、「指定された日」とは、1993年法律第3A条第1項から第5項（この法律の第9条によって改正されたもの）が、この法律の第79条に基づく命令によって効力を有する日をいう。

## 免除チャリティ：登録および規制

### 第11条 免除チャリティにおける変更

- (1) 1993年法律附則2（免除チャリティ）を、次のように改正する。
- (2) パラグラフ(a)（1960年チャリティ法以前に存在する法による一般的な免除）において、「1855」の後に「（ただし注1を参照。）」を挿入する。
- (3) パラグラフ(b)（一定の特定された総合大学、大学および学校）を次のように改正する。
  - (a) 「クイーン・メリー・アンド・ウィンチェスター・カレッジ」の前に「および」を挿入する
  - (b) 「およびウィンチェスター・イトン・カレッジ」を削除する

(b) is in the possession of the Commission,  
a copy of the document shall be open to inspection under section  
3 (10) above as if supplied to the Commission under this section.”

#### **10 Interim changes in threshold for registration of small charities**

- (1) At any time before the appointed day, the Minister may by order amend section 3 of the 1993 Act (the register of charities) so as to —
  - (a) replace section 3 (5) (c) (threshold for registration of small charities) with a provision referring to a charity whose gross income does not exceed such sum as is prescribed in the order, and
  - (b) define “gross income” for the purposes of that provision.
- (2) Subsection (1) does not affect the existing power under section 3 (12) of that Act to increase the financial limit specified in section 3 (5) (c).
- (3) This section ceases to have effect on the appointed day.
- (4) In this section “the appointed day” means the day on which section 3A (1) to (5) of the 1993 Act (as substituted by section 9 of this Act) come into force by virtue of an order under section 79 of this Act.

### **Exempt charities: registration and regulation**

#### **11 Changes in exempt charities**

- (1) Schedule 2 to the 1993 Act (exempt charities) is amended as follows.
- (2) In paragraph (a) (general exemption by reference to law existing prior to Charities Act 1960 (c. 58)) after “1855” insert “(but see Note 1)”.
- (3) In paragraph (b) (certain specified universities, colleges and schools) —
  - (a) before “Queen Mary and Westfield College” insert “and”; and
  - (b) omit “and the colleges of Winchester and Eton”.

## 1. チャリティ法関係

- (4) パラグラフ (i) の前に「(h) 高等教育法人」を挿入する。
- (5) パラグラフ (i) の後に「(i) 継続教育法人」を挿入する。
- (6) パラグラフ (w) (これまでの諸規定に基づき免除される団体によってまたは団体のために運営される団体の免除) において、「最後に示した団体」の後に「(ただし注2を参照。)」を挿入する。
- (7) パラグラフ (x) (チャリティ・コミッショナーおよびこれにより運営される団体) を削除する。
- (8) パラグラフ (y) (産業協会および将来への準備協会等) において、「およびいかなる」から後ろの語を「および1996年住宅法第1部に基づいて社会的土地所有者登録簿に登録された」と改正する。
- (9)～(14) 〔省略〕

## 第12～75F条

〔省略〕



- (4) Before paragraph (i) insert —  
“(h) a higher education corporation;”
- (5) After paragraph (i) insert —  
“(j) a further education corporation;”
- (6) In paragraph (w) (exemption for institutions administered by or on behalf of institutions exempted under preceding provisions) after “last-mentioned institution” insert “(but see Note 2)”.
- (7) Omit paragraph (x) (Church Commissioners and institutions administered by them).
- (8) In paragraph (y) (industrial and provident societies etc.) for the words from “and any” onwards substitute “and which is also registered in the register of social landlords under Part 1 of the Housing Act 1996;”.
- (9) – (14) [ ... ]

12 – 75F

[ ... ]

## 1. チャリティ法関係

### 第3部 チャリティ、慈善および博愛団体の資金調達

〔省略〕

### 第4部 雑則及び一般規定

〔省略〕

#### (3) 1996年チャリティ（登録除外）規則

##### 第1条 引用および発効

この規則は、1996年チャリティ（登録除外）規則として引用し、1996年3月1日に発効するものとする。

##### 第2条 解釈

この規則において、「宗教の助長」とは、宗教の牧師および前牧師ならびにその家族の援助を含み、「法律」とは、1993年チャリティ法をいう。

##### 第3条

〔削除〕

##### 第4条 一定の団体に関係する一定の宗教チャリティの一時的除外

- (1) この規則が適用されるチャリティは、法律第3条2項に基づき登録する義務を2001年3月1日まで除外される。
- (2) この規則は、完全にまたは主に宗教の助長に関わり、第3号にいう団体と関係があるチャリティで、次の各号のいずれかを満たすものに適用するものとする。
  - (a) 受託者として当該団体に関係する信託会社を有するもの
  - (b) 完全にまたは部分的に公衆の宗教上の礼拝を提供するために設立されたもの
  - (c) その会計計算書が毎年、メソジスト会議、メソジスト教会会議またはメソジスト会議により任命もしくは設立された関連するもしくはその他の委員会もしくは部局へ送られるもの

## **Part 3 Funding for charitable, benevolent or philanthropic institutions**

[ ... ]

## **Part 4 Miscellaneous and general**

[ ... ]

### **(3) The Charities (Exception from Registration) Regulations 1996**

#### **1 Citation and commencement**

These Regulations may be cited as the Charities (Exception from Registration) Regulations 1996 and shall come into force on 1st March 1996.

#### **2 Interpretation**

In these Regulations—“advancement of religion” includes the relief of ministers and former ministers of religion and their families; “the Act” means the Charities Act 1993.

#### **3 Revocations**

#### **4 Temporary exception of certain religious charities connected with certain bodies**

- (1) A charity to which this regulation applies is hereby excepted until 1st March 2001 from the duty to be registered under section 3 (2) of the Act.
- (2) This regulation shall apply to a charity wholly or mainly concerned with the advancement of religion, being a charity connected with a body named in paragraph (3) below and either
  - (a) having as a trustee a trust corporation connected with that body; or
  - (b) established wholly or mainly to make provision for public religious worship; or
  - (c) in respect of which accounts are sent annually to the Methodist Conference, a Methodist Synod or any connexional

## 1. チャリティ法関係

- (3) 前項にいう団体とは、次のものをいう
- 1951年バプテリストおよび組合派信託法第2条にいう教会
  - 独立福音主義教会の構成員に加盟している教会
  - ユニテリアン派自由キリスト教会総会の構成員である教会
  - ウエールズのカルヴァン主義メソジストまたは長老派教会
  - イングランド国教会
  - ウエールズ教会
  - メソジスト教会
  - 宗教キリスト友会
  - 合同改革教会

### 第5条 墓地の維持に関する条件を充たす信託の永続的除外

- (1) この規則が適用されるチャリティは、法律第3条2項に基づき登録する義務を免除される。
- (2) この規則は、次の要件をいずれも充たす場合に、宗教の促進のためのチャリティに適用するものとする。
- (a) その収入を特定の方法で用いることが、善良な秩序のもとに維持されている墓、埋葬所または個人的記念碑に条件づけられていること
  - (b) 当該チャリティの収入が年間1000ポンドを超えないこと

or other committee or department appointed or established by the Methodist Conference.

- (3) The bodies referred to in paragraph (2) above are —
- a church within the meaning of section 2 of the Baptist and Congregational Trusts Act 1951.
  - a church which is affiliated to the Fellowship of Independent Evangelical Churches;
  - a church which is a member of the General Assembly of Unitarian and Free Christian Churches;
  - the Calvinistic Methodist or Presbyterian Church of Wales;
  - the Church of England;
  - the Church in Wales;
  - the Methodist Church;
  - the Religious Society of Friends;
  - the United Reformed Church.

#### **5 Permanent exception of trusts conditional upon the upkeep of graves**

- (1) A charity to which this regulation applies is hereby excepted from the duty to be registered under section 3 (2) of the Act.
- (2) This regulation shall apply to a charity for the advancement of religion where —
- (a) the application of its income in a particular manner is conditional upon a grave, tomb or personal monument being kept in good order; and
  - (b) the income of the charity does not amount to more than £ 1,000 a year.

## 2. 1998 年人権法〔抄〕

### 第 4 条 不適合宣言

- (1) 第 2 項は第一次立法の規定が規約上の人権と適合するかどうかを裁判所が決定する訴訟手続に適用する。
- (2) 法律の規定が規約上の権利と適合しないと裁判所が認定する場合には、裁判所は不適合宣言をすることができる。
- (3) 第 4 項は第一次立法によって付与された権限を行使して制定された委任立法の規定が、規約上の権利と適合しないことを裁判所が決定する訴訟手続に適用する。
- (4) 裁判所が次の各号を認定する場合には、裁判所は不適合を宣言することができる。
  - (a) 当該規定が規約上の権利と適合していないこと。又は、
  - (b) 第一次立法が（取り消される可能性があることとは別に）規約上の権利との不適合の除去を妨げていること。
- (5) 〔以下は省略〕

### 第 10 条 救済措置をとる権限

- (1) 本条は以下の場合に適用する。
  - (a) 立法の規定が、第 4 条により、規約上の権利と適合しないと宣言され、かつ、上訴がなされた場合であって、
    - i) 上訴可能な者すべてが、上訴を行わないことを書面で記載したとき、
    - ii) 上訴提起期間が徒過し、かつ、その期間内に上訴がなされなかったとき、又は、
    - iii) その期間内に提起された上訴が決定されたか若しくは放棄されたとき、又は、
  - (b) 国務大臣又は枢密院における女王が、本条施行後に、連合王国に対する訴訟手続におけるヨーロッパ人権裁判所の事実認定に鑑みて、立法の規定が規約から生ずる連合王国の義務に適合し

## 2. Human Rights Act 1998

### 4 Declaration of incompatibility

- (1) Subsection (2) applies in any proceedings in which a court determines whether a provision of primary legislation is compatible with a Convention right.
- (2) If the court is satisfied that the provision is incompatible with a Convention right, it may make a declaration of that incompatibility.
- (3) Subsection (4) applies in any proceedings in which a court determines whether a provision of subordinate legislation, made in the exercise of a power conferred by primary legislation, is compatible with a Convention right.
- (4) If the court is satisfied—
  - (a) that the provision is incompatible with a Convention right, and
  - (b) that (disregarding any possibility of revocation) the primary legislation concerned prevents removal of the incompatibility, it may make a declaration of that incompatibility.
- (5) [ ... ]

### 10 Power to take remedial action

- (1) This section applies if—
  - (a) a provision of legislation has been declared under section 4 to be incompatible with a Convention right and, if an appeal lies—
    - i) all persons who may appeal have stated in writing that they do not intend to do so;
    - ii) the time for bringing an appeal has expired and no appeal has been brought within that time; or
    - iii) an appeal brought within that time has been determined or abandoned; or
  - (b) it appears to a Minister of the Crown or Her Majesty in Council that, having regard to a finding of the European Court of Human Rights made after the coming into force of this section in proceedings against the United Kingdom, a

## 2. 1998年人権法

ていないと思料する場合。

- (2) 国務大臣が本条による手続を取るべき已むに已まれぬ理由があると  
思料する場合に、当該大臣は、命令により不適合を排除するために  
必要であると考えよう立法の修正をすることができる。
- (3) 委任立法の場合に、国務大臣が、次の各号のように思料する場合には、  
大臣は命令によって必要と考える第一次立法について修正をすること  
ができる。
  - (a) その不適合を排除するために、問題とされた委任立法が制定さ  
れる基礎をなす第一次立法を修正する必要があるとき。又は、
  - (b) 本条による手続をとるべき已むに已まれぬ理由が存在するとき
- (4) 〔省略〕
- (5) 〔省略〕
- (6) 本条における立法には、イングランド国教会の教会会議又は総会議  
による「国教会制定法」は含まない。
- (7) 救済規則の細則は附則2で定めるものとする。

### 第21条 解釈等

- (1) 本法において、  
「第一次立法」とは、次のものを意味し、第一次立法による命令若し  
くはその他の規則（ウェールズ国民議会、スコットランド大臣、北  
アイルランド大臣若しくは各省によるものを除く）が当該立法の一  
又は複数の規定を運用する若しくは第一次立法を修正する限度にお  
いて、これらの命令若しくはその他の規則を含む。
  - (a) 一般法律
  - (b) 地方及び私人法律
  - (c) 個別法律
  - (d) 教会会議の国教会制定法
  - (e) イングランド教会の総会議の国教会制定法



provision of legislation is incompatible with an obligation of the United Kingdom arising from the Convention.

- (2) If a Minister of the Crown considers that there are compelling reasons for proceeding under this section, he may by order make such amendments to the legislation as he considers necessary to remove the incompatibility.
- (3) If, in the case of subordinate legislation, a Minister of the Crown considers —
  - (a) that it is necessary to amend the primary legislation under which the subordinate legislation in question was made, in order to enable the incompatibility to be removed, and
  - (b) that there are compelling reasons for proceeding under this section,
- (4) [ ... ]
- (5) [ ... ]
- (6) In this section “legislation” does not include a Measure of the Church Assembly or of the General Synod of the Church of England.
- (7) Schedule 2 makes further provision about remedial orders.

## 21 Interpretation, etc

- (1) In this Act —
  - [ ... ]
  - “primary legislation” means any —
    - (a) public general Act;
    - (b) local and personal Act;
    - (c) private Act;

2. 1998 年人權法

(f) 枢密院令

[以下は省略]

- (d) Measure of the Church Assembly;
- (e) Measure of the General Synod of the Church of England;
- (f) Order in Council —

[ ... ]

and includes an order or other instrument made under primary legislation (otherwise than by the National Assembly for Wales, a member of the Scottish Executive, a Northern Ireland Minister or a Northern Ireland department) to the extent to which it operates to bring one or more provisions of that legislation into force or amends any primary legislation;

[ ... ]

## 附則 1 人権規定

### 第 8 条 私生活・家族生活を尊重される権利

- (1) 何人も、私的な家庭生活、住居、及び通信を尊重される権利を有する。
- (2) 法律を遵守し、国家の安全保障、公共の安全又は経済上の公共の福祉などの諸利益にかかわる秩序の妨害又は犯罪の防止のため、健康若しくは道徳の保護のために、又は他人の権利及び自由の保護のために、民主的社会に必要であるものを除き、この権利の行使について公的機関の干渉がなされてはならない。

### 第 9 条 思想・良心・信教の自由

- (1) 何人も、思想、良心及び信仰の自由の権利を有する。この権利には、自己の信仰若しくは信念を変更する権利、並びに自己の信仰又は信念を個人的に又は他の人と共同して、及び公的に又は私的に、礼拝、教育、信仰の実践及び儀式によって表明する自由を含む。
- (2) 信仰又は信念を表明する自由は、法律によって規定され、かつ、公共の安全、公共の秩序、健康若しくは道徳の保護のため、又は他人の権利及び自由の保護のために、民主的社会において必要とされる制約のみに服するものとする。

## **Schedule 1**

### **The Articles**

#### **Part 1 The Convention**

##### **Article 8 Right to respect for private and family life**

- (1) Everyone has the right to respect for his private and family life, his home and his correspondence.
- (2) There shall be no interference by a public authority with the exercise of this right except such as is in accordance with the law and is necessary in a democratic society in the interests of national security, public safety or the economic well-being of the country, for the prevention of disorder or crime, for the protection of health or morals, or for the protection of the rights and freedoms of others.

##### **Article 9 Freedom of thought, conscience and religion**

- (1) Everyone has the right to freedom of thought, conscience and religion; this right includes freedom to change his religion or belief and freedom, either alone or in community with others and in public or private, to manifest his religion or belief, in worship, teaching, practice and observance.
- (2) Freedom to manifest one's religion or beliefs shall be subject only to such limitations as are prescribed by law and are necessary in a democratic society in the interests of public safety, for the protection of public order, health or morals, or for the protection of the rights and freedoms of others.

### 3. 1988年所得税及び法人税法〔第505-507条〕

#### 第505条 チャリティ：総則

- (1) 第2項および第3項に服することを条件として、委員会に対する請求に基づき、次の非課税を認める。
- (a) 次の要件を充たす場合に、(連合王国にあるかその他にあるかにかかわらず)土地における又は土地に対する不動産権、物権又は権利から生じる賃料その他の受領金に関して生じるあらゆる収益に関して、附則AおよびDまたは2005年ITTOIA第2部および第3部にに基づく税金の非課税
- i) その収益が、チャリティ目的で与えられている不動産権、物権又は権利から生ずる賃料その他の受領金から生じること
  - ii) その収益が、チャリティ目的のためにのみ用いられること
- (b) 〔削除〕
- (c) 次の税金の非課税。
- i) 〔削除〕
  - ii) 附則D第3ケース、2005年ITTOIA第4部第2章、第7章、第8章もしくは第10章(利息、購入済終身年金の毎年の支払い、大きく割引かれた証券の配当金、匿名ユニット型投資信託からの分配金)、毎年の支払いに関わる限りで同法579条(知的財産からの使用量)、毎年の支払いに関わる限りで同法第5部第4章(一定の通信に関する権利、取引によらない収入)または同法第5部第7章(その他では課税されない毎年の支払い)に基づいて課せられる税金
  - ii a) 附則D第5ケースに基づいて課税される収入に相当するが、連合王国外の証券その他の所有物から生じる収入に関して、附則D第5ケースに基づいて課せられる税金

### 3. Income and Corporation Taxes Act 1988

#### 505 Charities: general

- (1) Subject to subsections (2) and (3) below, the following exemptions shall be granted on a claim in that behalf to the Board —
  - (a) exemption from tax under Schedules A and D, or under Part 2 and 3 of ITTOIA 2005, in respect of any profits or gains arising in respect of rents or other receipts from an estate, interest or right in or over any land (whether situated in the United Kingdom or elsewhere) to the extent that the profits or gains —
    - i) arise in respect of rents or receipts from an estate, interest or right vested in any person for charitable purposes; and
    - ii) are applied to charitable purposes only;
  - (b) [ ... ]
  - (c) exemption —
    - i) [ ... ]
    - ii) from tax under Case III of Schedule D, or under Chapter 2, 7, 8 or 10 of Part 4 of ITTOIA 2005 (interest, purchased life annuity payments, profits from deeply discounted securities and distributions from unauthorized unit trusts), section 579 of that Act so far as it relates to annual payments (royalties etc. from intellectual property), Chapter 4 of Part 5 of that Act so far as it relates to annual payments (certain telecommunication rights: non-trading income) or Chapter 7 of Part 5 of that Act (annual payments not otherwise charged) in respect of income equivalent to income chargeable under Case III of that Schedule but arising from securities or other possessions outside the United Kingdom,
      - ii a) from tax under Case IV or V of Schedule D in respect of income consisting in any such dividend or other distribution of a company not resident in the United Kingdom as would be chargeable to tax under Schedule F if the company were so resident, and

### 3. 1988年所得税及び法人税法

- ii aa) 2005年ITTOIA第4部第4章(連合王国に所在していない会社からの配当金)に基づき課せられる税金または関連する外国からの分配金に適用される限りで同法第5部第8章(その他では課税されない収入)に基づき課せられる税金
- ii b) 所得税の場合であれば2005年ITTOIA第4部第4章に基づいて課税される配当金または関連する外国からの分配金に適用される限りで所得税の場合であれば2005年ITTOIA第5部第8章に基づいて課税される分配金(ただし配当金を除く。)に関して、附則D第5ケースに基づいて課せられる税金
- ii c) 2002年財政法附則29に基づく単純固定資産からの取引によらない収益に関して、附則D第6ケースに基づいて課せられる税金
- iii) 当該収入がチャリティの収入の一部を成すか、議会制定法、憲章、命令又は信託証書もしくは遺言証書により定められる規則に従えばチャリティ目的のためにのみ用いられるものであるとき、その収入がチャリティ目的のためにのみ用いられる場合に限り、分配金に関して、2005年ITTOIA第4部第3章(連合王国に所在する会社等からの配当金等)に基づき課せられる税金
- (d) 受託者名義の証券に対する公的利払いに関して、その配当金が次のものの修理にのみ用いることができるもので、かつ用いられる場合に限り、附則Dまたは2005年ITTOIA第4部第2章(利子)に基づき課せられる税金の非課税
  - i) 大聖堂、大学、教会堂またはチャペル
  - ii) もっぱら神聖な礼拝の目的で使用される建物
- (e) チャリティが行う取引(連合王国内で行うかその他の場所で行うかにかかわらず)の収益に関して、その収益がもっぱらチャリティ目的に用いられ、かつ次の要件のいずれかを満たす場合に、附則Dまたは2005年ITTOIA第2部(取引による収入)のもとで課せられる税金の非課税
  - i) 取引が、チャリティの第一次的な目的を現実に実行する過程で行われること
  - ii) 取引に結びつく仕事は、主にチャリティの受益者により実行されていること



- ii aa) from tax under Chapter 4 of Part 4 of ITTOIA 2005 (dividends from non-UK resident companies) or from tax under Chapter 8 of Part 5 of that Act (income not otherwise charged) so far as it applies to relevant foreign distributions,
- ii b) from tax under Case V of Schedule D in respect of such dividends as would, in case of income tax, be chargeable to tax under Chapter 4 of Part 4 of ITTOIA 2005 or such distributions (other than dividends) as would, in the case of income tax, be chargeable to tax under Chapter 8 of Part 5 of that Act so far as it would apply to what would be a relevant foreign distribution,
- ii c) from tax under Case VI of Schedule D in respect of non-trading gains on intangible fixed assets under Schedule 29 to the Finance Act 2002, and
- iii) from tax under Chapter 3 of Part 4 of ITTOIA 2005 (dividends etc. from UK resident companies etc.) in respect of any distribution, where the income in question forms part of the income of a charity, or is, according to rules or regulations established by Act of Parliament, charter, decree, deed of trust or will, applicable to charitable purposes only, and so far as it is applied to charitable purposes only;
- (d) exemption from tax under Schedule D or Chapter 2 of Part 4 of ITTOIA 2005 (interest) in respect of public revenue dividends on securities which are in the name of trustees, to the extent that the dividends are applicable and applied only for the repair of —
  - i) any cathedral, college, church of chapel, or
  - ii) any building used for the purposes of divine worship;
- (e) exemption from tax under Schedule D or Part 2 of ITTOIA 2005 (trading income) in respect of the profits of any trade carried on by a charity (whether in the United Kingdom or elsewhere), if the profits are applied solely to the purposes of the charity and either —
  - i) the trade is exercised in the course of the actual carrying out of a primary purpose of the charity; or
  - ii) the work in connection with the trade is mainly carried out by beneficiaries of the charity.

### 3. 1988年所得税及び法人税法

(f) 富くじからチャリティに生じる収益に関して、次の要件をいずれをも満たす場合に、附則Dまたは2005年ITTOIA第2部もしくは第5部（取引による収入およびその他の収入）のもとで課せられる税金の非課税

- i) 富くじが、1976年富くじおよび娯楽法第3条または第5条または1985年賭け事、勝負事、富くじ及び娯楽命令（北アイルランド）に従って促進し実施されること
- ii) 収益が、もっぱらチャリティ目的に用いられること

(1AA) 第1項 (c) 号 (ii aa) および (ii b) にいう「関連する外国からの分配金」とは、連合王国に所在していない会社の分配金で、次の要件を満たすものをいう。

- (a) 分配金が、2005年ITTOIA第4部第4章に基づき課税されていないこと
- (b) もし会社が連合王国に所在しているならば、分配金が、同法第4部第3章に基づき課税されること

(1A) 第1項 (d) 号にいう「公的利払い」とは、次のものをいう。

- (a) 連合王国または北アイルランドの歳入から支払われる、有価証券からの収入
- (b) 連合王国外の国にある政府又は公的もしくは地方機関により、またはそれらのために発行される証券からの収入

(1B) 第1項 (e) 号のために、次のことを定める。

- (a) 取引が、部分的にチャリティの第一次的な目的を現実に実行する過程で行われ、部分的にそれ以外で行われるときには、それぞれの部分は別の取引として取り扱うこととする（それぞれの目的のために、費用および受領金の合理的な分配を行うこととする）
- (b) 取引に関連する仕事が受益者により部分的には実行されているが主には実行されていないときには、仕事が受益者により実行されている部分とそれ以外の部分とは別の取引として取り扱うこととする（それぞれの目的のために、費用および受領金の合理的な分配を行うこととする）

- (f) exemption from tax under Schedule D or Part 2 or 5 of ITTOIA 2005 (trading and miscellaneous income) in respect of profits accruing to a charity from a lottery if —
  - i) the lottery is promoted and conducted in accordance with section 3 or 5 of the [1976 c. 32.] Lotteries and Amusements Act 1976 or Article 133 or 135 of the [S.I. 1985/1204 (N.I.11).] Betting, Gaming, Lotteries and Amusements (Northern Ireland) Order 1985; and
  - ii) the profits are applied solely to the charity's purposes.
  
- (1AA) In subsection (1) (c) (iiaa) and (iib) “relevant foreign distribution” means any distribution of a company not resident in the United Kingdom which —
  - (a) is not chargeable under Chapter 4 of Part 4 of ITTOIA 2005, but
  - (b) would be chargeable under Chapter 3 of that Part of that Act if the company were resident in the United Kingdom.
  
- (1A) In subsection (1) (d) above “public revenue dividends” means —
  - (a) income from securities which is payable out of the public revenue of the United Kingdom or Northern Ireland;
  - (b) income from securities issued by or on behalf of a government or a public or local authority in a country outside the United Kingdom.
  
- (1B) For the purpose of subsection (1) (e) —
  - (a) where a trade is exercised partly in the course of the actual carrying out of a primary purpose of the charity and partly otherwise, each part shall be treated as a separate trade (for which purpose reasonable apportionment of expenses and receipts shall be made), and
  - (b) where the work in connection with the trade is carried out partly but not mainly by beneficiaries, the part in connection with which work is carried on by beneficiaries and the other part shall be treated as separate trades (for which purpose reasonable apportionment of expenses and receipts shall be made).

### 3. 1988年所得税及び法人税法

- (2) 次の要件をすべて満たす支払いは、それが関連する外国からの収入に適用されない限りで、2005年ITTOIA第5部第7章（その他では課税されない毎年の支払い）に基づき所得税を、および附則D第3ケースに基づき法人税を課せられるものとする。ただし、それが毎年の支払いである場合には第1項(c)号に基づく税金は非課税とする。
- (a) 支払いが、チャリティが他のチャリティから受領するものであること
  - (b) 支払いが、金銭又は金銭価値での完全な対価を受けていないこと
  - (c) 支払いが、本項を除いて、税金を課されないこと
  - (d) 支払いが、本項を除いて、第1項の定めるところにより（請求に基づき）非課税を受けられる種類のものではないこと
- (3) 第4項から第7項までにおいて、次の各語はそれぞれ次の意味を有するものとする。
- (a) 「チャリティ支出」とは、第506条が与える意味を有する
  - (b) 「非課税」とは、次の条項に基づく非課税をいう
    - i) 本条第1項
    - ii) 第56条第3項(c)号
    - iii) 第761条第6項
    - iv) 1992年法第256条（チャリティの場合）
    - v) 2000年財政法第46条（小規模取引の場合）
  - (c) 「非課税の対象となる収益」とは、前号の諸規定に基づき（第4項から第6項までは考慮しない。）非課税を受けられる収益をいう
  - (d) 「総収益」とは、次の合計額をいう
    - i) 非課税の対象となる収益
    - ii) 非課税の対象となる収益以外で、課税される収益
    - iii) 課税されない寄付、遺産その他これに類する受領金
- (4) チャリティが課税年度において非チャリティ目的の支出を行っている（または行っていると取り扱われる）場合には、非課税の対象となる収益に関して、チャリティ目的でない支出の額と同額は非課税を認めないものとする。

- (2) Any payment which —
- (a) is received by a charity from another charity; and
  - (b) is not made for full consideration in money or money's worth; and
  - (c) is not chargeable to tax apart from this subsection; and
  - (d) is not, apart from this subsection, of a description which (on a claim) would be eligible for relief from tax by virtue of any provision of subsection (1) above;
- shall be chargeable to income tax under Chapter 7 of Part 5 of ITTOIA 2005 (annual payments not otherwise charged) so far as it does not apply to relevant foreign income and shall be chargeable to corporation tax under Case III of Schedule D but shall be eligible for relief from tax under subsection (1) (c) above as if it were an annual payment.
- (3) In subsections (4) to (7) —
- (a) “charitable expenditure” has the meaning given by section 506,
  - (b) “relief” means relief or exemption under —
    - i) subsection (1) above,
    - ii) section 56 (3) (c) above,
    - iii) section 761 (6) below,
    - iv) section 256 of the 1992 Act (charities), or
    - v) section 46 of the Finance Act 2000 (small trades),
  - (c) “relievable income and gains” means income and gains which would be eligible for relief or exemption under any of those provisions (disregarding subsections (4) to (6)), and
  - (d) “total income and gains” means the aggregate of —
    - i) relievable income and gains,
    - ii) income and gains, other than relievable income and gains, chargeable to tax, and
    - iii) donations, legacies and other similar receipts that are not chargeable to tax.
- (4) If a charity incurs (or is treated as incurring) non-charitable expenditure in a chargeable period, relief shall be disallowed in respect of such amount of relievable income and gains as equals the amount of the non-charitable expenditure.

### 3. 1988年所得税及び法人税法

- (5) 課税年度においてチャリティの非チャリティ目的の支出がその総収益を超える場合には、超過額は過年度において前項にいう非チャリティ目的の支出として取り扱うものとする。必要な補正は、査定を行っているか否かにかかわらず、これを行うものとする。
- (6) 前項は、後年度に関して前項が適用される結果、過年度において全部または一部に適用することができる。ただし、非チャリティ目的の支出の超過額は、当該支出が現実になされた年度の終わりから6年よりも前に終了する課税年度の非チャリティ目的の支出としては取り扱わないものとする。
- (7) チャリティの非課税の対象となる収益の一定額が第4項により非課税を認められない場合（第5項が適用されるか否かにかかわらず）には、次のものとする。
  - (a) 当該チャリティは、収益のどの項目について非課税が認められないかを、内国歳入庁に届出を行うことで特定することができる
  - (b) 内国歳入庁が前号に基づく届出を要求したものの、当該チャリティが要求の日から30日以内に従わなかった場合には、内国歳入庁は、どの項目について非課税が認められないかを決定するものとする

#### 第506条 チャリティ目的の支出および非チャリティ目的の支出

- (1) 本条、前条および附則20において、「チャリティ」とは、もっぱらチャリティ目的で設立された社団または信託をいう。「チャリティ目的の支出」とは、排他的にチャリティ目的の支出をいう（ただし第3項から第5項の場合を除く。）
- (2) 特定の課税年度に現実に生じていない支出が、当該チャリティが当該年度以前または当該年度中に結んだ約束（契約の性質を有するかどうかにかかわらず）に関係するとして、当該課税年度の収入につけられることとなる場合には、前条との関係では、この支出は当該年度に生じたとみなすものとする。

- (5) If in a chargeable period a charity's non-charitable expenditure exceeds its total income and gains the excess shall be treated as non-charitable expenditure of the previous period for the purposes of subsection (4); and any necessary adjustments shall be made, whether by making assessments or otherwise.
- (6) Subsection (5) may apply to a chargeable period wholly or partly as a result of the application of that subsection in respect of a later period; but no excess of non-charitable expenditure shall be treated as non-charitable expenditure of a chargeable period which ended more than six years before the end of the period in which the expenditure was actually incurred.
- (7) Where an amount of a charity's relievable income and gains is disallowed for relief by subsection (4) (whether or not as a result of the application of subsection (5)) —
  - (a) the charity may by notice to the Board specify which items of income or gains are to be disallowed, but
  - (b) if the Board requires the charity to give a notice under paragraph (a) and the charity fails to comply within the period of 30 days beginning with the date on which the requirement is imposed, the Board shall determine which items to disallow.

#### **506 Charitable expenditure and non-charitable expenditure**

- (1) In this section, section 505 and Schedule 20 —

“charity” means any body of persons or trust established for charitable purposes only;  
“charitable expenditure” means (subject to subsections (3) to (5) below) expenditure which is exclusively for charitable purposes.
- (2) For the purposes of section 505 and subsection (1) above, where expenditure which is not actually incurred in a particular chargeable period properly falls to be charged against the income of that chargeable period as being referable to commitments (whether or not of a contractual nature) which the charity has entered into before or during that period, it shall be treated as incurred in that period.

### 3. 1988年所得税及び法人税法

- (3) 連合王国外に位置する団体になされる（またはなされることとなっている）支払いは、当該支払いがチャリティ目的でなされることを保証する状況にあると合理的に解される手段を関連するチャリティが採ったときを除いて、本条に基づくチャリティ目的の支出とはしないものとする。
- (4) 課税年度において、チャリティが次のことを行った場合には、第5項の場合を除いて、当該年度内に投資または貸与された額を、本条との関係では、当該チャリティが生じさせた支出であると、それゆえ非チャリティ目的の支出であるとみなすものとする。
  - (a) 附則20第1部で定義される適格投資ではない投資にその資金を投資すること
  - (b) 附則20第2部で定義される適格貸付ではない貸付（投資ではないもの。）を行うこと
- (5) いかなる課税年度においてであれ、その年度において前項に当てはまる投資または貸付を行ったチャリティが次のことを行った場合には、現金化を行いまたは弁済を受けた額についての当該年度におけるさらなる投資または貸付は、はじめに投資または貸付を行った合計額を超えない限りで、前項に基づき当該年度において生じた非チャリティ目的の支出であるとみなす額を決定する際に、計算から外すものとする。
  - (a) 当該投資の全部または一部の現金化を行うこと
  - (b) 当該貸付の全部または一部の弁済を受けること
- (6) 〔削除〕

#### 第506A条実質的寄付者との取引

- (1) 本条は、次の取引に適用する。
  - (a) チャリティから実質的寄付者に対する財産の売却または貸与
  - (b) 実質的寄付者からチャリティに対する財産の売却または貸与
  - (c) チャリティから実質的寄付者に対するサービスの提供



- (3) A payment made (or to be made) to a body situated outside the United Kingdom shall not be charitable expenditure by virtue of this section unless the charity concerned has taken such steps as may be reasonable in the circumstances to ensure that the payment will be applied for charitable purposes.
- (4) If in any chargeable period a charity —
  - (a) invests any of its funds in an investment which is not a qualifying investment, as defined in Part I of Schedule 20; or
  - (b) makes a loan (not being an investment) which is not a qualifying loan, as defined in Part II of that Schedule;  
then, subject to subsection (5) below, the amount so invested or lent in that period shall be treated for the purposes of this section as being an amount of expenditure incurred by the charity, and, accordingly, as being non-charitable expenditure.
- (5) If, in any chargeable period, a charity which has in that period made an investment or loan falling within subsection (4) above —
  - (a) realises the whole or part of that investment; or
  - (b) is repaid the whole or part of that loan;  
any further investment or lending in that period of the sum realised or repaid shall, to the extent that it does not exceed the sum originally invested or lent, be left out of account in determining the amount which, by virtue of subsection (4) above, is treated as non-charitable expenditure incurred in that period.
- (6) [ ... ]

#### 506A Transactions with substantial donors

- (1) This section applies to the following transactions —
  - (a) the sale or letting of property by a charity to a substantial donor,
  - (b) the sale or letting of property to a charity by a substantial donor,
  - (c) the provision of services by a charity to a substantial donor,

### 3. 1988年所得税及び法人税法

- (d) 実質的寄付者からチャリティに対するサービスの提供
  - (e) チャリティと実質的寄付者との間の財産の交換
  - (f) チャリティから実質的寄付者に対する財政援助の提供
  - (g) 実質的寄付者からチャリティに対する財政援助の提供
  - (h) 実質的寄付者の業務へのチャリティによる投資
- (2) 本条において、チャリティに対する実質的寄付者とは、課税年度に関して、チャリティに対し次のことを行った者をいう。
- (a) 課税年度が全部または一部含まれる12ヶ月間に25000ポンド以上の軽減的寄付をチャリティに行うこと
  - (b) 課税年度が全部または一部含まれる6年間に100000ポンド以上の軽減的寄付をチャリティに行うこと
- (a)号または(b)号によってある課税年度に関してチャリティに対する実質的寄付者となった者は、これに続く5課税年度に関して、チャリティに対する実質的寄付者となる
- (3) チャリティから実質的寄付者に対する、本条が適用される取引の過程でのまたは取引を目的とする支払いは、505条との関係において非チャリティ目的の支出であるとみなす。
- (4) 本条が適用される取引の条件が、同等の取引において期待される条件よりもチャリティに不利益である場合には、そのチャリティは、505条との関係において、女王陛下の歳入および関税委員会がその差をチャリティに対する費用であると決定した額に等しい非チャリティ支出を行ったものとみなす。
- (5) チャリティから実質的寄付者に対する報酬の支払いは、505条との関係において、非チャリティ目的の支出であるとみなす。ただし、当該報酬が受託者としてのサービスに対するもので、次の者による同意があるものについては、これを除く。

- (d) the provision of services to a charity by a substantial donor,
  - (e) an exchange of property between a charity and a substantial donor,
  - (f) the provision of financial assistance by a charity to a substantial donor,
  - (g) the provision of financial assistance to a charity by a substantial donor, and
  - (h) investment by a charity in the business of a substantial donor.
- (2) For the purposes of this section a person is a substantial donor to a charity in respect of a chargeable period if—
- (a) the charity receives relievable gifts of at least £25,000 from him in a period of 12 months in which the chargeable period wholly or partly falls, or
  - (b) the charity receives relievable gifts of at least £100,000 from him in a period of six years in which the chargeable period wholly or partly falls;  
and if a person is a substantial donor to a charity in respect of a chargeable period by virtue of paragraph (a) or (b), he is a substantial donor to the charity in respect of the following five chargeable periods.
- (3) A payment made by a charity to a substantial donor in the course of or for the purposes of a transaction to which this section applies shall be treated for the purposes of section 505 as non-charitable expenditure.
- (4) If the terms of a transaction to which this section applies are less beneficial to the charity than terms which might be expected in a transaction at arm's length, the charity shall be treated for the purposes of section 505 as incurring non-charitable expenditure equal to that amount which the Commissioners for Her Majesty's Revenue and Customs determine as the cost to the charity of the difference in terms.
- (5) A payment by a charity of remuneration to a substantial donor shall be treated for the purposes of section 505 as non-charitable expenditure unless it is remuneration, for services as a trustee, which is approved by—

### 3. 1988年所得税及び法人税法

- (a) チャリティ委員会
- (b) 連合王国のあらゆる部分においてであれ効力を有する立法に基づきチャリティを規制する責務を与えられている組織
- (c) 裁判

#### 第506B条 第506A条の適用除外

- (1) 前条は、同条第1項 (b) 号または (d) 号に含まれる取引で、女王陛下の歳入および関税委員会が次の要件を充たすと決定したものには適用しない。
  - (a) 当該取引が実質的寄付者によって実施される業務の過程で行われていること
  - (b) 当該取引が同等の取引において期待される条件よりもチャリティに不利益でない条件に基づいていること
  - (c) 当該取引が租税回避目的の措置を構成していないこと
- (2) 前条は、委員会が次のことを決定する場合には、実質的寄付者に対するサービスの提供に適用しない。
  - (a) 当該サービスがチャリティの第一次的な目的を現実に実施する過程で提供されていること
  - (b) 当該サービスが他者に対して提供される際の条件よりもチャリティに不利益でない条件に基づいて提供されていること
- (3) 前条は、委員会が次のことを決定する場合には、実質的寄付者からチャリティに対する財政援助の提供に適用しない。
  - (a) 当該援助が同等の取引において期待される条件よりもチャリティに不利益でない条件に基づいていること
  - (b) 当該取引が租税回避目的の措置を構成していないこと
- (4) 前条は、公認証券取引のリストに掲載されている株式または証券の売買の形式でなされる場合には、実質的寄付者の業務へのチャリティによる投資に適用しない。
- (5) 第587B条が適用される安値処分は、前条が適用される取引に当たらないものとする（ただし、前条第2項を適用する際の計算に加えるこ

- (a) the Charity Commission,
- (b) another body with responsibility for regulating charities by virtue of legislation having effect in respect of any Part of the United Kingdom, or
- (c) a court.

**506B Section 506A: exceptions**

- (1) Section 506A shall not apply to a transaction within section 506A (1) (b) or (d) if the Commissioners for Her Majesty's Revenue and Customs determine that the transaction —
  - (a) takes place in the course of a business carried on by the substantial donor,
  - (b) is on terms which are no less beneficial to the charity than those which might be expected in a transaction at arm's length, and
  - (c) is not part of an arrangement for the avoidance of any tax.
- (2) Section 506A shall not apply to the provision of services to a substantial donor if the Commissioners determine that the services are provided —
  - (a) in the course of the actual carrying out of a primary purpose of the charity, and
  - (b) on terms which are no more beneficial to the substantial donor than those on which services are provided to others.
- (3) Section 506A shall not apply to the provision of financial assistance to a charity by a substantial donor if the Commissioners determine that the assistance —
  - (a) is on terms which are no less beneficial to the charity than those which might be expected in a transaction at arm's length, and
  - (b) is not part of an arrangement for the avoidance of any tax.
- (4) Section 506A shall not apply to investment by a charity in the business of a substantial donor where the investment takes the form of the purchase of shares or securities listed on a recognised stock exchange.
- (5) A disposal at an undervalue to which section 587B applies shall not be a transaction to which section 506A applies (but may be

### 3. 1988年所得税及び法人税法

とはできる。)

- (6) 1992年法第257条第2項(課税資産の寄付)が適用される安値処分は、前条が適用される取引に当たらないものとする(ただし、前条第2項を適用する際の計算に加えることはできる。)
- (7) 前条を適用する際には、チャリティによる支払いまたは実質的寄付者が取引から受ける利益は、次の要件を充たす限りで考慮しないものとする。
  - (a) 支払いまたは利益が、寄付者による寄付に関連していること
  - (b) 支払いまたは利益が、1990年財政法第25条または第339条における、寄付に関する重要な上限額を超えていないこと
- (8) 第339条第7AB項のいう、チャリティが完全に所有する会社は、その会社を所有するチャリティ(またはそのチャリティを所有するチャリティの一つ)との関係では実質的寄付者とはないとみなす。
- (9) 登録された社会的土地所有者または住宅組合は、関連するチャリティとの関係では、実質的寄付者ではないとみなす。そのために、次のことを定める。
  - (a) 「登録された社会的土地所有者または住宅組合」とは、次の規定に基づき保持されている登録簿に掲載されている団体をいう。
    - i) 1996年住宅法第1条
    - ii) 2001年住宅(スコットランド)法第57条
    - iii) 1992年住宅(北アイルランド)規則第14条
  - (b) 当該団体とチャリティとが関連するのは、次の場合とする(次の場合に限る。)
    - i) 一方が他方によって完全に所有されるか統制を受けていること
    - ii) 両方が同一の者によって完全に所有されるか統制を受けていること

taken into account in the application of section 506A (2)).

- (6) A disposal at an undervalue to which section 257 (2) of the 1992 Act (gifts of chargeable assets) applies shall not be a transaction to which section 506A applies (but may be taken into account in the application of section 506A (2)).
- (7) In the application of section 506A payments by a charity, or benefits arising to a substantial donor from a transaction, shall be disregarded in so far as they —
  - (a) relate to a donation by the donor, and
  - (b) do not exceed the relevant limit in relation to the donation for the purposes of section 339 or section 25 of the Finance Act 1990.
- (8) A company which is wholly owned by a charity within the meaning of section 339 (7AB) shall not be treated as a substantial donor in relation to the charity which owns it (or any of the charities which own it).
- (9) A registered social landlord or housing association shall not be treated as a substantial donor in relation to a charity with which it is connected; and for that purpose —
  - (a) “registered social landlord or housing association” means a body entered on a register maintained under —
    - i) section 1 of the Housing Act 1996,
    - ii) section 57 of the Housing (Scotland) Act 2001, or
    - iii) Article 14 of the Housing (Northern Ireland) Order 1992, and
  - (b) a body and a charity are connected if (and only if) —
    - i) the one is wholly owned, or subject to control, by the other, or
    - ii) both are wholly owned, or subject to control, by the same person.

### 3. 1988年所得税及び法人税法

#### 第506C条 第506A条および第506B条の補則

- (1) 寄付が第506A条にいう「軽減的」となるのは、次の条項に基づき減免が得られる場合をいう。
  - (a) 第83A条
  - (b) 第339条
  - (c) 第587条および第587C条
  - (d) 1990年財政法第25条（個人によるギフト・エイド）
  - (e) 1992年法第257条（課税資産の寄付）
  - (f) 資本許可法第63条（工場および機械の寄付）
  - (g) 2003年ITEPA第713条から第715条（ペイロール・ギビング）
  - (h) 2005年ITTOIA第108条（取引在庫の寄付）
  - (i) 2005年ITTOIA第628条から第630条（創業者の利害に関わる信託からの寄付）
- (2) チャリティは、チャリティ委員会が決定した時に、第506A条第4項にいう支出を行ったものとみなす。
- (3) 第506A条は、課税年度において当該年度における実質的寄付者を行った取引に適用する。その者が当該年度に関して「実質的寄付者」の定義を初めて充たしたのが、当該取引を行った後であったとしても、これを適用する。
- (4) 第506A条第3項および第4項のいずれかまたは両方は、単一の取引に適用することができる。ただし、チャリティが、取引について第506A条第3項に基づき非チャリティ取引を行ったとみなされる額は、当該取引について第506A条第4項に基づき行ったとみなされる額以外の額から算出するものとする。
- (5) 2または2以上の関連するチャリティは、第506A条、第506B条および本条との関係では、単一のチャリティとみなす。ここにいう「関連する」とは、チャリティの構造、管理または統制に関する事項において関連することをいう。
- (6) 報酬が現金以外で支払われる場合には、第506A条第5項は、2003年



**506C Sections 506A and 506B: supplemental**

- (1) A gift is “relievable” for the purposes of section 506A (2) if relief is available in respect of it under —
  - (a) section 83A,
  - (b) section 339,
  - (c) sections 587B and 587C,
  - (d) section 25 of the Finance Act 1990 (individual gift aid),
  - (e) section 257 of the 1992 Act (gifts of chargeable assets),
  - (f) section 63 of the Capital Allowances Act (gifts of plant and machinery),
  - (g) sections 713 to 715 of ITEPA 2003 (payroll giving),
  - (h) section 108 of ITTOIA 2005 (gifts of trading stock), or
  - (i) sections 628 and 630 of ITTOIA 2005 (gifts from settlor-interested trusts).
- (2) A charity is treated as incurring expenditure in accordance with section 506A (4) at such time (or times) as the Commissioners determine.
- (3) Section 506A applies to a transaction entered into in a chargeable period with a person who is a substantial donor in respect of that period, even if it was not until after the transaction was entered into that he first satisfied the definition of “substantial donor” in respect of that period.
- (4) Either or both of subsections (3) and (4) of section 506A may be applied to a single transaction; but any amount of non-charitable expenditure which a charity is treated as incurring under section 506A (3) in respect of a transaction shall be deducted from any amount which it would otherwise be treated as incurring under section 506A (4) in respect of the transaction.
- (5) Two or more connected charities shall be treated as a single charity for the purposes of section 506A and 506B and this section; and for this purpose “connected” means connected in a matter relating to the structure, administration or control of a charity.
- (6) Where remuneration is paid otherwise than in money, section 506A (5) shall apply as to a payment in money of the amount

### 3. 1988年所得税及び法人税法

ITEPA 第3部にに基づき利益として当該報酬に等しいとされる額の現金の支払いに対するものとして適用する。

- (7) 第506A条、第506B条および本条においては、次のとおりとする。
  - (a) 実質的寄付者またはその他の者とは、第839条にいうその者と関連する者を含むこととする
  - (b) 「財政援助」とは、とくに次のものを含む
    - i) 貸付け、保証または補償の提供
    - ii) 2005年財政法第46条にいう積極的財政措置を行うこと
  - (c) 特定の金額の寄付とは、当該価値の金銭以外の寄付を含む
- (8) 評価に対する異議については、特別委員会が、第506A条にいう委員会の決定について審査を行うことができる。
- (9) 財務省は、規則によって、第506A条第項で定める金額または期間を変えることができる。

#### 第507条 国立遺産記念財団、イングランド歴史的建造物および記念碑委員会ならびに大英博物館

- (1) 次のものに関しては、審議会への申請に基づき、すべての収入がチャリティ目的に用いられるチャリティに対し第505条に基づいて認められる非課税が認められるものとする。
  - (a) 国立遺産記念財団の受託者
  - (b) イングランド歴史的建造物および記念碑委員会
  - (c) 大英博物館の受託者
  - (d) 国立歴史博物館の受託者
- (2) [削除]

that would, under Part 3 of ITEPA 2003, be the cash equivalent of the remuneration as a benefit.

- (7) In sections 506A and 506B and this section —
- (a) a reference to a substantial donor or other person includes a reference to a person connected with him within the meaning of section 839,
  - (b) “financial assistance” includes, in particular —
    - i) the provision of a loan, guarantee or indemnity, and
    - ii) entering into alternative finance arrangements within the meaning of section 46 of the Finance Act 2005, and
  - (c) a reference to a gift of a specified amount includes a reference to a non-monetary gift of that value.
- (8) On an appeal against an assessment the Special Commissioners may review a decision of the Commissioners in connection with section 506A.
- (9) The Treasury may by regulations vary a sum, or a period of time, specified in section 506A (2).

**507 The National Heritage Memorial Fund, the Historic Buildings and Monuments Commission for England and the British Museum**

- (1) There shall on a claim in that behalf to the Board be allowed in the case of —
- (a) the Trustees of the National Heritage Memorial Fund;
  - (b) the Historic Buildings and Monuments Commission for England
  - (c) the Trustees of the British Museum;
  - (d) the Trustees of the British Museum (Natural History);
- such exemption from tax as falls to be allowed under section 505 in the case of a charity the whole income of which is applied to charitable purpose.
- (2) [ ... ]

#### 4. 1992年収益課税法〔第256-257条〕

##### 第256条 チャリティ

- (1) 〔所得〕税法第504条4項および次項に服する限りで、収益は、それがチャリティに生じるもので、かつそれがチャリティ目的に用いられることができるまたは用いられるときには、非課税とする。
- (2) チャリティ信託が保有する財産がチャリティ信託に属するのをやめた場合には、
  - (a) 受託者は、当該財産を市場価格に等しい対価によって処分し直後に再取得したものとみなし、当該処分による収益はチャリティに生じていないものとみなす。
  - (b) 当該財産が直接または間接に受託者による当該資産の処分に対する対価を反映している場合には、その限りで、当該処分から生じた収益はチャリティに生じていないものとみなすものとする。
    - (b)号に基づき課税されるキャピタルゲイン税の評価は、当該財産がチャリティ信託に属するのをやめた評価年度の終わりから3年以内であればいつでも行うことができる。

##### 第257条 チャリティに対する寄付等

- (1) 第2項は、次の者に対する資産の処分が一定の距離を置いた交渉に基づいて以外の方法でなされ、かつ当該処分が第151A条第1項が適用されるものではない場合に適用するものとする。
  - (a) チャリティ
  - (b) 1984年相続税法附則3（全国民を目的とする寄付）に載っている団体
- (2) 第17条第1項及び第258条第3項は適用しない。ただし、処分が寄付（継承的不動産処分における寄付を含む。）または第38条に基づく控除として許される額を超えない対価を得ている場合には、次のとおりとする。
  - (a) 当該処分および取得は、この法律の関係では、収益も損失も当該処分から生じていないことを確実にするだけの対価を得て行

## 4. Taxation of Chargeable Gains Act 1992

### 256 Charities

- (1) Subject to section 504 (4) of the Taxes Act and subsection (2) below, a gain shall not be a chargeable gain if it accrues to a charity and is applicable and applied for charitable purposes.
- (2) If property held on charitable trusts ceases to be subject to charitable trusts —
  - (a) the trustees shall be treated as if they had disposed of, and immediately reacquired, the property for a consideration equal to its market value, any gain on the disposal being treated as not accruing to a charity, and
  - (b) if and so far as any of that property represents, directly or indirectly, the consideration for the disposal of assets by the trustees, any gain accruing on that disposal shall be treated as not having accrued to a charity, and an assessment to capital gains tax chargeable by virtue of paragraph (b) above may be made at any time not more than 3 years after the end of the year of assessment in which the property ceases to be subject to charitable trusts.

### 257 Gifts to charities etc

- (1) Subsection (2) below shall apply where a disposal of an asset is made otherwise than under a bargain at arm's length —
  - (a) to a charity, or
  - (b) to any bodies mentioned in Schedule 3 to the [1984 c. 51.] Inheritance Tax Act 1984 (gifts for national purposes, etc). and the disposal is not one in relation to which section 151A (1) has effect.
- (2) Sections 17 (1) and 258 (3) shall not apply; but if the disposal is by way of gift (including a gift in settlement) or for a consideration not exceeding the sums allowable as a deduction under section 38, then —
  - (a) the disposal and acquisition shall be treated for the purposes of this Act as being made for such consideration as to secure that neither a gain nor a loss accrues on the disposal, and

#### 4. 1992年収益課税法

われているものとみなす

- (b) 当該処分後に、当該資産が当該処分によってこれを取得した者によって処分される場合には、前の処分を行った者による当該資産の取得は、この法律の関係では、後の処分を行った者による取得とみなす
- (3) 次の要件を充たし、かつチャリティその他の団体が権利者となる取引に関連していかなる者も対価を得ていない場合には、当該チャリティその他の団体が権利者となった資産の処分および再取得は、第71条にもかかわらず、この法律の関係では、収益も損失も当該処分から生じていないことを確実にするだけの対価を得て行われているものとみなす。
- (a) 生涯不動産権（第72条にいうものに含まれるもの。）の、権利資格者の死亡による終了による場合を除いて、継承的財産設定を受けた財産を構成する資産またはその一部が、第71条に基づいて、当該受託者により処分および再取得がなされたとみなされること
  - (b) 第71条第1項にいう権利者になった者がチャリティまたは1984年相続税法附則3（全国民を目的とする寄付）に載っている団体であること
- (4) 第2項b号において、処分とは、1979年法第146条第2項が適用される処分であり、当該処分によって当該資産を取得した者がこの法律の発効後に当該資産を処分するものを含む。

- (b) where, after the disposal, the asset is disposed of by the person who acquired it under the disposal, its acquisition by the person making the earlier disposal shall be treated for the purposes of this Act as the acquisition of the person making the later disposal.
- (3) Where —
- (a) otherwise than on the termination of a life interest (within the meaning of section 72) by the death of the person entitled thereto, any assets or parts of any assets forming part of settled property are, under section 71, deemed to be disposed of and reacquired by the trustee, and
  - (b) the person becoming entitled as mentioned in section 71 (1) is a charity, or a body mentioned in Schedule 3 to the Inheritance Tax Act 1984 (gifts for national purposes, etc),  
then, if no consideration is received by any person for or in connection with any transaction by virtue of which the charity or other body becomes so entitled, the disposal and reacquisition of the assets to which the charity or other body becomes so entitled shall, notwithstanding section 71, be treated for the purposes of this Act as made for such consideration as to secure that neither a gain nor a loss accrues on the disposal.
- (4) In subsection (2) (b) above the first reference to a disposal includes a disposal to which section 146 (2) of the 1979 Act applied where the person who acquired the asset on that disposal disposes of the asset after the coming into force of this section.

## 5. 教育関係法

### (1) 1944年教育法〔抄〕

#### 第7条 教育制度の段階及び目的

法定される公教育は、初等教育、中等教育、補習教育の三段階に組織されなければならない。地方教育当局は、その権限が及ぶ限りにおいて、当該地域の住民の要請に対応するそれぞれの段階における効果的な教育を確保することによって、その地域の宗教的信条及び道德的、精神的、身体的発達に貢献する義務を負うものとする。

#### 第8条 初等及び中等学校の施設を保障すべき地方教育当局の義務

(1) 次の目的のためにその管轄区域に対して十分な学校施設を保障することは、すべての地方教育当局の義務とする。

(a) 初等教育、すなわち「年少の生徒」の要求に適合する全日制の教育を施すこと、

(b) 中等教育、すなわち、補習教育に関する本法の規定に基づいて作成された施行規則にしたがって「年長の生徒」に対して与えられる全日制教育以外の、「年長の生徒」の要求に適合する全日教育を施すため、

なお、一地域に対して設けられる学校は、あらゆる生徒に、その年齢、能力、素養の差、さらに、生徒の在学年限の差異等を考慮して、望ましいとされる諸種の教授、訓練を与える教育の機会を保障するに十分な学校の数、種類、及び設備についての条件を満たさなければ十分とはみなされない

(2) 〔省略〕



## (1) Education Act 1944

### 7 Stages and purposes of statutory system of education.

The statutory system of public education shall be organised in three progressive stages to be known as primary education, secondary education, and further education; and it shall be the duty of the local education authority for every area, so far as their powers extend, to contribute towards the spiritual, moral, mental, and physical development of the community by securing that efficient education throughout those stages shall be available to meet the needs of the population of their area.

### 8 Duty of local education authorities to secure provision of primary and secondary schools.

- (1) It shall be the duty of every local education authority to secure that there shall be available for their area sufficient schools —
- (a) for providing primary education, that is to say, full-time education suitable to the requirements of junior pupils; and
  - (b) for providing secondary education, that is to say, full-time education suitable to the requirements of senior pupils, other than such full-time education as may be provided for senior pupils in pursuance of a scheme made under the provisions of this Act relating to further education;

and the schools available for an area shall not be deemed to be sufficient unless they are sufficient in number, character, and equipment to afford for all pupils opportunities for education offering such variety of instruction and training as may be desirable in view of their different ages, abilities, and aptitudes, and of the different periods for which they may be expected to remain at school, including practical instruction and training appropriate to their respective needs.

- (2) [ ... ]

## 5. 教育関係法

### 第25条 公立学校及び有志団体立学校における宗教教育に関する一般規定

- (1) 本条の規定に従い、すべての公立学校及び有志団体立学校における授業日は、学校に登校するすべての生徒の集団礼拝で始められなければならない。その集団礼拝のための措置は、全校生徒が出席して行う一斉礼拝としなければならない。但し、地方教育当局又は有志団体立学校の場合は、学校理事者が礼拝のために全生徒が出席するには施設面で不適當であると判断した場合を除く。
- (2) 本条の規定に従い、宗教教育はすべての公立学校及びあらゆる有志団体立学校において実施されなければならない。
- (3) 〔省略〕
- (4) 公立学校又は有志団体立学校に在籍する生徒の両親が、宗教礼拝若しくは宗教教育、又はその両方への生徒の出席をすべて又は一部免除されることを要請する場合には、その要請が撤回されるまでは、生徒はその要請に従って、本条の出席義務を免除されなければならない。
- (5)～(7) 〔省略〕

### 第26条 公立学校における宗教教育に関する特別規定

- (1) 本法に規定するところに従い、前条第1項によって要求される集団礼拝は、いかなる公立学校においても、いかなる特定の宗派についての特色も示してはならない。また、前条第2項に従い、公立学校に在籍する生徒に対して与えられる宗教教育は、その学校又はこれらの生徒に対して採択されたシラバスに従って、与えられるべきであり、特定の宗派の特色を示す教義問答又は定式を含んではならない。ただし、公立学校が、本法の規定に従い、別の場所で宗教教育を受けるために生徒が欠席することを認める措置を支障なく講じられるような状況でない場合には、地方教育当局が、次の各号について確認することができるならば、地方教育当局は、何らかの特別な事情のためにそうすることが不合理であると認められない限り、これらの措置を実施するための便宜を図らなければならない。

**25 Religious Education in County and Voluntary Schools. General provisions as to religious education in county and in voluntary schools.**

- (1) Subject to the provisions of this section, the school day in every county school and in every voluntary school shall begin with collective worship on the part of all pupils in attendance at the school, and the arrangements made therefore shall provide for a single act of worship attended by all such pupils unless, in the opinion of the local education authority or, in the case of a voluntary school, of the managers or governors thereof, the school premises are such as to make it impracticable to assemble them for that purpose.
- (2) Subject to the provisions of this section, religious instruction shall be given in every county school and in every voluntary school.
- (3) [ ... ]
- (4) If parent of any pupil in attendance at any county school or any voluntary school requests that he be wholly or partly excused from attendance at religious worship in the school, or from attendance at religious instruction in the school, then, until the request is withdrawn, the pupil shall be excused from such attendance accordingly.
- (5) ~ (7) [ ... ]

**26 Special provisions as to religious education in county schools.**

- (1) Subject as hereinafter provided, the collective worship required by subsection (1) of the last foregoing section shall not, in any county school, be distinctive of any particular religious denomination, and the religious instruction given to any pupils in attendance at a county school in conformity with the requirements of subsection (2) of the said section shall be given in accordance with an agreed syllabus adopted for the school or for those pupils and shall not include any catechism or formulary which is distinctive of any particular religious denomination:  
Provided that, where a county secondary school is so situated that arrangements cannot conveniently be made for the withdrawal of pupils from the school in accordance with the provisions of this

## 5. 教育関係法

- (a) その学校に在籍する生徒の保護者が、特定宗派の教理にしたがう宗教教育を自己の子女に受けさせることを望んでいる場合
- (b) その学校の前号の生徒に対して、本法の宗教教育を与えるため、及びそのための費用が地方教育当局の負担にならないと思料できる措置がとられた場合

### 第27条 有志団体立管理学校における宗教教育に関する特別規定

- (1) 管理学校に在籍する生徒の保護者が、その学校の諸規定に従い、又はそのための規定がない場合には、その学校が管理学校になる以前にその学校で行われていた慣行に従い、生徒に宗教教育を受けることを許すように要請する場合には、学校創立者、代表理事は何らかの特別な事情から、そうすることが不合理であると認められない限り、週二コマを超えない範囲内で、校内で生徒に対して宗教教育が与えられることを保障するための措置がとられなければならない。
- (2) 学校の教員数にかかわらず、前項の措置をとるべき義務が生ずるが、管理学校の教員数が2名以上の場合には、宗教教育を担当する適格者を選任し、又は特に宗教教育を担当するために任命された教員（以下、宗教担当教員という）を教職員の中に含めなければならない。但し、宗教教育担当教員の数、いかなる管理学校においても、校長を含めて全教職員の総数の5分の1を超えてはならない。教職員の数が五の倍数でない場合には、本項に関しては、その端数は切り上げるものとする。

Act to receive religious instruction elsewhere, then, if the local education authority are satisfied:—

- (a) that the parents of pupils in attendance at the school desire them to receive religious instruction in the school in accordance with the tenets of a particular religious denomination; and
- (b) that satisfactory arrangements have been made for the provision of such instruction to those pupils in the school and for securing that the cost of providing such instruction to those pupils in the school will not fall upon the authority; the authority shall, unless they are satisfied that owing to any special circumstances it would be unreasonable so to do, provide facilities for the carrying out of those arrangements.

## **27 Special provisions as to religious education in controlled schools.**

- (1) Where the parents of any pupils in attendance at a controlled school request that they may receive religious instruction in accordance with the provisions of the trust deed relating to the school, or where provision for that purpose is not made by such a deed in accordance with the practice observed in the school before it became a controlled school, the foundation managers or foundation governors shall, unless they are satisfied that owing to special circumstances it would be unreasonable so to do, make arrangements for securing that such religious instruction is given to those pupils at the school during not more than two periods in each week.
- (2) Without prejudice to the duty to make such arrangements as aforesaid whatever the number of the teaching staff of the school, where the number of the teaching staff of a controlled school exceeds two the teaching staff shall include persons (hereinafter referred to as “reserved teachers”) selected for their fitness and competence to give such religious instruction as is required to be given under such arrangements and specifically appointed to do so: Provided that the number of reserved teachers in any controlled school shall not exceed one-fifth of the number of the teaching staff of the school including the head teacher, so, however, that where the number of the teaching staff is not a multiple of five it shall be treated for the purposes of this subsection as if it were

## 5. 教育関係法

- (3) 管理学校の校長は、その職務に就いている間は、宗教教育担当教員となることはできない。しかし、校長の任命に際して、地方教育当局は、事前に学校理事会に対して、誰を任命するかについて報告すべきものとされ、又、任命に関する地方教育当局の提案に対して理事会からなされた申立てについて検討しなければならない。
- (4) 地方教育当局が管理学校における宗教教育担当教員に任命する候補者を提案する場合には、当局は学校創立者、代表理事と協議しなければならない。又、その候補者が第2項の措置によって要求される宗教教育を行う適格を有することを、学校理事会が認めない限り、地方教育当局はその候補者を宗教教育担当教員として任命することはできない。
- (5) 選任された宗教教育担当教員が本法に規定する宗教教育を有効適切に与えることができないと学校創立者、代表理事が判断した場合には、地方教育当局に対して、当該教員についてその学校での宗教教育担当教員としての地位を解くことを要求することができる。
- (6) 本条第1項に基づく措置に従って、管理学校に在籍している生徒に対して与えられるべき宗教教育は、学校に対して、又はこれらの生徒に対して採択せられた統一シラバスに準拠して与えられなければならない。

### 第28条 有志団体立補助学校及び有志団体立特別契約学校における宗教教育に関する特別規定

- (1) 補助学校又は特別契約学校に在籍している生徒に与えられる宗教教育は、学校理事会の管轄の下に置かれ、その学校の規則に従わなければならない。規則がない場合には、その学校が有志団体立学校となる以前にその学校で行われていた慣行に従わなければならない。但し、学校に在籍している生徒の保護者が、地方教育当局によって採択されたシラバスに準拠する宗教教育を自分の子どもに受けさせることを希望し、しかも、当該授業科目が用意されている学校に自分の子どもを通学させることができない場合には、当該学校は、当局が特別な事情から、そうすることが不合理であると認めない限り、

the next higher multiple thereof.

- (3) The head teacher of a controlled school shall not, while holding that position, be a reserved teacher, but before appointing any person to be the head teacher of such a school the local education authority shall inform the managers or governors of the school as to the person whom they propose to appoint and shall consider any representations made by the managers or governors with respect to the proposed appointment.
- (4) Where the local education authority propose to appoint any person to be a reserved teacher in a controlled school, the authority shall consult the foundation managers or foundation governors of the school, and, unless the said managers or governors are satisfied as to that person's fitness and competence to give such religious instruction as is required in pursuance of such arrangements as aforesaid the authority shall not appoint that person to be a reserved teacher.
- (5) If the foundation managers or foundation governors of a controlled school are of opinion that any reserved teacher has failed to give such religious instruction as aforesaid efficiently and suitably, they may require the authority to dismiss him from employment as a reserved teacher in the school.
- (6) Subject to any arrangements made under subsection (1) of this section, the religious instruction given to the pupils in attendance at a controlled school shall be given in accordance with an agreed syllabus adopted for the school or for those pupils.

## **28 Special provisions as to religious education in aided schools and in special agreement schools.**

- (1) The religious instruction given to the pupils in attendance at an aided school or at a special agreement school shall be under the control of the managers or governors of the school and shall be in accordance with any provisions of the trust deed relating to the school, or, where provision for that purpose is not made by such a deed, in accordance with the practice observed in the school before it became a voluntary school:  
Provided that where the parents of pupils in attendance at the

## 5. 教育関係法

宗教教育に割かれた時間に相当する時間をその生徒に与えるよう特別の授業科目に依拠して宗教教育を提供する措置をとらねばならない。なお、この措置は、学校理事会によって定められるものとする。但し、理事会が右の措置をとることを望まないと地方教育当局が認める場合には、その措置は地方教育当局が定めなければならない。

- (2) 補助学校において、シラバスに示された教育科目以外の宗教教育を担当するために任命された教員が、宗教教育を有効適切に行うことができない場合には、学校理事会は、地方教育当局の同意を得ることなく、その教員を宗教教育担当の地位から解くことができる。
- (3) 特別契約学校に関してなされた特別契約が宗教教育担当教員の雇用について規定する場合には、地方教育当局は、その学校の宗教教育担当教員を任命するに当たって、その学校理事会と協議しなければならない。この協議の結果、学校創立者、代表理事が任用候補者の教育上の適格性を認めることができない場合には、当局はこの者を宗教教育担当教員として任命してはならない。
- (4) 特別契約学校の学校創立者、代表理事は、選任された宗教教育担当教員が、その担当の宗教教育を有効に提供することができないと思料する場合には、地方教育当局に対して、その学校での宗教教育担当教員としての職務からその者を解雇することを要求することができる。

### 第29条 統一シラバスに準拠する宗教教育に関する規定

- (1) 本法附則第5の諸規定は、宗教教育の統一シラバスの作成、採択及び再検討に関して適用される。
- (2) 地方教育当局は、宗教教育に関する諮問委員会を組織する権限を有する。当該諮問委員会は、統一シラバスに準拠して提供されることになっている宗教教育に関して、特に教授方法、教科書の選択及び教員への講義の提供について、地方教育当局に勧告することを目的に設置される。



school desire them to receive religious instruction in accordance with any agreed syllabus adopted by the local education authority and cannot with reasonable convenience cause those pupils to attend any school at which that syllabus is in use, then, unless the authority are satisfied that owing to any special circumstances it would be unreasonable so to do, arrangements shall be made for religious instruction in accordance with that syllabus to be given to those pupils in the school during the times set apart for the giving of religious instruction therein, and such arrangements shall be made by the authority.

- (2) If a teacher appointed to give in an aided school religious instruction, other than instruction in accordance with an agreed syllabus, fails to give such instruction efficiently and suitably, he may be dismissed on that ground by the managers or governors of the school without the consent of the local education authority.
- (3) Where the special agreement made with respect to any special agreement school provides for the employment of reserved teachers, the local education authority shall, when they propose to appoint any person to be such a teacher in the school, consult the foundation managers or foundation governors of the school, and unless the said managers or governors are satisfied as to that person's fitness and competence to give such religious instruction as aforesaid, the authority shall not appoint that person to be such a teacher.
- (4) If the foundation managers or foundation governors of a special agreement school are of opinion that it any such reserved teacher as aforesaid has failed to give, efficiently and suitably, such religious instruction as he was appointed to give, they may require.

## **29 Provisions as to religious instruction in accordance with agreed syllabus.**

- (1) The provisions of the Fifth Schedule to this Act shall have effect with respect to the preparation, adoption, and reconsideration, of an agreed syllabus of religious instruction.
- (2) A local education authority shall have power to constitute a

## 5. 教育関係法

- (3) 前項によって設置される諮問委員会委員の任命方法並びに委員の任期及び退職の条件は、地方教育当局がこれを決定する。
- (4) 地方教育当局は、本法附則第5に基づいて召集された会議が、本条第2項の諮問委員会設置の必要性又は委員の任期にかかわる要件、選任方法などに関して行われた全員一致の勧告に考慮を払わなければならない。

### 第30条 教員の地位に関する留保事項

以上の規定に従って、何人もその信仰を理由として、及び、宗教礼拝に参列し又は参列しないということを理由として、地域学校又は有志団体立学校の教員として、若しくはその他かかる学校の諸目的のために雇用される職員としての資格を奪うことはできない。また、いかなる学校のいかなる教員も宗教教育の担当を強要されず、教員が宗教教育を担当し、又は担当しないという事実によって、若しくは教員の信仰上の見解又は教員が宗教礼拝に参列するか、拒否するかという事実により、減俸され、昇進その他の利益を剥奪され、又はその資格を奪われることはない。但し、特定教員が宗教教育を担当するという事実、又はその教員の信仰上の見解又は宗教礼拝に参列するという事実のために、減俸され、昇進その他の利益を剥奪されてはならないとの規定を除いて、本条は補助学校の教員又は一切の管理学校、特別契約学校における宗教教育担当教員には適用されない。

standing advisory council on religious education to advise the authority upon matters connected with the religious instruction to be given in accordance with an agreed syllabus and, in particular, as to methods of teaching, the choice of books, and the provision of lectures for teachers.

- (3) The method of appointment of the members of any council constituted under the last foregoing subsection and the term of office and conditions of retirement of the members thereof shall be such as may be determined by the local education authority.
- (4) A local education authority shall have regard to any unanimous recommendations which may be made to them by any conference convened in accordance with the provisions of the said Fifth Schedule with respect to the expediency of constituting such an advisory council as aforesaid or with respect to the method by which or the terms and conditions upon which members of any such council should be appointed.

### 30 Saving as to position of teachers.

Subject as hereinafter provided, no person shall be disqualified by reason of his religious opinions, or of his attending or omitting to attend religious worship, from being a teacher in a county school or in any voluntary school, or from being otherwise employed for the purposes of such a school; and no teacher in any such school shall be required to give religious instruction or receive any less emolument or be deprived of, or disqualified for, any promotion or other advantage by reason of the fact that he does or does not give religious instruction or by reason of his religious opinions or of his attending or omitting to attend religious worship:

Provided that, save in so far as they require that a teacher shall not receive any less emolument or be deprived of, or disqualified for, any promotion or other advantage by reason of the fact that he gives religious instruction or by reason of his religious opinions or of his attending religious worship, the provisions of this section shall not apply with respect to a teacher in an aided school or with respect to a reserved teacher in any controlled school or special agreement school.

## 5. 教育関係法

### 第76条 生徒はその保護者の希望に依拠して教育されるべきこと

本法により大臣及び地方教育当局に付与された一切の権利の行使並びにこれに課された一切の義務の履行に際して、大臣及び地方教育当局は、効果的な教育と訓練とを提供し、不合理な公費の支出を回避するというに抵触しない限り、生徒はその保護者の希望に依拠して教育されるべきであるという一般原則に関心が払われなければならない。

**76 Pupils to be educated in accordance with the wishes of their parents.**

In the exercise and performance of all powers and duties conferred and imposed on them by this Act the Minister and local education authorities shall have regard to the general principle that, so far as is compatible with the provision of efficient instruction and training and the avoidance of unreasonable public expenditure, pupils are to be educated in accordance with the wishes of their parents.

## (2) 1988年教育改革法〔抄〕

### 第1条 教育課程に関する義務

- (1) 次に掲げる者は、公費により維持する学校の教育課程が本条に示す要件を満たすようにするために、各々、次に掲げる学校に関する任務（特に宗教教育、宗教礼拝及び全国共通カリキュラムに関して本章で規定する任務を含む）を遂行する義務を負う。
  - (a) 大臣は、公費により維持するすべての学校
  - (b) 地方教育当局は、その維持するすべての学校
  - (c) 学校理事会又は校長は、その学校
  
- (2) 公費により維持する学校の本条に規定する教育課程は、次に掲げる要件を満たし、均衡のとれた幅の広いものでなければならない。
  - (a) 学校及び社会における生徒の宗教的信条及び道徳的、文化的、知的及び身体的な発達を促進すること
  - (b) 成人後の生活における機会、責任及び経験について生徒に備えさせること

### 第2条 全国共通カリキュラム

- (1) 公費により維持するすべての学校の教育課程は、次に掲げる事項を含む基礎的な教育課程をもって構成する。
  - (a) その学校に在籍するすべての生徒を対象とする宗教教育
  - (b) 公費により維持する学校に在籍する義務教育年齢のすべての生徒を対象とする事項の要件を満たす教育課程（「全国共通カリキュラム」と称される。）

- (2) 〔省略〕

### 第6条 集団礼拝

- (1) 本法第9条に規定する場合を除き、公費により維持する学校に在籍するすべての生徒は、毎授業日に、集団礼拝に参加しなければならない。
  
- (2) 本条で規定する学校での毎授業日における集団礼拝は、すべての生

## (2) Education Reform Act 1988

### 1 Duties with respect to the curriculum.

- (1) It shall be the duty —
  - (a) of the Secretary of State as respects every maintained school;
  - (b) of every local education authority as respects every school maintained by them; and
  - (c) of every governing body or head teacher of a maintained school as respects that school;to exercise their functions (including, in particular, the functions conferred on them by this Chapter with respect to religious education, religious worship and the National Curriculum) with a view to securing that the curriculum for the school satisfies the requirements of this section.
- (2) The curriculum for a maintained school satisfies the requirements of this section if it is a balanced and broadly based curriculum which —
  - (a) promotes the spiritual, moral, cultural, mental and physical development of pupils at the school and of society; and
  - (b) prepares such pupils for the opportunities, responsibilities and experiences of adult life.

### 2 The National Curriculum.

- (1) The curriculum for every maintained school shall comprise a basic curriculum which includes —
  - (a) provision for religious education for all registered pupils at the school; and
  - (b) a curriculum for all registered pupils at the school age (to be known as “the National Curriculum”) which meets the requirements of subsection (2) below.
- (2) [ ... ]

### 6 Collective worship.

- (1) Subject to section 9 of this Act, all pupils in attendance at a maintained school shall on each school day take part in an act of collective worship.
- (2) The arrangements for the collective worship in a school required

## 5. 教育関係法

徒を対象とする一斉礼拝活動であると、それぞれ異なる年齢のグループの生徒又はそれぞれの学校ごとの生徒ごとに行うものであるとを問わない。

(3)～(7) 〔省略〕

### 第7条 公立学校での集団礼拝に関する特則

- (1) 以下に規定されることに従い、本法第6条によって学校に要求された集団礼拝は、地方自治体の公立学校の場合は、全体として又は主としてキリスト教的な性格を有する方法で行われるものとする。
- (2) 第1項の目的のためには、個別的なキリスト教の宗派に分類されることがなくとも、広い意味での伝統的なキリスト教的な信仰が反映されているならば、集団礼拝は広義のキリスト教的性質を有するものとされる。

(3)～(6) 〔省略〕

### 第8条 基礎的な教育課程にしたがって行われる宗教教育：追加規定

- (1) 〔省略〕
- (2) 〔省略〕
- (3) 本条の施行後、1944年法教育法附則第5（註：本法によって修正され、宗教教育の統一シラバスの作成、採択及び再構成を規定する。）の規定に基づき採択される、又は採択されると判断される統一シラバスは、連合王国における伝統的な宗教は主としてキリスト教であるという事実を反映するものでなければならず、又、連合王国において普及しているキリスト教以外の主要な宗教の教えや実践に対しても配慮を示すものでなければならない。



by this section may, in respect of each school day, provide for a single act of worship for all pupils or for separate acts of worship for pupils in different age groups or in different school groups.

(3) ~ (7) [ ... ]

#### **7 Special provisions as to collective worship in county schools.**

(1) Subject to the following provisions of this section, in the case of a county school the collective worship required in the school by section 6 of this Act shall be wholly or mainly of a broadly Christian character.

(2) For the purposes of subsection (1) above, collective worship is of a broadly Christian character if it reflects the broad traditions of Christian belief without being distinctive of any particular Christian denomination.

(3) ~ (6) [ ... ]

#### **8 Religious education required in the basic curriculum: further provisions.**

(1) [ ... ]

(2) [ ... ]

(3) Any agreed syllabus which after this section comes into force is adopted or deemed to be adopted under Schedule 5 to that Act (which, as amended by this Act, provides for the preparation, adoption and reconsideration of an agreed syllabus of religious education) shall reflect the fact that the religious traditions in Great Britain are in the main Christian whilst taking account of the teaching and practices of the other principal religions represented in Great Britain.

## 5. 教育関係法

### (3) 1996年教育法〔抄〕

#### 第9条 生徒はその保護者の希望に従って教育されるべきこと

本法により大臣及び地方教育当局に授けられた一切の権利の行使並びにこれに課された一切の義務の履行に際して、大臣及び地方教育当局は、効果的な教育と訓練とを提供し、不合理な公費の支出を回避するというに抵触しない限り、生徒はその保護者の希望に依拠して教育されるべきであるという一般原則に関心が払われなければならない。

### (4) 1998年学校基準枠組み法〔抄〕

#### 第20条 公営学校の新たな類型

(1) 本法の施行日以後(1999年9月)、地方教育当局によって創設される学校は、次のような類型に区分される。

- (a) 地域(公立)学校
- (b) 地方補助学校
- (c) 有志団体立学校、これは次のものから構成される。
  - i) 有志団体立補助学校
  - ii) 有志団体立管理学校
- (d) 地域特別学校
- (e) 地方補助特別学校

(2)～(8) 〔省略〕

#### 第69条 宗教教育の適正な提供を確保するための責務

(1) 71条の場合を除いて、すべての地域学校、地方補助学校、有志団体立学校に関して、

- (a) 地方教育当局並びに学校理事会、又は
- (b) 校長は、

宗教教育が1996年教育法352条(1)(a)によって学校の基本カリキュラムに含まれているような教育が提供されるよう確保しなければならない。

### **(3) Education Act 1996**

#### **9 Pupils to be educated in accordance with parents' wishes**

In exercising or performing all their respective powers and duties under the Education Acts, the Secretary of States, local education authorities and the funding authorities shall have regard to the general principle that pupils are to be educated in accordance with the wishes of their parents, so far as that is compatible with the provision of efficient instruction and training and the avoidance of unreasonable public expenditure.

### **(4) School Standards and Framework Act 1998**

#### **20 New categories of maintained schools**

- (1) Schools maintained by local education authorities on or after the appointed day shall be divided into the following categories —
  - (a) community schools;
  - (b) foundation schools;
  - (c) voluntary schools, comprising —
    - i) voluntary aided schools, and
    - ii) voluntary controlled schools;
  - (d) community special schools; and
  - (e) foundation special schools.

(2) ~ (8) [ ... ]

#### **69 Duty to secure due provision of religious education**

- (1) Subject to section 71, in relation to any community, foundation or voluntary school —
  - (a) the local education authority and the governing body shall exercise their functions with a view to securing, and
  - (b) the head teacher shall secure,that religious education is given in accordance with the provision for such education included in the school's basic curriculum by virtue of section 352 (1) (a) of the [1996 c.56.] Education Act 1996.

## 5. 教育関係法

(2) 〔省略〕

(3) 本章の目的に鑑みて、国務大臣の命令によって宗教的な性質を有するものと指名された地方補助学校又は有志団体立学校は、宗教的な性質を有するものとされる。

(4)～(5) 〔省略〕

### 第70条 宗教礼拝

(1) 71条の場合を除いて、地域学校、地方補助学校、有志団体立学校に在籍しているそれぞれの生徒は、それぞれの登校日に集団礼拝に参加するものとする。

(2) 71条の場合を除いて、すべての地域学校、地方補助学校、有志団体立学校に関して、

(a) 地方教育当局並びに学校理事会、又は

(b) 校長は、

第1項が実施されるよう確保しなければならない。

(3) 附則20は、本条で定める集団礼拝に関する細則を定めるものとする。そこには、

(a) 集団礼拝の方法

(b) 集団礼拝の性質、

に関する規定も含まれる。

(2) [ ... ]

(3) For the purposes of this Part a foundation or voluntary school has a religious character if it is designated as a school having such a character by an order made by the Secretary of State.

(4) ~ (5) [ ... ]

#### **70 Requirements relating to collective worship**

(1) Subject to section 71, each pupil in attendance at a community, foundation or voluntary school shall on each school day take part in an act of collective worship.

(2) Subject to section 71, in relation to any community, foundation or voluntary school —

(a) the local education authority and the governing body shall exercise their functions with a view to securing, and

(b) the head teacher shall secure, That subsection (1) is complied with.

(3) Schedule 20 makes further provision with respect to the collective worship required by this section, including provision relating to —

(a) the arrangements which are to be made in connection with such worship, and

(b) the nature of such worship.

# 海外の宗教事情に関する調査報告書

## 資料編1 イギリス宗教関係法令集

---

平成22年3月31日発行

編集・発行 文化庁

- 1 無断転載を禁止する。
- 2 この資料から引用する場合には出典を明記すること。

文化庁文化部宗務課

東京都千代田区霞が関3-2-2（〒100-8959）

電話 03（5253）4111（代表）

---